フィールドワーク事前研修報告書

2016～2019 年度

青井隼人・児倉徳和・木部暢子(編)

フィールドワーク

事前研修報告書

フィールドワーク事前研修の趣旨

国立国語研究所（国語研）共同研究プロジェクト「消滅危機方言の調査・保存のための総合的研究」では、2010 年度から毎年、研究者と PD・大学院生が１つの地域に集まって、集中的に言語を調査・記録する合同調査を実施してきた。日本各地の言語・方言が急速に衰退する中、できるだけ多くの言語を記録することが目的だが、同時にフィールドワークの方法や言語記述の方法を研究者同士で共有し、言語記述の質を高めるという目的や若手研究者にフィールドワークの場を提供して若手を育てるという目的もあった。第２期中期目標・計画期間（2010 年度～2015 年度）に行なった合同調査は、以下の８地点である。

1. 鹿児島県喜界島 (2010 年度)
2. 沖縄県宮古島 (2011 年度)
3. 東京都八丈島 (2012 年度)
4. 鹿児島県与論島 (2012 年度)
5. 鹿児島県沖永良部島 (2012 年度)
6. 鹿児島県久米島 (2013 年度)
7. 島根県出雲地方 (2014 年度)
8. 島根県隠岐の島 (2015 年度)

2016 年度に始まった第３期中期目標・計画期間においては、このプロジェクトは「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」（「危機言語･方言」）および人間文化研究機構広領域連携型基幹研究プロジェクト「日本列島における地域社会変貌・災害からの地域文化の再構築」として、さらに日本各地の言語・危機方言の調査と記述を充実させることになった。また、人間文化研究機構の広領域連携型基幹研究プロジェクト「日本列島における地域社会変貌・災害からの地域文化の再構築」のなかの「方言の記録と継承による地域文化の再構築」ユニットと連携して、調査研究を進めることになった。さらに、国語研は 2016 年度から東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所（AA 研）と連携協定を結び、研究や教員交流で連携することとなった。

このような背景のなか、AA 研 LingDy3 プロジェクトと国語研「危機言語・方言」プロジェクトは、フィールドワークを通じた若手研究者育成事業をさらに発展させて、参加学生を全国公募し、フィールドワークに関する基本的な知識を身につけるワークショップと実践的な合同調査を組み合わせた教育プログラムを実施することになった。2016 年度から 2019 年度までに行なった本プログラムによるワークショップと合同調査は、島根県隠岐の島方言調査（2016 年度）、愛知県一宮市木曽川方言調査（2017 年度）、青森県むつ市方言調査（2018 年度）、青森県八戸市方言調査（2019 年度）の 4 回、参加した学生・大学院生は、あわせて 43 人にのぼる（次頁表）。

本書は、このプログラムにおける事前ワークショップでの講義内容を報告するものである。合同調査の内容は、ウェブページ「危機言語 DB」の中の「報告書」のページ（http://kikigengo.ninjal.ac.jp/reports.html）で公開しているので、あわせて参照されたい。

なお、このプログラムの企画・運営および本報告書の作成にあたっては、AA 研特任研究員／国語研特任助教（クロスアポイントメントによる併任）の青井隼人氏の尽力が大きいことを付け加えておく。

2020 年 3 月

国立国語研究所・教授　木部暢子

フィールドワーク事前研修概要（2016 年～2019 年）

	日付	内容	担当者	場所	受講生
隠岐の島方言調査(2016 年)	10.22	1. 調査の概要	木部暢子・原田走一郎・佐藤久美子 (国語研)	島根大学	島根大学生 8 人 公募学生 3 人 計 11 人
		2. 隠岐方言の概要	友定賢治(県立広島大学名誉教授)		
		3.言語資料のいい録音のための５＋１	児倉徳和（AA 研）		
	10.23	4. 録音実習	原田走一郎・佐藤久美子 (国語研)		
		5. 談話の収集	中山俊秀（AA 研）		
木曽川方言調査(2017 年)	8.26	1. 調査の概要	木部暢子・原田走一郎 (国語研)	名古屋さかえビル	愛知県立大学生 9 人 公募学生 4 人 計 13 人
		2. 木曽川(尾張)のことばの概要	平子達也 (駒澤大学)		
		3.「データ」収集の技法	塩原朝子（AA 研）		
		4.よりよい録音を録るために	青井隼人（AA 研/国語研）		
	8.27	5.木曽川方言の聞き取り実習	平子達也・青井隼人		
むつ市方言調査(2018 年)	5.28	1. 言語調査の実際	品川大輔（AA 研）	弘前大学	弘前大学生 4 人 公募学生 5 人 計 9 人
		2.言語(音声)学的調査の方法論	青井隼人（AA 研/国語研）		
	6.4	3. 調査の概要	木部暢子（国語研）		
		4. 下北の方言			
		5.東北方言の音韻･音声の特徴とその書き起こし方法について			
八戸市方言調査(2019 年)	8.19	1.言語(音声)学的調査の方法論	青井 隼人（AA 研/国語研）	国立国語研究所	公募学生･社会人 8 人 計 8 人
		2.話者から得られるデータの「正しさ」	山越 康裕（AA 研）		
		3. 調査の概要	木部暢子（国語研）		
		4.東北方言の音韻･音声の特徴とその書き起こし方法について			

謝辞

本研修事業は、以下のプロジェクトの助成を受けておこなったものである:

- 国立国語研究所共同研究プロジェクト「日本の消滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」
- 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所基幹研究「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築 (LingDy3)」
- 人間文化研究機構広領域連携型基幹研究プロジェクト「日本列島における地域社会変貌・災害からの地域文化の再構築」

目次

フィールドワーク事前研修の趣旨 i

2016 年度　島根県隠岐の島町 1

友定賢治「隠岐方言の概要」..... 3
児倉徳和「言語資料のいい録音のための５＋１」..... 35
中山俊秀「談話の収集」..... 43

2017 年度　愛知県一宮市（旧木曽川町）..... 55

平子達也「木曽川（尾張）のことばの概要」..... 57
塩原朝子「「データ」収集の技法: よりよいドキュメンテーション・調査のために」..... 77
青井隼人「より良い録音のために」..... 95

2018 年度　青森県むつ市 103

品川大輔「言語調査の実際と方法論：少数言語調査の意義」..... 107
青井隼人「言語（音声）学的調査の方法論」..... 127
木部暢子「危機方言の記録と地域再生：言語学に何ができるか」. 133
木部暢子「下北の方言について／東北方言の音韻・音声の特徴とその書き起こし方法について」..... 147

2019 年度　青森県八戸市 161

山越康裕「話者から得られるデータの「正しさ」: 悩ましい現地調査」..... 163

付録 207

A　講義要旨「調査の概要」 209

B　資料 1　調査依頼文書（役所宛） 211

資料 2　調査依頼文書（協力者宛） 213

資料 3　調査票見本（協力者宛） 215

資料 4　調査同意書 217

資料 5　フェイスシート 221

資料 6　調査票サンプル 223

資料 7　調査団員しおり 225

資料 8　礼状（役所宛） 231

資料 9　礼状（協力者宛） 233

島根県隠岐の島町フィールドワーク　事前研修

概要

開催日時　2016 年 10 月 22 日（土）・23 日（日）

開催場所　島根大学

世 話 役　野間純平（島根大学）

参 加 者　11 名（公募の大学院生 3 名＋島根大学学部生 8 名）

プログラム

1 日目（14:00～18:00）

1. 木部 暢子・原田 走一郎・佐藤 久美子（国立国語研究所）「調査の概要」
2. 友定 賢治（県立広島大学 名誉教授）「隠岐方言の概要」
3. 児倉 徳和(東京外国語大学 AA 研)「言語資料のいい録音のための５＋１」

2 日目（9:00～13:00）

4. 原田 走一郎・佐藤 久美子（国立国語研究所）「隠岐の島方言の聞き取り実習」
5. 中山 俊秀（東京外国語大学 AA 研）「談話の収集」

※1 日目「調査の概要」については、巻末の付録を参照。

隠岐方言の概要

友定　賢治
（県立広島大学　名誉教授）

2016 年度合同調査の調査地であった隠岐島の方言について概説した。隠岐島は、島前と島後の大きく 2 つの地域に分けられる。方言についても、敬語法、強調の否定法、条件法、ラ行音の促音化などに、島前と島後とで違いが見られる。

本講義では、(1) 音声・アクセント・イントネーション、(2) 文法・表現法、(3) 言語地理学的特徴をそれぞれ取り上げ、隠岐方言の特徴について述べた。隠岐方言の主な特徴を以下に掲げる。

(1) 音声・アクセント・イントネーション

・中舌母音の痕跡が認められる。

・特徴的な音節として、[ɐ], [Fe], [ʃe], [kwa] などがある。

・3 つのアクセント型が区別される（三型アクセント）。

・台頭後起式イントネーション（発話文の冒頭と末尾/中途とに高音の隆起がある）がある。

(2) 文法・表現法

・状態継続と動作進行とを文法的に区別する。

・敬語（尊敬）を表す形式として、「ゴザル」「シャル」などが用いられる。

・断定辞としては「ダ」が用いられるが、島後では「ジャ」も聞かれる。

(3) 言語地理学的特徴

・文法形式・語彙の分布を観察すると、その分布特徴は、①雲伯地域と共通、②隠岐特有（島前・島後共通）、③隠岐特有（島前・島後で違い）、④島前と出雲が共通、⑤出雲南部と共通、⑥山陽側と共通などに分けられる。

・特徴的な分布例としては、日本海側分布、東日本との一致、九州・沖縄との一致が挙げられる。

隠岐島方言調査 事前ワークショップ

2016.10.22-23
於:島根大学

隠岐方言の概要

友定賢治

tomsad1127@gmail.com

1

謝辞

下記の文献によるところが、引用を含め、多くあります。学恩に感謝いたします。

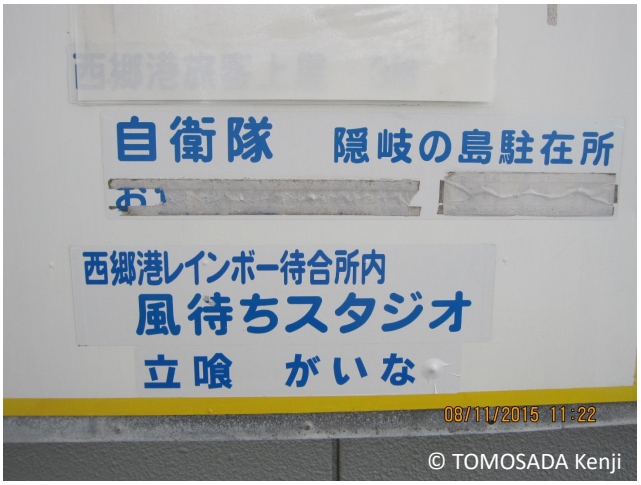
なお、煩雑になるため、一つ一つについての注記は略させていただきます。ご了承ください。

・神部宏泰(1978)『隠岐方言の研究』、風間書房
・広戸惇(1950)『山陰方言の研究』、島根県教育研修所
・広戸惇(1965)『中国地方五県言語地図』、風間書房
・松森晶子(2012)「3型アクセント―隠岐島のアクセント」,松森晶子他編『日本語アクセント入門』,三省堂

2

ご案内
あんき市場
・生鮮農産物加工品の直売
ございな！
フェリーターミナル
レストランりょ
・お食事処
お魚センターり
・鮮魚、水産物加工
・お土産品も取り揃
隠岐特産センター
・各種地酒、お土産
・隠岐の観光案内
08/11/2015 11:22
© TOMOSADA Kenji

3


自衛隊　隠岐の島駐在所
西郷港レインボー待合所内
風待ちスタジオ
立喰　がいな
08/11/2015 11:22
© TOMOSADA Kenji

4

http://www.mamedagia.com/

5

隠岐方言の方言区画上の位置づけ

〇東条　操(とうじょう　みさお)

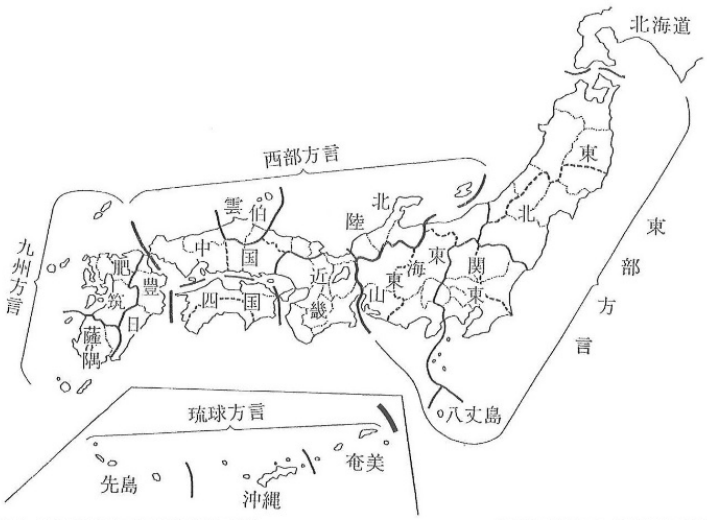
雲伯方言は出雲を中心とする。これに伯耆の西伯・日野両郡と隠岐を加える。

『日本方言学』(1954)の「序説」(p.64)

【東条　操】

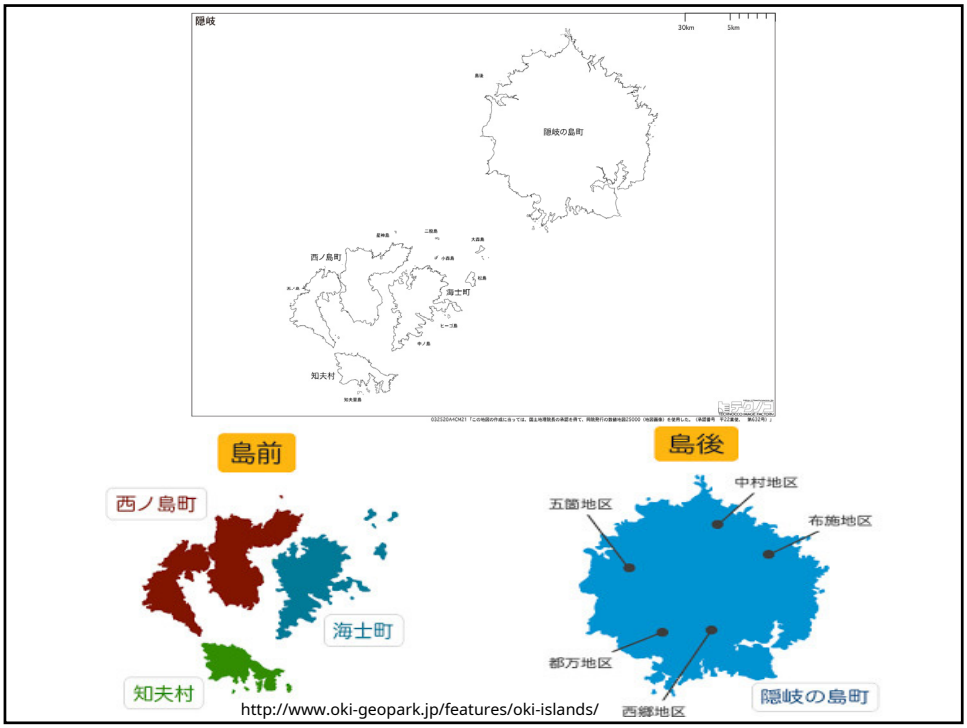
1884年- 1966年。日本の国語学者。1940年に日本方言学会を創立し、方言区画論を中心に方言を研究、日本方言学の確立に寄与し、「日本方言学の母」と呼ばれる。

6

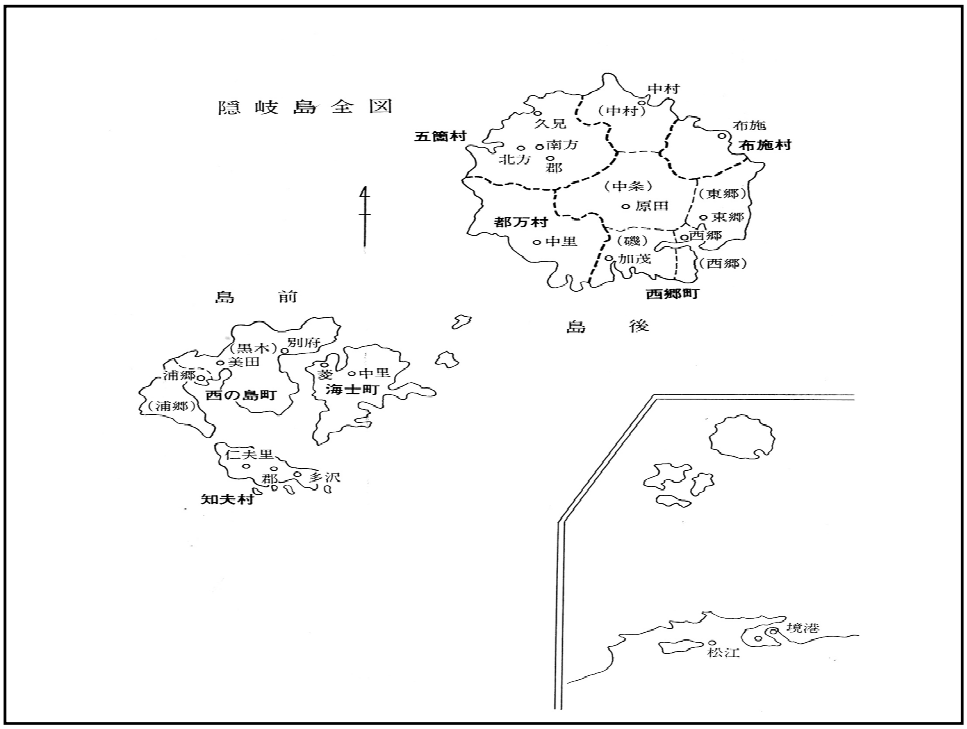


東條操（1954）『日本方言学』

7



8



9

島前と島後

○「居る」「来る」の尊敬語「ゴザル」→島後
　・マタ　ゴザンシェ。 (五箇)
○尊敬法「ゴザラッシャル」→島前
　・オンナノ　カンサンガ　ゴザラッシャル。(西の島)

「ゴザラッシャル」は、敬意の低下した「ゴザル」を補強する「シャル」がついた新用法か

10

11

島前と島後

〇強調の否定法

・フリャ　シェザッタ　ノー。→島後
・アミャ　フレサッタ。→島前

「フレサッタ」は「フリャ　シェザッタ」の音変化形

12

島前と島後

〇条件法
・ナガエガ　アッタエド～。→島後
・エキタダエド　ケー　ツマラザッタ。→島前

「～タエド」は、「～たれど」か。
「～タダエド」は、「タ＋ダエド」。

文末詞「ダエド」が成立し、「～タエド」に代わって用いられる。

13

島前と島後

〇ラ行音の促音化
・ダッダー。→島前
・オマツッダテヤ～　→島前

「島前ごえ(どうぜごえ)」

14

音声・アクセント・イントネーション

15

中舌母音

聴覚印象によって前舌母音と後舌母音の中間に位置すると定められた母音

〇きわめて微弱。

この隠岐にも、ごく微弱ながら、中舌母音とその痕跡とが認められるのである。

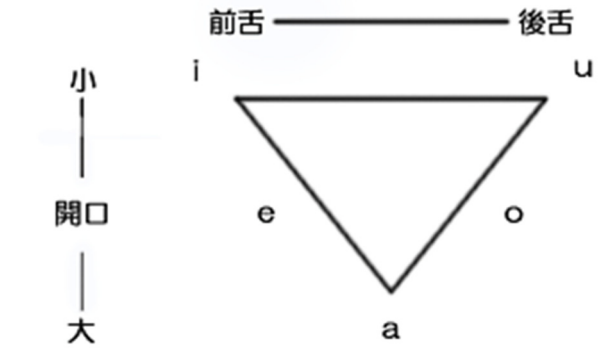
(神部　1978 : 570p)

休み [jasumï]

かすり[kasurï]

16

母音三角形



https://iwiz-chie.c.yimg.jp/im_siggiXIUNOfNgXTLNM0zKwb0Pg---x320-y320-exp5m-n1/d/iwiz-chie/ans-200189979

17

特徴的な音節

○「エ」と「イ」の中間音
　　糸[ęto]、犬[ęno]
○[F]音
　　笛[Fe:] 、 日和[Fijori]
○「シェ」音
　　ごしぇ[goʃe]
○「クヮ」音　→合拗音
　　菓子[kwaʃi]

18

出雲地方での発音

〇中舌母音

うし(牛)　　たにし(田螺)　　ひばし(火箸)

〇狭い「エ」→「イ」と「エ」の中間音

どちらを先に発音しているでしょう？

江戸(えど)　　井戸(いど)

※いずれも『出雲のことば』(湖西振興機構)より

19

特徴的な音変化

〇「u」→「o」

歌[ota]　馬[oma]

〇ザ行音のダ行音化

財産[daesan]　製造[ʃe:do:]

〇「ki」→「ci」

木[tʃi]

〇「Cau」→「Caa,ca」　→開音

ほうき[ha:ki]

20

https://store.line.me/stickershop/product/1041759/ja

21

特徴的な音変化

〇連母音「Cai」→「Cee,Cææ」

大根[de:kon] ,[dæ:ko]

〇連母音「Coi」→「Cee,Ce」

白い[ʃire:]

〇連母音「Cui」→「cii」

悪い[wari:]

22

特徴的な音変化

〇ラ行子音の促音化

1 「ル」の促音化　→島後・島前とも

・ノッ　カノ？　(乗るの？)　島後

・オッ　カノ？　(いるの？)　島前

2「リ」の促音化　→島後では少ない

・ヒョッガ　ヨカラーズ　ナ。(日和がいいだろうね。)　島前

3「レ」の促音化→ほぼ島前

・コッ　カ。(これか。)

23

アクセントの種類

A 多型アクセント

〇▲　〇●▲　〇●●▲

●△　●〇△　●〇〇△

〇●△　〇●〇△

〇●●△

B N型アクセント

拍数が増えても型の区別が一定数以上に増えないアクセント

24

N型アクセント

○一型アクセント　　宮崎県都城市など

飴・雨（○●）、鼻・花（○●）、橋・箸（○●）、男（○○●）、朝顔（○○○●）

○二型アクセント　　九州西南部など

木部暢子(2000)『西南部九州二型アクセントの研究』,勉誠出版

A型

○　●○　○●○　○○●○　○○○●○

B型

●　○●　○○●　○○○●　○○○○●

25

隠岐の三型アクセント　　松森(2012)

（1）隠岐島　五箇方言のアクセント１（２拍名詞）

	単独	～が	～から	～まで
A	トリ	トリが	トリから	トリまで
B	ヤマ	ヤマが	ヤマから	ヤマまで
C	アメ	アメが	アメから	アメまで

（2）隠岐島　五箇方言のアクセント２（3、４拍名詞）

A（車）	クルマ	クルマが	クルマから	クルマまで
B（紅葉）	モミジ	モミジが	モミジから	モミジまで
C（鼠）	ネズミ	ネズミが	ネズミから	ネズミまで
A（金持）	カネモチ	カネモチが	カネモチから	カネモチまで
B（朝顔）	アサガオ	アサガオが	アサガオから	アサガオまで
C（鶏）	ニワトリ	ニワトリが	ニワトリから	ニワトリまで

26

特徴的なイントネーション

〇台頭後起式　(神部　1978:490-497)

・*台頭後起A式*

文の両端が隆起するもの

・シラノ(↗)。(知らない。)

・アガラシタ　カノ。(上がられましたか。)

・*台頭後起B式*

文の冒頭と中途とに高音が隆起するもの

・サイナラ　バーサン。

・ゴメンナサンシェ。

27

文法・表現法

28

動詞活用(一部)

	買う	起きる	捨てる	来る	する
否定	カワン	オキン	ステン	コン	シェン
意志	カワー	オキョー	スチョー	コー	ショー
音便	カッ	オキ	ステ	キ	シ
連体	カウ	オキッ	ステッ	クッ	スッ
仮定	カウャ	オキリャ	ステリャ	クリャ	スリャ
	カワ	オキラ	ステラ	クラ	スラ
命令	カエ	オキー	ステー	コイ	シェー
	カウェ				

29

形容詞活用(一部)

推量　～ダラー / ～ジャラー
否定　タケーコタネー
連用　タカテ/タカーテ
　　タカナッタ／タカーナッタ/タカンナッタ
終止　タケ　　アウェ(青い)
仮定　～ケリャ / ～ケラ

30

形容動詞活用(一部)

推量	ダラー	ジャラー	ナカラー
過去	ダッタ	ジャッタ	ナカッタ
終止	ダ		
仮定	ナラ		

※「ジャラー・ジャッタ」は島後、島前は
「ダラー・ダッタ」

31

アスペクト

〇状態継続
- ・ソデニモ　ガラガ　ツイチョル　ノ。〈多〉
- ・マー　キマットー。〈少〉
- ・ナンボ　ヤイチャル？(いくつ焼いてある？)

「動詞連用形＋テ＋アル」

〇動作進行

a　現在
- ・アメガ　フッチョー。

b　過去→「動詞連用形＋オッタ」に由来する形
- ・ヨー　エキョーッタ　ワー。

32

敬語

〇尊敬

①「ゴザル」が多用される。

・オーノヤノ　バーサンノ　ゴザッ　カノ。(居る)
・チョットモ　ゴザラザッタ。(来る)
・ワラッテ　ゴザル。(補助動詞用法)
・コッチ　ゴザンシェー。(「ゴザンス」)
・コッチー　ゴザラッシャイ。(「ゴザル」＋「～シャル」)

33

敬語

②「シャル」もさかん

・アガラッシャラン　カノ。
・ギューニュー　ノマッシャエ　ナ。
・オチャ　ノマシャイ　ノ。
・エキテ　キカシャンスリャー。(「シャル」＋「マス」)
・ホトケサンノ　エナッシャル。

34

敬語

③「ナサンス」「クダサンス」

・ソエ　オトリナサンシェー。

・マー　ギョーサンノコト　クダサンシテ。

〇丁寧

①ゴザル・ゴザンス

・ヤマニ　マツノ　キガ　ゴザル。

・マッチガ　ゴザンス　カノ。

35

注目事象

①　断定辞「ダ」、「ジャ」

〇「ダ」が一般的

・オッダエド　マダ　エチネンダ。

・ホントーダー　ナ。

・ジューゴヤダン　ノ。

〇島後では、劣勢ながら、「ジャ」も聞かれる

・フターツモ　ウエジャ。

・オーアジジャ　ノー。

36

https://store.line.me/stickershop/product/1041759/ja

37

注目事象

②古態表現
- ・エモ行けヌ。（行けない）
- ・腰コソ痛ケレ。（腰は痛いし）

③「ノ」による否定
- ・エカノ。（行かない）

④「待つ」の上一段化

マチン　マチタ　マチッド　マチットキ　マチリャ　マチー
マチラ

⑤否定の「～サッタ」
- ・ソンナ　コト　オモエサッタ。（そんなことは思いは
しなかった。）

38

『NHK全国方言資料』で、隠岐(島後、中村地区)の、道で出会った時のあいさつを聞いてみる。

m 男性話者　1885年生まれ

f 女性話者　1890年生まれ

別紙の文字化資料をご覧ください。

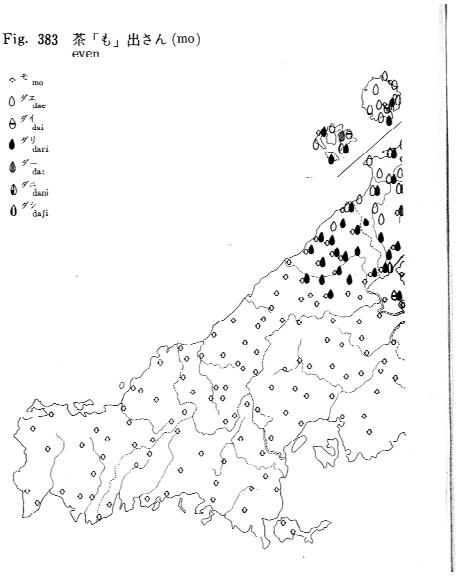
39

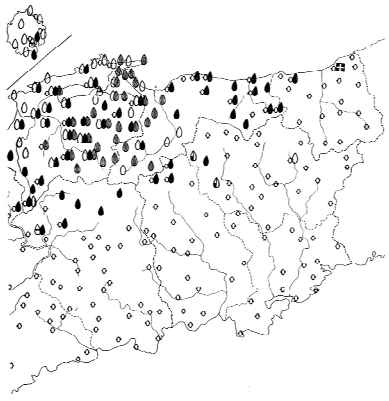
『中国地方五県言語地図』の
中の隠岐

40

雲伯地域と共通

Fig. 383 茶「も」出さん (mo)
even

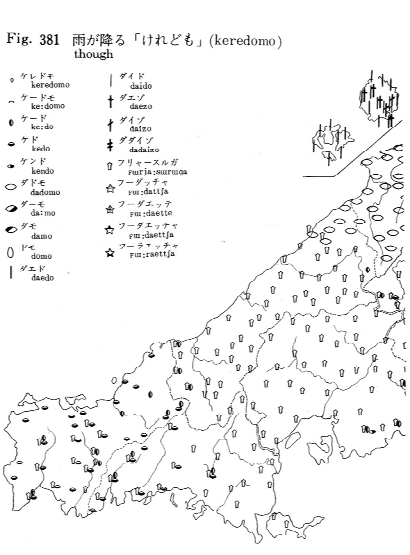


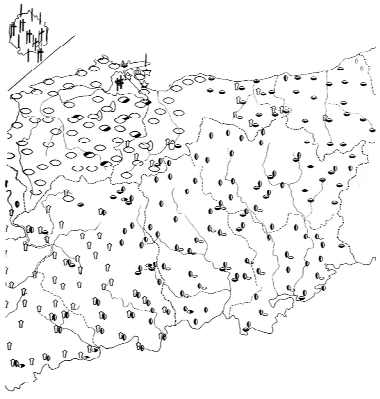


41

隠岐特有ー島前・島後共通ー

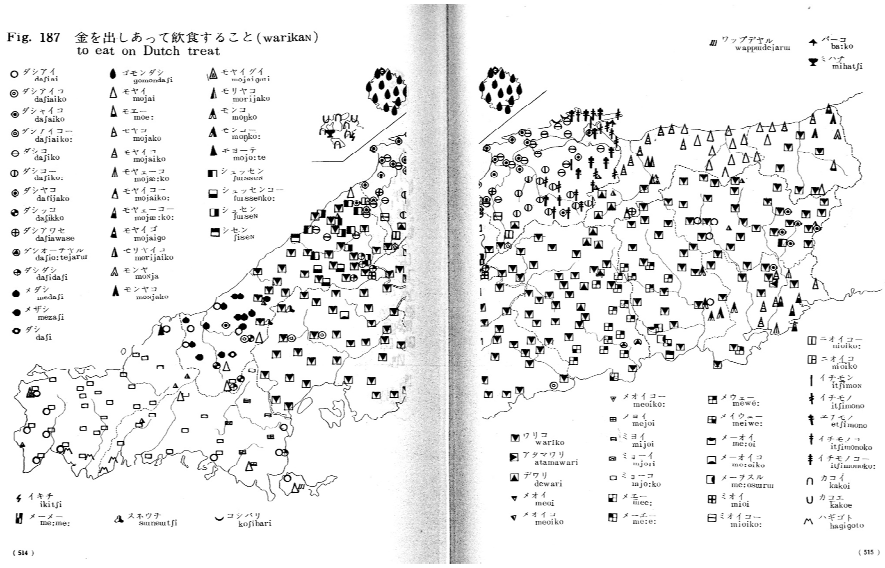
Fig. 381 雨が降る「けれども」(keredomo)
though





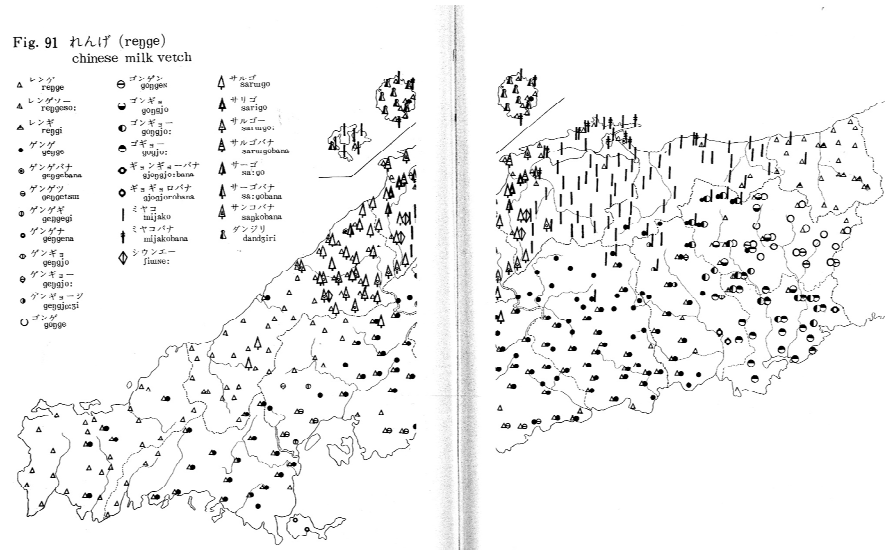
42

隠岐特有ー島前・島後で違いー



43

島前と出雲が共通

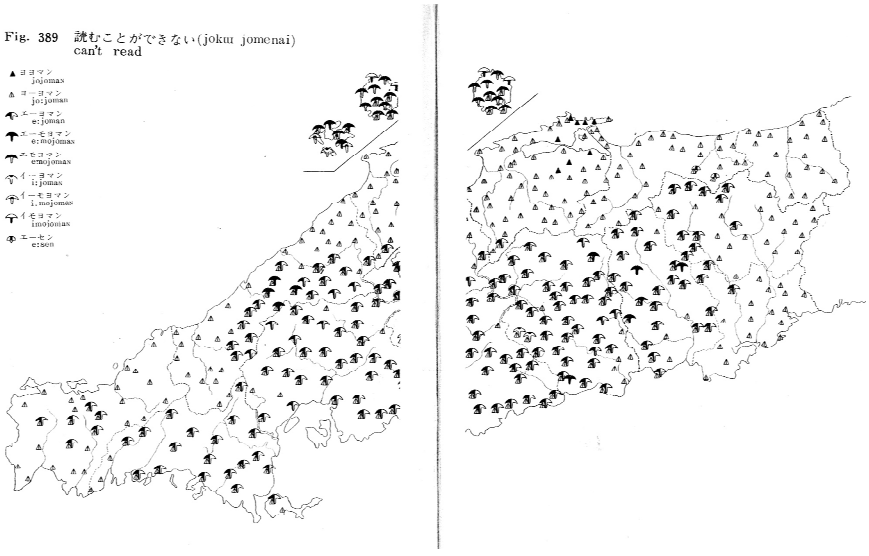


44

出雲南部と共通

45

山陽側と共通

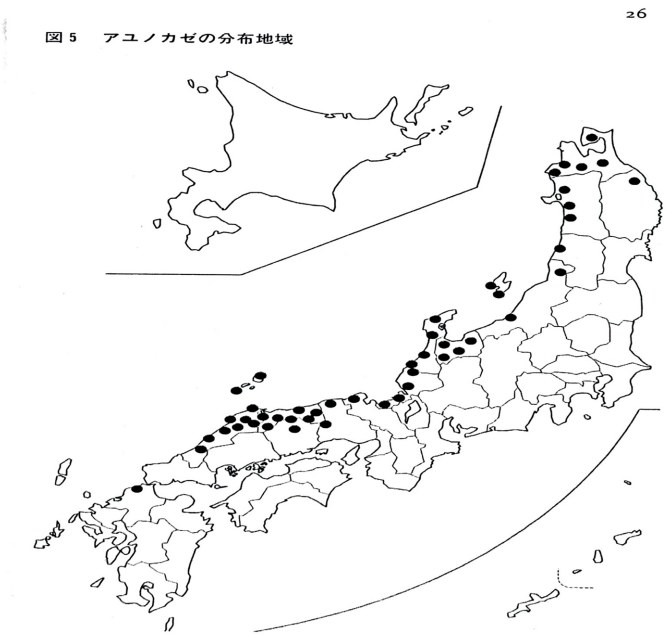


46

特徴的な分布例

①日本海側分布
②東日本との一致
③九州、沖縄との一致

47



真田信治(2002)『方言の日本地図』(講談社＋α新書

48

縄文語の貴重な遺存

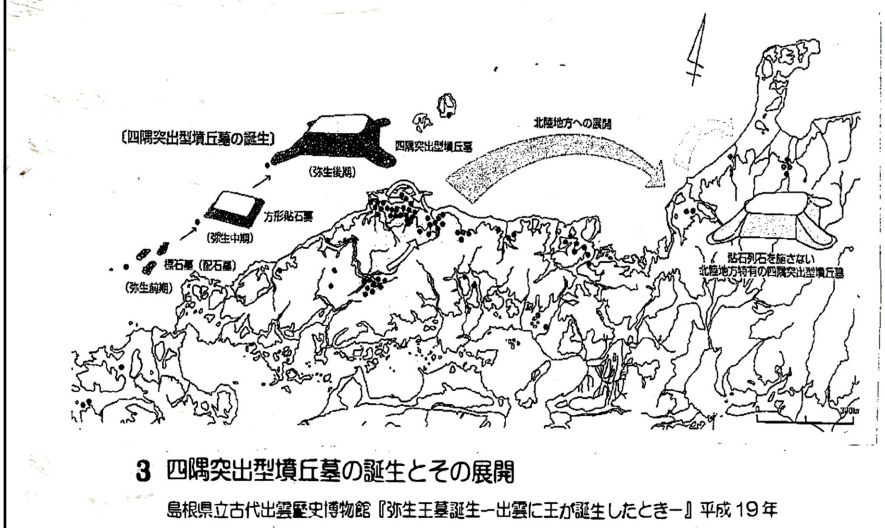
- 出雲族の起源が縄文時代に、南シナ海沿岸部、とりわけ華南地方からやってきた海洋民であり、「アユ」「ヒカタ」「ハエ」という風名は、彼らがこの地にもたらしたオーストロネシア系の言語の残存、すなわち*縄文語の貴重な遺存*を示唆するものである(以下略)

室山敏昭(2001)『アユノカゼの文化史ー出雲王権と海人文化ー』,ワンライン

49

島根県観光写真ギャラリー（https://www.kankou-shimane.com/ja/gallery/）

50



3 四隅突出型墳丘墓の誕生とその展開

島根県立古代出雲歴史博物館『弥生王墓誕生ー出雲に王が誕生したときー』平成19年

51

熊本・牛深市の「牛深ハイヤ節」の伝播

全国40ヶ所のハイヤ系民謡のルーツ。

江戸時代後期に生まれたとされ、長崎県平戸島田助、鹿児島県阿久根、福岡県小倉など九州各地に広がり、船で北上して、新潟の「佐渡おけさ」・山形の「庄内ハイヤ節」・青森の「津軽アイヤ節」・岩手の「南部アイヤ節」・宮城の「塩釜甚句（ハットセ）」・茨城の「潮来甚句」等になって定着した。

各地の「おけさ」系民謡のルーツでもある。

52

しげさ節の由来

この唄は、越後方面に伝承されている盆唄「しゅげさ」が元唄と言われ、江戸中期から後期にかけて隠岐に伝承し「しげさ」となったものと伝えられている。

「しゅ げさ」の語源は「出家」の北陸訛りで、それが隠岐では「しげさ」と略語化したもの(以下略)

http://www.page.sannet.ne.jp/nobumi-saito/minyou/minyou.html　2016.10.12アクセス

53

「おじ」「おば」

○「おじ」　次男以下の男子。
『日本方言大辞典』によると、東北～関西には、ほぼ存在するが、関西以西では、「島根県隠岐島」「徳島」とある。

○「おば」　次女以下の女子。
同辞典では、東北以外では、千葉県、新潟県、石川県、長野県、三重県、島根県隠岐島となっている。

54

https://store.line.me/stickershop/product/1041759/ja

・語源は「笑止な」であろう
・『県別方言感情方言辞典』(東京堂)によると、「恥ずかしい」の意味では、

青森、岩手、秋田、宮城、新潟、富山

55

「そうき」(竹で編んだ笊)

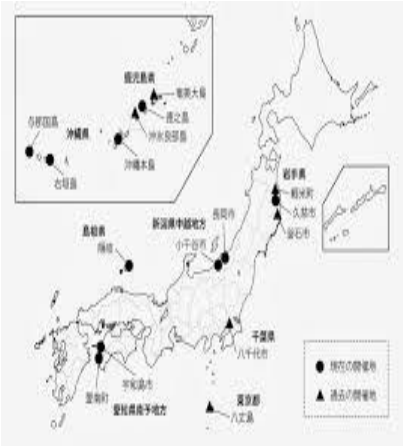
○『日本国語大辞典』(小学館)
方言として、兵庫県佐用郡・鳥取県・島根県・出雲・隠岐・岡山県・広島県比婆郡・沖縄

https://blogs.yahoo.co.jp/itown_nagomi/8572795.html
（最終閲覧日：2016/10/20）

56

闘牛の分布

島根県観光写真ギャラリー
(https://www.kankou-shimane.com/ja/gallery/)



石川菜央 (2009)「日本の闘牛」林良博ほか編『ヒトと動物の関係学』第2巻: 117-128（岩波書店）

57

ありがとうございました

https://xn--ccka2b0bj4c9h.com/okinosima-douzen

友定賢治
tomsad1127@gmail.com

58

言語資料のいい録音のための５＋１

児倉　徳和
（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）

方言の調査・研究において、録音された音声は重要な資料であり、方言の調査にあたっては高品質の録音を行う必要がある。本講義は方言調査の経験を持たない受講生に対し、様々な制約の存在する現地調査の現場においてできるだけ高品質の録音を行うために知っておくべき知識を学ぶとともに、機材を用いた録音の実習により、録音機材の操作と、調査現場において具体的に注意すべき事項の確認を行った。本講義では主に以下の6点について論じた。

(1) 電源

電源が確保されない調査地では電池により駆動する録音機材（レコーダーおよびマイク）を使用する必要があること、また機材の使用中の電池切れを避けるため、十分な量の電池を使用可能な状態で用意するとともに、調査中は常に機材が電池切れを起こしていないか注意しておく必要があることを論じた。

(2) 音質の設定

録音の音質の設定を行う際の代表的なパラメータであるサンプリング周波数とビットレートについて学び、音声資料としてどの程度の音質が必要であるか、音質をどのように設定するかを論じた。

(3) マイクの位置

録音に用いるマイクの選択と設定、設置を行う際に知っておく必要のある、マイクの指向性と音源からの距離による音声波の減衰について論じた。

(4) 録音レベル

録音機材において設定する必要のある録音レベルについて、レベルの高低による音声の変化について学ぶとともに、調査前に話者の協力のもと録音レベルを適切に設定しておく必要があることを論じた。

(5) 録音ボタン

しばしば致命的なミスに繋がる録音機材の録音操作について学び、録音操作に注意を払い、確実に行うことの重要性を論じた。

(6) ノイズの抑制

録音の質を高めるために抑制すべき雑音（ノイズ）にどのようなものがあるか、またノイズの音源から距離をとり、ノイズの音源がマイクの指向性の範囲に入らないようにマイクを設置するなど、マイクの指向性や音源からの距離による音声の減衰を利用してノイズを効果的に抑制する方法を論じた。

1

いい録音とは？

- （言語資料として）いい録音、とは？
  - 録音したい音声がクリアに録音されている。
  - 録音したくない音声（ノイズ）が録音されていない。
  - （周囲の音が入った）臨場感は必ずしも必要ない。
- いい音を録音するには、スタジオ（防音室）に行くに越したことはない。
- しかし、たいていのフィールドにはそんな設備はない。
- 与えられた状況でいかにいい録音をとるかを考える。

2

1．電源

- レコーダーとマイクの電源をONにする。

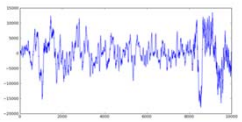
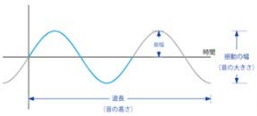
https://www.zoom.co.jp/ja/news/H4nPro-BLK
(最終確認日 2020-02-28)
https://www.shure.com/ja-JP/products/microphones/sm58
(最終確認日 2020-02-28)

- 電池内臓のマイクの場合特に注意すること：
  - レコーダーもマイクも録音中に電池切れになると何の警告もなくOFFになるので、電池は使いかけのものを使わない（充電池がよい）。
  - マイクは使用後は電源をOFFにし、長時間使わない場合は電池を抜いておく（液漏れの危険あり）。
- 電源が入っていないと、音質以前に全く録音されないので悲しいことに。

3

2．音質の設定

- 音質のパラメータ：サンプリング周波数（kHz）とサンプリングビット数（bit）
- 音声波をデジタルで記録する方法：
  - 音波は様々な周波数の音（おと）が様々な量（音量・大きさ）で含まれている。
  - 音波は高さ（振幅の横幅）と大きさ（振幅の縦幅）で特徴づけられる。

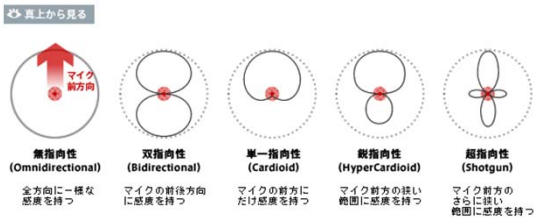
110519/1305808715
(最終確認日 2020-02-28)
classes_j/minim/
(最終確認日 2020-02-28)

  - 横方向の細かさ＝サンプリング周波数
  - 縦方向の細かさ＝サンプリングビット数
- CDの音質（44.1kHz、16bit）が目安

4

３．マイクの位置

- マイクの位置を調整する。
- マイクの位置を決めるのに重要な要素
  - 指向性：どの方向の音を録音するか



https://www.ediusworld.com/jp/pimopic/cat5_145.html
(最終確認日 2020-02-28)

  - 音源（口）からの距離：録音レベルに影響

5

４．録音レベル

- 録音レベルの調整
  - 大きすぎると…音が割れる
  - 小さすぎると…聞こえない

  →うまくバランスをとる。

- コンサルタントに声を出してもらいながら調整する。

6

5．録音ボタン

- 録音ボタンを押す
  - 多くの IC (PCM) レコーダーは2段階の操作が必要なので注意。

7

ノイズ

- ノイズをとる
- ノイズの音源：
  - 機器のノイズ：冷蔵庫、パソコン、蛍光灯　etc.
  - 環境音：虫の声、雨の音、人の声、足音　etc.
  - 部屋：反響
  - コンサルタント
  - 調査者

8

ノイズが入らないようにする方法

- マイクの性質を利用する
  - 指向性：マイクが録音しない方向にノイズの音源が来るようにセット。
  - 距離：マイクが録音しないような距離をノイズの音源からおく。
  - 録音レベルを考慮すると、より録音したい音源（口元）にマイクを近づければ、相対的にノイズが減少する。

9

カクテルパーティー効果

- 人間の耳は自分が注意している音声以外のノイズをシャットアウトする。

https://dbcover.com/cocktail-party-effect-and-room-acoustics/
(最終確認日 2020-02-28)

- レコーダーにカクテルパーティー効果は存在しない：録音しているときにシャットアウトしているノイズもレコーダーは真面目に録音してしまう。
- 必ずイヤホンで聞きながら（モニターしながら）録音する。

10

まとめ

- いい録音をとるために気をつけること
  - 電源ボタン
  - 音質の設定
  - マイクの位置
  - 録音レベル
  - 録音ボタン

  - ノイズーかならずモニターをすること！

11

談話の収集

中山　俊秀
（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）

本稿では、言語ドキュメンテーションにおける談話データに関して、その必要性・位置付け、談話の種類、収集と処理の手法と難しさを解説する。

言語ドキュメンテーションは、特定の言語コミュニティーにおける言語使用の実態を包括的に、幅広く活用ができる形で記録することを目的とするが、自然談話データは自然なコミュニケーション活動を捉える上で重要な位置を占める。これは、自然談話が話者の自己意識が低く恣意的な外的コントロールから最も自由な言語使用形態であるためである。談話データは、その言語コミュニティーで自然な言語表現法を記録・観察する上で最適で、よく使われる構文や定型表現、言葉による社会関係の操作、アイデンティティの表出、態度表明などの対話スタイルに関する情報を得やすい。一方、文法構造の記述などに活用される構造情報（明瞭な発音、音変化のパターン、活用システム、語形成のパターン、文構造操作のパターンなど）の体系的収集には談話データは適していない。これは、ほとんどコントロールされていない自然な言語使用の記録であるという談話データの特性が故のことである。

談話データは、話者交替の有無によって会話とナラティブに大別できる。話者交替がある会話は、相互行為性が高く社会的行為としての性格が強い。そのため、言語を用いた社会的関係維持の手法を観察するのに適しているが、展開をコントロールすることは極度に難しく文脈の影響も受けやすいため、談話構造や構文用法規則などの体系的分析のためのデータとしては活用しにくい。一方、話者交替のないナラティブは、文脈がわかりやすく、談話構造や文法構造パターンなども見えやすい。また、特定の刺激を用いて話のタイミング、内容、流れなどをコントロールすることも可能であるため、実験的データを集めることもできるという利点もある。

談話データは、日常的な言語使用に近い形の言語データなので、収集がより簡単であるように思えるかもしれないが、逆に、日常的な行為であるがゆえに、録音・録画されることに対する話者の抵抗感は強く、データ収集の価値も理解してもらいにくい。そうした抵抗感を減らす上では、コミュニティーのメンバーに協力を仰ぎ自然な交流の場を作ることが有効である。

談話データは、聞き取り調査によるデータなどに比べ、その収集も処理・データ化（録音データの書き起こし）も手間がかかるが、他のデータでは捉えることが難しい自然な言語使用パターンや社会的機能の観察には不可欠である。

談話の収集

中山 俊秀

1

言語ドキュメンテーションの目標

- 特定の集落・集団に特徴的な言葉の使い方を包括的に記録する

2

言語データの種類

話者の自意識・低い；コントロール・弱い

- 自然なコミュニケーション活動
  - 自然談話
- 計画的なコミュニケーション活動
  - 手順の説明
  - きっかけに応えた談話
- 聞き取り調査データ
  - 翻訳
  - 作文
  - 文の正誤判断

話者の自意識・高い；コントロール・強い

3

談話データから得やすいもの

- 自然な言語表現の仕方
- 構文や定型表現に関する情報
- 対話のスタイルに関する情報
  - 言葉による社会的関係の操作
  - 言葉による態度表明の仕方
  - 言葉によるアイデンティティの表出

4

談話データから得にくいもの

- 理想的な（「ちゃんとした」）発音
- 「ちゃんとした」文構造
- 活用システム；語形変化パターン
- 複雑な構造の文

5

自然談話の種類：**会話**

- 文脈の影響を極度に受けやすい
- コントロールが極度に難しい
  - タイミング、内容、流れ・構造
- 社会的やりとりと言葉の関係を見るには最適
- 文法の詳細調査にはあまり適していない

6

自然談話の種類：ナラティブ

- 比較的文法システムが見えやすい
- 文脈がわかりやすい
- 多少コントロールが効く
  - タイミング、内容、流れ・構造
- 話の組み立て方と言葉の関係を見るには最適

7

自然談話データの収集

8

会話データの収集：録音の仕方

- 個々の話者の音声を明確に録りたい
  ➡ピンマイクを個々の話者に
- 会話の状況・雰囲気をうまく捉えたい
  ➡ステレオマイク、もしくはマイク２本で
- 多くの話者がいる
  ➡バウンダリーマイク

9

会話データの収集：難しさ

- 録りたいときに録るのが難しい
- 人前で方言で話すことへの抵抗
- 録音されることへの抵抗
- データの価値を理解してもらいにくい（特に会話）

10

会話データの収集：工夫

- 集落の人に協力してもらう
- 自然な交流の場を作る
- 多様な人を調査チームに加える
- ともにデータを分析することで関心を高める

11

ナラティブの収集：録音の仕方

- １人の話者を録ればいい！
  - ➡ショットガンマイク
  - ➡ピンマイク

12

ナラティブの収集

- 比較的コントロールしやすい
- 筋が通った話をするのはスキルや準備が必要なことがある

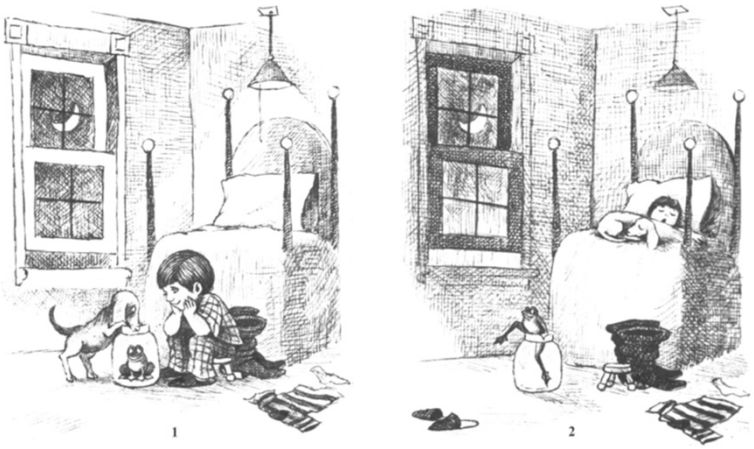
13

ナラティブの収集：工夫

- あらかじめ予告しておく
  - 準備しすぎになる傾向もある
- プロンプトを使う

14

プロンプトの例：Frog Story



Mercer Mayer. 1980. “Frog, Where are you?” Puffin.

15

プロンプトの例：絵の描写タスク

16

談話データの書き起こし

17

談話データ書き起こしの難しさ

- 話すときの事故
  - 発話の重なり
  - 言い間違い・言い直し
  - いいさし
- 話しことばならではの形
  - 発音の省略・短縮
  - 文になっていない表現
- 意味に影響を与える非文法的要素
  - 声質、沈黙など

18

談話データ書き起こし

- 文単位で書き起こすことは難しい
- イントネーションの単位でまとめるほうがより捉えやすい

19

愛知県一宮市（旧木曽川町）フィールドワーク　事前研修

概要

開催日時　2017 年 8 月 26 日（土）・27 日（日）

開催場所　さかえビル（愛知県名古屋市）

世 話 役　久保薗愛（愛知県立大学）

参 加 者　13 名（公募の大学院生 4 名＋愛知県立大学学部生 9 名）

プログラム

1 日目（13:30～17:00）

1. 木部 暢子・原田 走一郎（国立国語研究所）「調査の概要」
2. 平子 達也（駒澤大学）「木曽川方言の概要」
3. 塩原 朝子（東京外国語大学 AA 研）「「データ」収集の技法：よりよいドキュメンテーション・研究のために」
4. 青井 隼人（東京外国語大学 AA 研／国立国語研究所）「より良い録音を録るために」

2 日目（10:00～15:30）

5. 平子 達也（駒澤大学）・青井 隼人（東京外国語大学 AA 研/国立国語研究所）「木曽川方言の聞き取り実習」

※1 日目「調査の概要」については、巻末の付録を参照。

木曽川（尾張）のことばの概要

平子　達也

（駒澤大学）

2017年度合同調査の調査地であった旧木曽川町地域の方言について概説した。木曽川方言は、尾張方言と呼ばれる方言の一変種であり、愛知県一宮市旧木曽川町域で話される。

本講義では、(1) 音声・音韻、(2) 語彙、(3) 形態・統語をそれぞれ取り上げ、木曽川方言の特徴について述べた。木曽川方言の主な特徴を以下に掲げる。

(1) 音声・音韻

・標準語にはない母音の区別が存在する（例：[ky:]「杭」など）。

・アクセントは標準語と基本的には同じ体系である。

(2) 語彙

・尾張地域に特徴的な語彙として、以下のようなものが認められる：*osogai*「恐ろしい」、*jodo*「よだれ」、*nicirinsama*「太陽」。

(3) 形態・統語

・サ行イ音便がある。

・繋辞（コピュラ）の形式は *ja* である。

・結果継続（状態）と動作継続（進行）を文法的に区別する。

・敬語形式を派生する接辞として、*-jaas-*、*-(s)as-*、*-mier-* などがある。

木曽川（尾張）のことばの概要

駒澤大学　文学部
平子達也
hirakota@komazawa-u.ac.jp

1

はじめに

- 今日の話す内容 ＝ 木曽川のことばの概要
  - 非常に大雑把な内容
  - そもそも包括的な記述が（ほぼ）ない
  - 部分的なこと、特徴的なことのみ
  - 母語話者としての直観

2

木曽川町・一宮市・尾張

- 木曽川町
  - 2005年に尾西市とともに一宮市に編入された
- 一宮市
  - 尾張国の一宮である「真清田神社」があることに由来
- 尾張：愛知県西部
  - 7世紀後半の木簡では尾張国と尾治国の二つの表記。
  - 平安時代には「尾治」とある。

3

木曽川方言

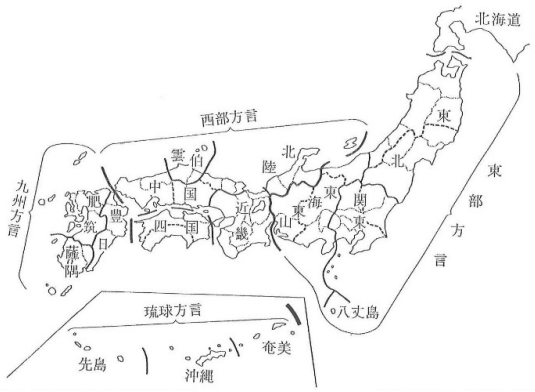
- 木曽川のことば（以下、木曽川方言）
  - 愛知県一宮市木曽川町で話される日本語の地理的変異の一つ
  - 話者（以下、平成29年4月現在。一宮市HPによる。2017年8月25日閲覧）
    - 伝統的な方言を流暢に話すのは60代後半以上（平子の感覚）
      - 一宮市全体で60代後半以上の人口の割合は25%程度
      - 旧木曽川町域の人口は34117人
    - 伝統的な方言の話者は8000人程度（？）
      - ただし市外から移住してきた人も多い

4

尾張方言

- 木曽川方言：「尾張方言」と呼ばれるもののひとつ
- 尾張方言：東海（東山）方言のひとつ
  - 東條操（1954）『日本方言学』の分類では東海（東山）方言は、東部方言のひとつとされる。
  - もともとは、北陸方言とともに「本州中部方言」に分類されていたが、アクセントなどにもとづいて、北陸方言は西部方言に、東海東山方言は東部方言に分類された（中部方言は消滅）。

5



6

尾張方言

- 平子の世代にとっての身近な「尾張方言」
  - ニコちゃん大王（Dr. スランプ）
    - https://www.youtube.com/watch?v=b6hDbXv-Nyw
  - ヤジロベー（ドラゴンボール）
    - https://www.youtube.com/watch?v=9qmVIAS3su4&t=58s
- 河村たかし名古屋市長
  - https://www.youtube.com/watch?v=QDlN1cUyBeg
- 山口さんのブログ
  - http://moon.ap.teacup.com/deka2/

7

音声・音韻

8

母音

- 尾張方言は8母音！？
  - a, i, u, e, o, ü[y], ö[œ], æ（ü[y], ö[œ], æ は長母音のみ）
    - 「杭」　ky:
    - 「鯉」　kœ:
    - 「貝」　kæ:
    - 「蝿」　hæ:
  - ü[y], ö[œ], æの由来は明らか。
    - どう分析すべきか？？

9

アクセント

- 基本的には「標準語」アクセントと同じ体系

10

アクセント（つづき）

- 通時的観点から分類すると「内輪式アクセント」

内輪式（Nairin）	中輪式（Churin）	外輪式（Gairin）
I-1/2.3	I-1.2/3	I-1.2/3
II-1/2.3/4.5	II-1/2.3/4.5	II-1.2/3/4.5

11

アクセント（？）

- 「遅上がり」と呼ばれる現象

標準語　サ[カナ　　尾張方言　サカ[ナ
　　ア[リ　ア[リガ　　ア[リ　アリ[ガ

- 「一拍卓立」とは異なる

標準語　ア[キタコ]マチ　　尾張方言　アキ[タコ]マチ

12

語彙

13

東海地方に広く分布するもの

- 「まぶしい」　hizurasii　LAJ_030.pdf

14

美濃・尾張に分布するもの

- かかし　some　　LAJ_190.pdf

15

岐阜・愛知に分布するもの

- 恐ろしい osogai　　LAJ_042.pdf
- よだれ　jodo　　LAJ_119.pdf
- 太陽　　nicirinsama　　LAJ_251.pdf

16

オノマトペ類

- ちんちん　～　ちんちこちん
- と(っ)きんと(っ)きん

17

学校方言

- おくうん
- 放課
- (机を)つる

18

形態・統語

19

動詞活用

- サ行イ音便がある
- 「来る」の活用
- 「する」の終止形

動詞活用（一部）

	買う	起きる	する
否定	カワン	オキン	セン
	カワセン	オキセン	シーセン
	カワヘン	オキヘン	シーヘン
意思	カオマイ	オキヨマイ	シヨマイ
終止	カウ	オキル	スル
			シル
			セル
仮定	カワャ	オキリャ	シヤ
命令	カエ	オキー	セー

20

否定の「～ス」 *-(a)su(to)*

- 「未然形」＋「スト」の形で見られる
  ソッチ　イカスト　コッチ　コヤーテ

- 以下の「ス」とはおそらく別物。
  ソンナトコ　イカスカ
  ソンナトコ　イカストワ　オモワナンダモンデ…
  ソンナトコ　イキャースナテ

21

形容表現・名詞述語

- 形容詞
  - 「連母音融合」が盛んに見られる。

- 名詞述語
  - ～ヤ／～ダ
  - ～ヤッタ　／～ダッタ

22

典型的な有標主格（！？）

- 主格・属格：ン *=n* (無助詞もありか？)
- 対格：無助詞

23

数に関すること

- 複数接辞 「ター」 *-taa*
  キノー　ハラダサンター　ミエタワ

24

アスペクト

- 結果継続（状態）と動作継続（進行）の別がある
  - ただし、GAJ_198_m.pdf、GAJ_199_e.pdf

- 「桜が散っている」
  サクラン　チットル　　（状態も進行も）
  サクラン　チリョール　（進行のみ）

25

ヴォイス

- 使役（・尊敬）の「ス・サス」*-(s)as-*
  - カカシタ（書かせた）
  - タベサシタッタ（食べさせてやった）

- *-ar-* による自動詞化：ただし語彙的なもの
  - 鍛わる　*kitaw-ar-u*
  - 覚わる　*obow-ar-u*

26

ヴォイス（？）

- 「カス」 ??*-(ar)akas-* : ある程度は生産的

空く	*ak-u*	
空かる	*ak-ar-u*	空かす *ak-as-u*
cf. 空ける	*aker-u*	
空からかす	*ak-ar-akas-u*	

cf. 津軽の「ガス（カス）」

27

ヴォイス（？）

- 平子が使えそうなもの
  - 降る　降らかす
  - 泣く　泣からかす
  - 飲む　飲まらかす
  - できる　でかす　でからかす

  cf. 嫁らかす

28

敬語

- ～ャース／～ャータ　*-jaas-*
  - 「行く」　イキャース／イキャータ
  - 「起きる」　オキヤース／オキヤータ
  - 「来る」　コヤース／コヤータ

- セル／シタ *–(s)as-*
  - 「行く」　イカ（ッ）セル／イカシタ
  - 「起きる」　オキサ（ッ）セル／オキサシタ
  - 「来る」　コサッセル／コサシタ

29

敬語（つづき）

- 「ミエル」 *-mier-*

  先生が職員室にミエル　「先生が職員室におられる／来られる」
  先生が来てミエル　「先生が来ていらっしゃる」

30

やりもらい

- ～マウ／～マッタ *-maw-*
  今日はたくさんの人に来テ[マッタ]で、ありがたかったわ。

- 以下の～マウ／～マッタ *-maw-*とは異なるもの
  もうお客さん、来[テ]マッタで、はよ準備せなかんわ。

31

おわりに

32

- 今日の話の内容のうち、多くの部分が以下の文献を参考にしたものです。

愛知県教育委員会（1985）
『愛知のことば―愛知県方言緊急調査報告書―』

33

「データ」収集の技法：
よりよいドキュメンテーション・研究のために

塩原　朝子
（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）

この講義では言語ドキュメンテーションと言語研究のためにデータを収集する様々な方法を紹介した。

今回の木曽川方言の調査では、基礎語彙を把握するための単語収集、および、文法の概略を明らかにするための文の聞き取りを調査票を用いて行う。このプロセスは調査の出発点として必要かつ有効な手法であり、この段階で丁寧に聞き取り調査を行うことにより、形態論・統語論に関する仮説を効率的に立てることができる。ただし、上記の仮説を検証し、言語記述を進めるためには、さらにデータを収集する必要がある。現在少数言語・危機言語の調査を行っている研究者の多くは、近い将来話者がいなくなるであろう言語の記録を残すために、様々な言語使用の側面を反映したデータを収集し、言語全体の包括的なドキュメンテーション(記録)を行うことを目指している。そのような記録は言語記述やそれに基づく理論的研究に役立つのみならず、他分野の研究者にとっても、さらに、話者コミュニティにとっても、それ自体大きな価値をもつ。記録したデータの価値は、アノテーション（メタデータの付与、書き起こし、翻訳、逐語訳）の付与により大きくなるが、適切なアノテーション付与のためには対象言語に関する知識が必要となる。つまり、言語を記録する作業と、対象となる言語の分析・記述は並行して進める必要がある。

自発的な発話のデータを収集する際は、話者コミュニティのメンバーに録音を依頼し、外部者である調査はその場を離れるなどの工夫が必要となる。発話の主題として、話者が話しやすい題材（イベント（結婚式やお祭り）の

話、「手順」の説明（料理、手工芸品の制作プロセス）など）を、調査者側が提示することが役立つ場合も多い。このようにして得られた自発的な発話は、実際のところ、言語学研究のデータとしては使い勝手が悪いことも多い。これは、分量が多くなりがちでデータとしての処理に時間がかかったり、直示的表現の指示内容が不明確で話の筋を追うことが難しかったりするためである。このような難点を克服しつつ、可能な限り自然な発話を得るため、近年多くの言語学者が、ビデオ、イラストなどの「刺激」を用いてデータを収集する方法を用いている（例 Pear Story (Chafe: 1980), Family Problems Picture Task (Barth and Evans 2017)）。

危機言語・少数言語の調査者は、将来話者コミュニティなど様々な立場の人による利用を可能とするような包括的な記録を目指しつつ、自身の研究ニーズも満たす形で、バランスよくデータ収集を行うことが望ましい。

「データ」収集の技法：よりよいドキュメンテーション・研究のために

塩原朝子（東京外国語大学　アジア・アフリカ言語文化研究所）
2017年8月26日（木曽川方言調査事前ワークショップ）

1

東京外国語大学

2

スンバワ語の調査
（インドネシア・スンバワ島西部）

3

スンバワ語のコンサルタント
Dedy Mulyadi さんとその家族

4

Alor: Kui語

5

6

インドネシアNTT州での
ドキュメンテーション・ワークショップ
（クーパン アーサ ワチャナ カトリック大学）

7

今回の調査の目的・手法

- 「危機方言」の一つである木曽川方言の記録を行う
- 木曽川方言の文法の概略を明らかにする
- 個別の文法項目を明らかにするため、トピックに沿った調査票に沿って聞き取り調査を行う

  →基礎語彙調査と同様、調査の出発点としては必要かつ有効な手法

  →丁寧に聞き取り調査を行うことにより、形態論・統語論に関する「仮説」を効率的に立てることができる

ただし、仮説を立てた後は検証が必要

8

例：聞き取り調査による仮説の構築

• 使役
自動詞使役化におけるいわゆる強制使役・許可使役の違い

「弟が行きたいというので，弟を／に行かせた。」
「弟は行きたくないというが，弟を／に無理に行かせた。」

強制使役と許可使役で構文上の違い（格交替・動詞形態）があるか？

9

次のステップ：実際の言語使用の観察

・聞き取り調査だけでは説明が難しい事象がある

・仮説を立てることができたとしても、実際の言語使用をみて、「仮説」を検証する必要がある

10

次のステップ：ドキュメンテーションとコーパス構築

・検証のためには自発的な発話のデータが必要

・特定の事項ではなく、言語使用全体を反映したデータを整備していく必要がある

究極的には言語全体の包括的なドキュメンテーション（記録）を行うことが望ましい：Himmelmann (2006a, b)
・その言語の（可能な限り）自然な発話の記録
・より多くのジャンルのデータの記録

11

内容

1. 言語・方言のドキュメンテーション（記録）の実際
2. 録音データの活用
3. データ収集のさまざまな方法

12

言語・方言のドキュメンテーション

- 多様な音声データ・映像データを収集
- 適切なアノテーションをつけて保存

- その時点での記録としてそれ自体価値がある
- 言語学者だけでなく「話者」にとっても貴重な文化的な資料
- 「言語研究の手段」としてのデータではなく、データをよりよい形で残すこと自体が目的である

13

多様なデータって？

- いろいろな人の発話
- いろいろな場面・ジャンル・形式での発話

14

適切なアノテーション

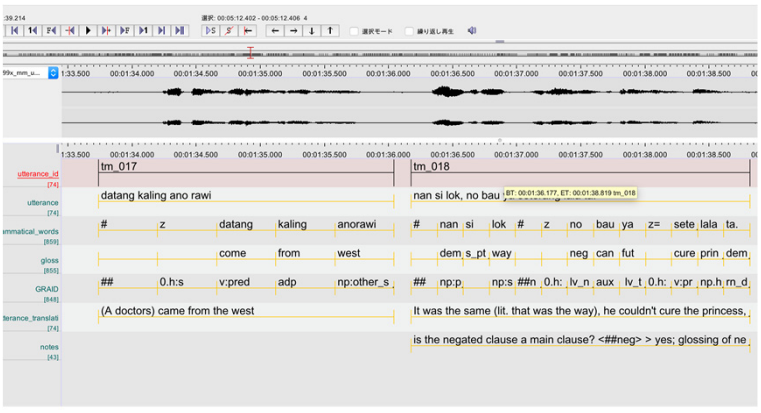
- データは録音・録画しただけではあまり価値がない

- 録音・録画に関するメタデータが必要
- 必要に応じて、「かきおこし」、「訳」、「グロス」「文法情報」「文化的な事柄への注釈」などのアノテーションがあると役立つ
- アノテーションのついたテキストの束＝コーパスは多目的に使える情報の宝庫

- 豊富なアノテーションがデータの価値を決定します！

15

ELANをつかったアノテーションの例



16

ドキュメンテーションと言語記述（研究）の関係

- 言語記述と言語ドキュメンテーションは研究の両輪
- 適切な言語記述（文法書や辞書の作成）のためには、包括的なドキュメンテーションが必要
- ドキュメンテーションの内容の価値を高めるためには適切な言語記述の技術とその成果が必要
  （音素を確定しないと書き起こしは難しい。ある程度文法がわかっていないと、文の内容の把握を正確に行うことができない。）

17

アノテーションされたデータのその後

- データは言語学者にとっても話者にとっても貴重な財産
- 自分のパソコンのハードディスクにしまいこむのではなく、共有・公開していくことが望ましい
- 言語アーカイブ
  例：PARADISEC
- http://www.paradisec.org.au/

18

よりよいデータ

- 話者が望むような内容：話者コミュニティが大切に思っている文化的・歴史的事柄
- 話者の迷惑にならないような内容（プライバシーに関わる事柄の公開には特に気をつける

ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー

- 可能な限りよい音質で
- 可能な限り豊富なアノテーションをつけて
- 可能な限り多くの人がアクセスできるように

19

現実的な計画を

- 収集した（これから収集する）すべてのデータに対して十分なアノテーションをつける、というのはたいへん

望ましい方法

- 話者を含めたくさんの人に関わってもらう
- 重要な（面白そうな・必要な）データに関してのみ詳しいアノテーションをつける

20

話者のためのデータの活用

- インドネシアの少数言語のドキュメンテーションデータ活用の事例
  - 教科書や読み物の材料として
  - 話者が見て楽しめるビデオの作成

21

データ収集の方法

- できるだけ自然な発話を収集することが望ましい（尾張方言っぽく）
- とはいえ調査者がマイクを向けてそこに存在する以上、完全に自然な発話の収集は無理
- どんな工夫ができるだろう？

22

言語学研究により特化したデータ収集の方法

- 自由に話してもらった自然な会話やモノローグは貴重なリソース
- ただし、（特に研究に使おうとすると）使い勝手が悪いことも多い

- 分量が多くなりがち（処理がたいへん）
- 指示内容が不明確
- 話題にまとまりがない

23

自然な会話・モノローグを収集する際の方法

- トピックを用意してそれについて話してもらう
  - 楽しかった話
  - 悲しかった話
  - １日の日課
  - イベント（結婚式、お祭り、お正月）などの話
  - 「手順」の説明：料理、手工芸品の制作、農作業のプロセス

24

材料（stimulus)を用いる方法

- 調査票による聞き取りと、自発的発話を用いる手法の中間
- 調査の目的に応じた材料を用いることにより特定の事柄の検証に必要なデータを効率的に取ることができる。
  - 映像やイラストを使ってその内容を描写してもらうことにより発話を引き出す方法
  - ゲームをしてもらってその様子を記録する方法

参考ページ：Max Planck Institute for Evolutionary Anthropology, Department of Linguistics: Typological tools for field linguistics

- https://www.eva.mpg.de/lingua/tools-at-lingboard/stimulus_kits.php

25

SCOPIC (オーストラリアのCoEDLプロジェクト)

- San Roque et al. (2012)
- 16枚のイラストからなるstimulus

FIGURE 1. Walk together (Picture 6)

FIGURE 2. Court room (Picture 5)

27

目的に沿った映像刺激を自分で作ることも可能

- Shiohara (2015)

マレー語の特定の変種では、eventive＝一人の動作者による連続した動作が動作の対象を主語とする文型（いわゆる受動態）によって表されることが多い。このことを実証するために、短いビデオを用いて実験を行った。

28

まとめ(1)

- 実証的な言語記述のためには自然発話のデータが欠かせない
- そのためには言語ドキュメンテーション＝ある言語・方言の包括的なデータの集合体を収集し、分析する作業が欠かせない
- 言語ドキュメンテーションのためには言語記述が必要であり、その逆もまた真である。（両方が大切）
- ドキュメンテーションによって得られたデータはそれ自体大きな価値をもつ。適切なアノテーションの付与によりその価値はより大きくなる。

30

まとめ (2)

- 調査でデータを集める際、完全に「自然な発話」を記録するのは難しいが、可能なかぎり自然なセッティングを得るため、工夫することはできる。
- 目的に応じて適切な方法をとることにより、目的に沿ったデータを収集することができる。

31

- Himmelmann, Nikolaus P. 2006a. “Language documentation: What is it and what is it good for?”. In Jost Gippert, Nikolaus P. Himmelmann and Ulrike Mosel (eds.) Essentials of Language Documentation. Berlin: Mouton de Gruyter. pp.1–30.
- Himmelmann, Nikolaus P. Jost Gippert and Ulrike Mosel. 2006b. Essentials of Language Documentation. Berlin: Mouton de Gruyter.
- San Roque, Lila, Alan Rumsey, Lauren Gawne, Stef Spronck, Darja Hoenigman, Alice Carroll, Julia Coleeng Miller, Nicholas Evans. 2012. Getting the Story Straight: Language Fieldwork Using a Narrative Problem-Solving Task. Language Documentation and Conservation. Vol.6, pp.135-174.
- Shiohara, Asako. 2015. Voice in eventive coordinate clauses in Standard Indonesian. NUSA: Linguistic studies of languages in and around Indonesia (59). pp. 47-67.
- Wallace Chafe, ed. 1980. The Pear Stories: Cognitive, Cultural and Linguistic Aspects of Narrative Production. Norwood, NJ: Ablex.

32

より良い録音のために

青井　隼人
（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所／国立国語研究所）

記述を目的とする場合であれ、記録・保存を目的とする場合であれ、言語調査では調査内容を録音することが必ず求められる。この講義では、実際に言語調査に参加する前に身に付けておくべき録音の知識と技法に焦点を当てた。

言語調査の録音には、(1) 個人の研究者が自身の研究のために利用するという目的に加えて、(2) 他の研究者や地元コミュニティと共有すべき知的財産を残すという目的がある。特に後者の目的に叶うためには、より質の良い録音を目指さなければならない。質の良い録音とは、すなわち①録音対象とする音声の音量が充分であり、②雑音が少ないという 2 つの条件をクリアしているものである。

録音のために使用する機材には大きく分けて 3 つある。すなわち録音機、マイク、ヘッドホンである。本講義では、それぞれの基本的な役割や選ぶべきスペック、使用する際に注意すべきポイントについて講義した。また実際の調査でも使用する機材を使って実際に操作してもらいながら、録音に慣れてもらった。

本講義では、チームで調査することの利点についても触れた。個人で調査をする場合と比較し、チームで調査をすることの利点は役割を分担できる点にある。たとえば録音の場面では、話者に質問をする役、話者の発音を書き取る役、録音のモニタリングをする役、などを分担することができる。役割を分担することによって、調査者一人ひとりの負担を軽減することができる。

2017.8.26 木曽川方言調査・事前研修

よりよい録音を録るために

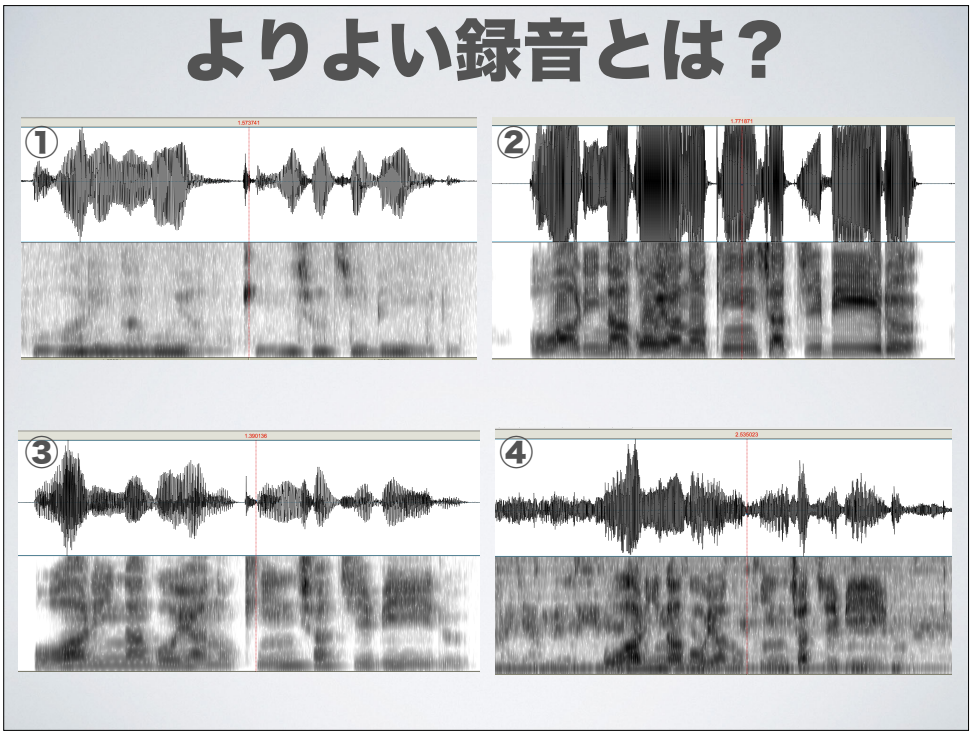
青井隼人
（東京外国語大学AA研 / 国立国語研究所）
haoi@aa.tufs.ac.jp; haoi@ninjal.ac.jp

1

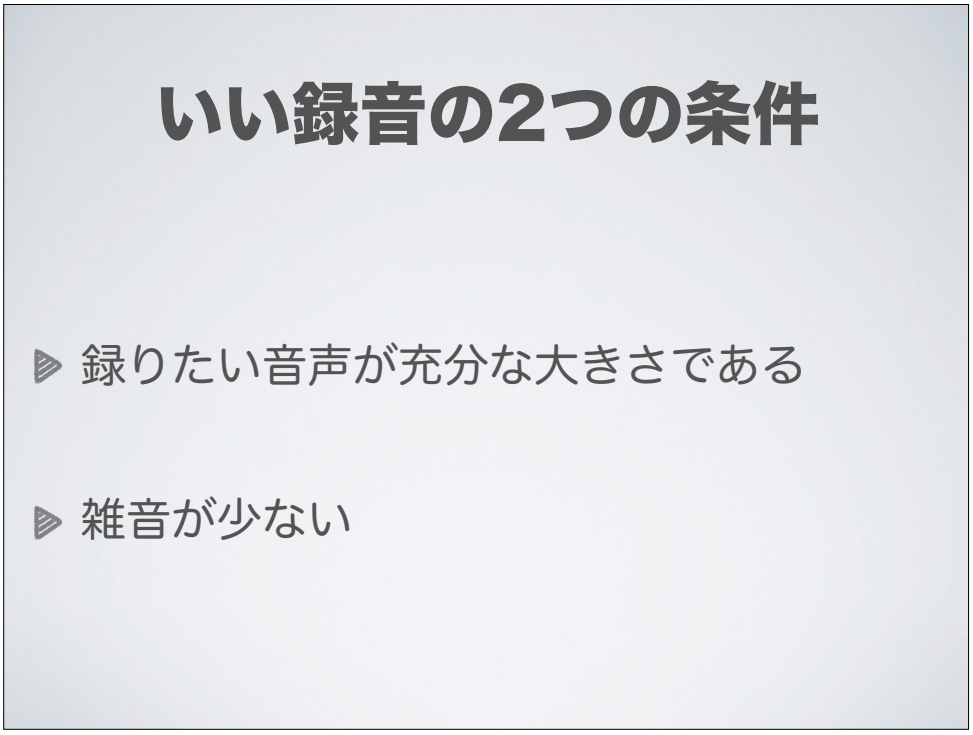
そもそもなぜ録音するのか？

- ふだん録音することはありますか？
- 言語調査で録音するのは何のため？

2



3



4

録音に使う道具

5

録音機器

録音機　ヘッドセットマイク　ヘッドホン

6

録音機

- **形式**　ステレオ or モノラル
- **メモリ**　内臓メモリ or SDカード
- **フォーマット** 非圧縮 (WAV) or 圧縮 (mp3)
- **サンプル周波数** と **ビットレート**
  44.1 kHz　　16 bit

7

クイズ

- 人間の可聴域はどこからどこまで？

① 20 Hz ～ 10,000 Hz

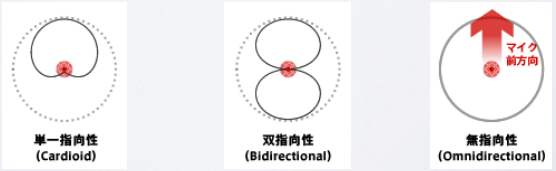
② 20 Hz ～ 20,000 Hz

③ 20 Hz ～ 40,000 Hz

8

マイク

- **種類**　ダイナミック or コンデンサー
- **指向性**　単一指向 or 双指向 or 無指向



https://www.ediusworld.com/jp/pimopic/cat5_145.html

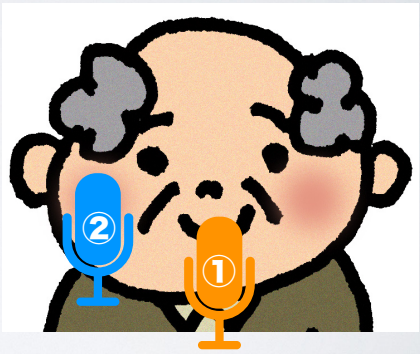
9

クイズ

- マイクの適切な位置はどっち？

① 話者の口の前

✓ ② 話者の口の横



10

ヘッドホン

- なぜ聴きながら録音をするのか？

11

チームで録音する

12

青森県むつ市フィールドワーク　事前研修

2018 年度青森県むつ市フィールドワークの事前研修は、弘前大学と国立国語研究所とでそれぞれ開催された。弘前大学での研修は、弘前大学人文社会科学部との連携授業の一環としておこなわれた。

弘前大学における事前研修

弘前大学人文社会科学部文化創生課程文化資源学コースで開講された授業の中で、2 週にわたって実施された。この授業は「文化の魅力を発見し、発信することが出来る人材や地域の文化振興に貢献する人材を育成する」ことを目的として開講された。

概要

開催日時　2018 年 5 月 28 日（月）・6 月 4 日（月）
開催場所　弘前大学
世 話 役　川瀬卓（弘前大学）
参 加 者　11 名（うち合同調査参加者 4 名）

プログラム

5 月 28 日（月）

1 限目（8:40〜10:10）

1. 品川 大輔（東京外国語大学 AA 研）「言語調査の実際と方法論 (I)：少数言語調査の意義」

2 限目（10:20〜11:50）

2. 青井 隼人（東京外国語大学 AA 研／国立国語研究所）「言語（音声）学的調査の方法論」

6 月 4 日（月）

1 限目（8:40〜10:10）

3. 木部 暢子（国立国語研究所）「危機方言の記録と地域再生：言語学に何ができるか」

2 限目（10:20〜11:50）

4. 木部 暢子（国立国語研究所）「東北方言の音韻・音声の特徴とその書き起こし方法について」

国立国語研究所における事前研修

これからフィールドワークを行う学部学生を対象とした弘前大学における事前研修に引き続き、公募により参加する全国の大学院生を対象とした事前研修が国立国語研究所において開講された。

概要

開催日時　2018 年 8 月 22 日（水）

開催場所　国立国語研究所

参 加 者　6 名（うち公募の大学院生 5 名）

プログラム

1 限目（9:30～11:00）

1. 青井 隼人（東京外国語大学 AA 研／国立国語研究所）「言語（音声）学的調査の方法論」

2 限目（11:15～12:15）

2. 木部 暢子（国立国語研究所）「調査の概要」
3. 木部 暢子（国立国語研究所）「下北の方言について」

3 限目（13:30～15:00）

4. 木部 暢子（国立国語研究所）「東北方言の音韻・音声の特徴とその書き起こし方法について」

※2 限目「2. 調査の概要」については、巻末の付録を参照。

言語調査の実際と方法論（I）：少数言語調査の意義

品川　大輔
（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）

本講義は、言語調査の実際と方法論を扱う連続講義の前半部分として、アフリカにおける言語調査の実際を紹介するとともに、その前提として、そもそも言語調査とはどういうもので、何を目的として行われるのか、そしてその対象としての少数言語（minor languages）とはどういう言語／方言であるのかについて論じた。

言語調査、あるいはフィールド言語学（field linguistics）とは、これまで十分な研究資料が得られていない言語を対象として、その言語の広義の文法（grammar）を明らかにすることを目的とした研究調査活動を指す。なぜそのような研究活動が必要なのかという問いには、2 つの観点から答えることができる。ひとつは、ディシプリンとしての言語学（linguistics）からの観点、もうひとつはより広い文脈における生態学（ecology）的な観点である。言語学という学問分野は、究極的には人間という生物種のみが用いる言語（language）の個別的な多様性（diversity）と、その理解を土台とした普遍性（universality）の解明を目的とする。この究極的な目標のためには、現在地球上で話されている、可能な限り多くの言語の資料が必要となるが、とくに話者数の少ない少数言語には、いまだ十分な調査がなされていない言語が少なくない。さらにそういった言語は、次の世代への継承が困難な状況に置かれていることも多い。少数言語を対象とした言語調査の必要性、また緊急性の高さは、この観点から説明される。もう一方では、そういった少数言語の、とくに語彙的な体系のなかに、その言語を話す人々の、周囲の環境との「折り合いの付け方」に関する知恵が集約されているという観点である（cf. Skutnabb-Kangus 2002, ディクソン 2001）。その意味で、言語の消滅は、単にコミュニケーション・コードが一つ消えるという以上の、人類の文化全体にとっての損失という側

面が浮かび上がるとともに、そのような言語の記述・記録を行うことの意義が理解される。

このような理解を前提に、言語学者は世界の各地で、主として話し手の数が少ない、また次世代への継承が危ぶまれている言語の調査を行っている。実際の言語調査では、調査許可書の取得から始まり、調査協力者との関係づくりといった調査の「地ならし」のために行うべきことも少なくない。調査が始まって以降は、調査対象言語に特徴的な言語特徴を分析するために必要な準備があり、分析のために必要な知識がある。講義の後半では、実際の具体的な言語現象を示しつつ、アフリカ・キリマンジャロにおける言語調査の実態を紹介した。

最後に、日本における言語／方言調査を遂行するにあたって留意すべき点を提示した。それは、歴史的経緯としての標準語普及のプロセスに関する問題である。これはしばしば「方言撲滅」という形をとって行われてきたという歴史的事実があり、それが人々の中に、あるいは社会の中での「方言」に付与されてきた価値として根強く影響を与えていることがある。上述のように、少数言語／方言調査には、学術的な意義がある。しかし、だからと言って、このような歴史的な背景を顧みることなく「調査」を行うことは、無意識的であれ一方向的な知識の略奪になりかねない。このような理解を持つことは、協力者との共同作業としての言語調査を行ううえで、決して欠くことのできない前提条件である。

言語調査の実際と方法論 (I)

: 少数言語調査の意義

担当：品川大輔
ds@aa.tufs.ac.jp
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
20180528_弘前大学人文社会学部「地域文化復興実習」

1

Outline

1. 少数言語とは
   1.1 世界で話される言語の数と少数言語の定義
   1.2 少数言語の将来に関する予測
   1.3 少数言語に関する世界の認識

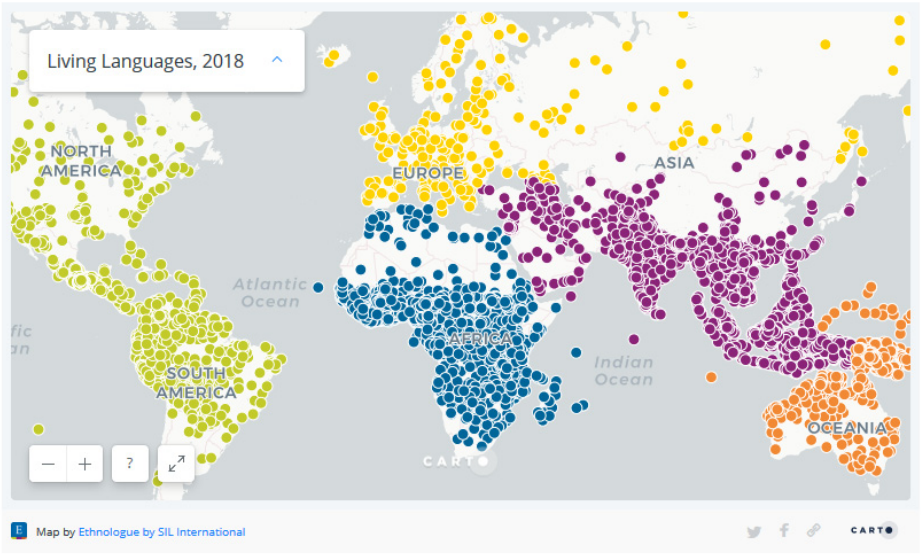
2. なぜ調査するのか：言語的多様性の価値
   2.1 言語的多様性はなぜ必要か? –生態学的観点
   2.2 言語的多様性はなぜ必要か? –言語学的観点

3. 言語調査の実際：キリマンジャロ調査から

4. 日本の言語の多様性

2

1-1. 世界で話される言語の数と少数言語の定義



source: Simons et al. (2018) *Ethnologue* #21

3

Area	Living languages		Number of speakers			
	Count	Percent	Total	Percent	Mean	Median
Africa	2,143	30.2	980,437,811	14.5	457,507	30,000
Americas	1,060	14.9	49,208,280	0.7	46,423	1,080
Asia	2,300	32.4	4,015,367,857	59.2	1,745,812	12,000
Europe	288	4.1	1,725,890,007	25.5	5,992,674	37,500
Pacific	1,306	18.4	6,884,098	0.1	5,271	980
Totals	7,097	100.0	6,777,788,053	100.0	955,022	7,000

source: Simons et al. (2018) *Ethnologue* #21

4

1-1. 世界で話される言語の数と少数言語の定義

話者サイズごとの言語数統計

話者サイズ	言語数			話者数		
	計	%	累計	合計	%	累計
100,000,000 to 999,999,999	8	0.1	0.1%	2,736,892,880	40.38033	40.38033%
10,000,000 to 99,999,999	85	1.2	1.3%	2,699,413,660	39.82735	80.20768%
1,000,000 to 9,999,999	308	4.3	5.7%	962,414,866	14.19954	94.40722%
100,000 to 999,999	969	13.7	19.3%	309,471,921	4.56597	98.97319%
10,000 to 99,999	1,803	25.4	44.7%	61,598,950	0.90884	99.88203%
1,000 to 9,999	1,969	27.7	72.5%	7,516,041	0.11089	99.99292%
100 to 999	1,047	14.8	87.2%	466,977	0.00689	99.99981%
10 to 99	316	4.5	91.7%	12,150	0.00018	99.99999%
1 to 9	151	2.1	93.8%	608	0.00001	100.00000%
0	248	3.5	97.3%	0	0.00000	100.00000%
Unknown	193	2.7	100.0%			
Totals	7,097	100.0		6,777,788,053	100.00000	

source: Simons et al. (2018) *Ethnologue* #21

5

1-1. 世界で話される言語の数と少数言語の定義

【言語的少数者 linguistic minority】

国家（やそれに準じる政治的組織体）において，その国家における多数者の母語とは異なる言語を母語とする社会的集団．言語によっては，ある国家では大言語（major language）であるのに，別の国家においては少数言語（minority language）になってしまうものがある（例えばドイツ語は，ドイツやオーストリアでは大言語だが，フランスやルーマニアでは少数言語）．一方，どの国家においても少数言語であるという言語もある（サーミ語は，それが話されるノルウェー，スウェーデン，フィンランド等のいずれの国家でも少数言語である）．

A social group within a nation-state or other organisational unit whose native language is different from the language which is spoken natively by the largest number of people in that state or unit. Some languages can be both majority languages (like German in Germany and Austria) and minority languages (like German in France and Romania). Other languages may be minority languages everywhere they are spoken, such as Sami (Lappish) in Norway, Sweden, Finland and the Soviet Union.

《出典：Trudgill, P. (2003) *A Glossary of Sociolinguistics*》

▶ 少数言語とは，i) 直接的には話者数の少ない言語を指すが，EUの「民族語および少数言語のための欧州憲章」（1992）の定義では，ii) ある国内において，伝統的に限られた領域で，少数民族集団によって話されている言語（かつ公的な地位を有さない言語）を指すとしている．

▶ 世界の言語／方言の多くは，少なくとも i) の意味での少数言語である．

▶ そのような少数言語には，現在，消滅の危機を迎えているものも少なくない．

6

1-2. 少数言語の将来に関する予測

圧倒的多数の少数言語（＝話者数の少ない言語，minor languages）の将来

For classification as "safe," I can envision only two factors definitive for our purposes. One is sheer number of speakers, a number large enough that even under the worst political or economic conditions, e.g. genocides that governments can get away with for

言語が将来にわたって安定的に生き残る（"safe"）ための要因-1
話者数

yoke. In other words, the lower threshold of safety in numbers, on the average, is probably much closer to one million speakers than to fifty thousand. The number of languages with a million or more speakers has generally been listed as 200-some, but the current total could be 330 (B. Grimes), increased of course not so much by sudden spectacular growth of languages with under a million speakers as by subdivision of very large languages. Perhaps it is fair to say that 300 out of 6000 languages, i.e. most importantly 5%, are "safe" by sheer number of speakers. Ten years ago I calculated that

話者数の点で"safe"であるといえる水準＝100万人
その水準を満たしている言語は，現状で約300＝全体の5%

Source: Krauss, M. (2001) Mass Language Extinction and Documentation: The Race against Time

7

1-2. 少数言語の将来に関する予測

The other most important type of factor contributing to language maintenance is socioeconomic and/or attitudinal, a factor surely much more abstract and difficult to define, though probably no less important than sheer number of speakers in itself. For

言語が将来にわたって安定的に生き残る（"safe"）ための要因-2
社会経済的要因，また言語態度（cf. 言語威信 prestige）

favorable enough to support or at least tolerate maintenance of that language. The only languages qualifying as realistically "safe" under those conditions, I believe, would be those that enjoy recognition and support as national languages of nation-states or at least as regional languages thereof. This adds only a very small number of languages to even those with 100,000 or more speakers, let alone 1,000,000. There are currently about 200

具体的には国家における国語（national language）の地位にある，
あるいは地域共通語の地位にあること
→ただし，この基準で新たに加えられるべき言語は決して多くはない

century. Unless shown otherwise on a significant scale, for the moment I still estimate that the number of "safe" languages, those which will still be spoken by (some number of) children at the end of this new century, is somewhere between 300 and 600, or 5 to 10% of today's 6000.

→ 現状で"safe"と推定しうる言語は，300~600言語 ＝ 5~10%に過ぎない

Source: Krauss, M. (2001) Mass Language Extinction and Documentation: The Race against Time

8

1-3. 少数言語に関する世界の認識

1.2. What is happening to the world's linguistic diversity?

Languages are today disappearing faster than ever before in human history. A language is threatened if it has few users and a weak political status, and, especially, if children are no longer learning it, i.e. when the language is no longer transmitted to the next generation. There are detailed definitions of the degree of threat or endangerment. Even the most 'optimistic realistic' linguists now estimate that half of today's spoken languages may have disappeared or at least not be learned by children in a 100 years time, whereas the 'pessimistic but realistic' researchers (e.g. Krauss 1992) estimate that we may only have some 10% of today's oral languages (or even 5%, some 300 languages) left as vital, non-threatened languages in the year 2100.

►言語は，人類史上かつてなかったほどのスピードで失われてきている．
► i) 話者数が少ない，ii) 政治的（経済的）地位が低い，iii) 子どもたちによってもはや話されない（次代への継承がなされない）といった条件によって，言語の存続は危機的な状況になる．
► 2100年の段階で十分に活力ある言語として持続できるのは，「現実的かつ楽観的」な見方でも現在の半分程度の言語，「現実的かつ悲観的」な見方では10%（あるいは5%，300言語程度）の言語のみであると推測されている．

Source: Skutnabb-Kangas , T. (2002)
"Why should linguistic diversity be maintained and supported in Europe, some arguments", Council of Europe

9

1-3. 少数言語に関する世界の認識

Source: http://www.unesco.org/new/en/culture/themes/endangered-languages/#

10

2-1. 言語的多様性はなぜ必要か? -生態学編 (Skutnabb-Kangas 2002)

Linguistic and cultural diversity on the one hand and biodiversity on the other hand are correlated - where one type is high, the other one is usually too, and vice versa, even if there are exceptions. Comparing the top 25 countries in terms of the number of endemic languages and the number of endemic vertebrates, conservationist David Harmon (1995) finds a high degree of overlap: 16 of the 25 top countries are on both lists. He has the same result when comparing languages and flowering plants, languages and butterflies, etc - there is a high correlation between various kinds of indicators of biological mega-diversity and rich linguistic diversity (Harmon, in press).

New research suggests mounting evidence for the hypothesis that the relationship might also be causal: the two types of diversities seem to mutually enforce and support each other (Maffi, 2001; Posey, 1999). It is not only the biological species and languages that disappear. With death of languages, also the "traditional ecological knowledge about relationships between plants and animals is being lost" (Nabhan 2001: 151). Indigenous and minority communities are "reservoirs of considerable knowledge about rare, threatened, and endemic species that has not to date been independently accumulated by Western-trained conservation biologists", says Nabhan (2001: 151), summarizing a wealth of studies. This knowledge which is encoded in the many indigenous and minority languages, can be used both to "promote sustainable use of land and natural resources" (Nations 2001: 470) and to "help guide the identification, management, protection, or recovery of habitats" (Nabhan 2001: 151) for threatened species. These "conservation traditions, expressed in native languages, are what Hazel Henderson called 'the cultural DNA' that can help us create sustainable economies in healthy ecosystems on this, the only planet we have" (Gell-Mann, quoted in Nations 2001: 470). If the long-lasting co-evolution which people have had with their environments since time immemorial is abruptly disrupted (as we are doing today), without nature (and people) having enough time to adjust and adapt, we are also seriously undermining our chances of life on earth (see Terralingua's web-site http://www.terralingua.org). Evolution has been aided by diversity. The strongest and most stable ecosystems are those which are the most diverse. Diversity contains the potential for adaptation whereas uniformity can endanger a species (including the human species) by providing inflexibility and unadaptability. (Baker, 2001: 281). Baker argues that "Our success on this planet has been due to an ability to adapt to different kinds of environment over thousands of years (atmospheric [e.g. the Ice Age] as well as cultural. Such ability is born out of diversity. Thus language and cultural diversity maximises chances of human success and adaptability" (ibid.). "Just as in biology, diversity is the norm. So it is with language: multilingualism is the norm" (St. Clair 2001: 102).

► 言語・文化的多様性と生物的多様性は相関関係にある（生態系の豊かな地域と，言語的多様性の豊かな地域には有意な相関がある）.
► これは偶発的な現象ではない.
言語の消滅は，「人間と自然環境に関する生態学的な伝統知識」の喪失を意味し，このことと生物的多様性の維持は無関係ではない.

► 少数言語に集約された「環境保存の伝統＝文化的DNA (cultural DNA)」→ 地球上に生きる我々が持続可能な経済活動を可能せしめる.
► 進化は多様性によって齎されたし，最も安定的な生態系とは，最も多様性ある環境である.
► 我々が地球上で生き延びる鍵は，（それまでとは）異なる環境にいかに適応できるかにかかっている.
→ その能力は，多様性の中で生きることではぐくまれる.

11

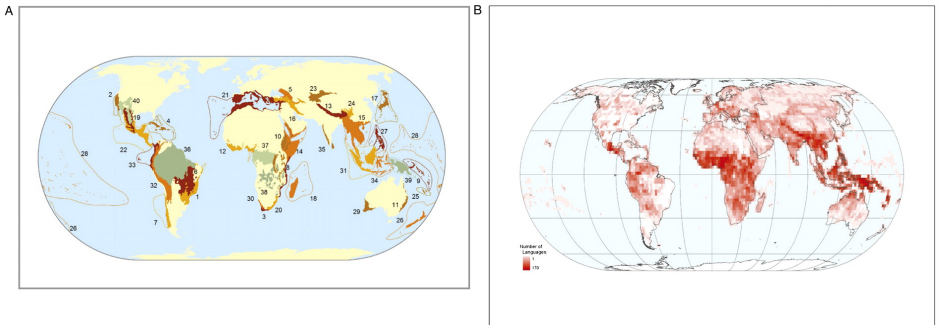
2-1. 言語的多様性はなぜ必要か? -生態学編

Table 2
Biodiversity in countries with highest linguistic diversity.

Countries	Endemic vertebrates	Flowering plants	Endemic bird areas	On mega-diversity list
Papua New Guinea	13th	18th	6th	
Indonesia	4th	7th	1st	Yes
Nigeria	No data			
India	7th	12th	11th	Yes
Australia	1st	11th	9th	Yes

Source: SUS.DIV, p. 12.

Source: Upadhyay and Hasnain (2017) Linguistic diversity and biodiversity, *Lingua* 195: 110-123



Source: Gorenflo et al. (2012) Co-occurrence of linguistic and biological diversity in biodiversity hotspots and high biodiversity wilderness areas, *PNAS* 109 (21) 8032-8037

12

2-2. 言語的多様性はなぜ必要か? -言語学編（ディクソン『言語の興亡』）

言語の多様性の危機

現在、世界中から、多様性が大変深刻な割合で失われつつある。現在もなおかろうじて生き残っている森林には、森林に住む人々に知られている薬効を持つ植物がある。多くの場合、これらの植物の性質や価値はまだ現代の医学では解明されていない。もし森林開発の結果このような植物が死滅してしまったり、そういう植物についての知識をもっている人々が国内の主流文化に吸収同化され、その結果伝統的な知識が失われてしまったりしたら、もはや復元は不可能だ。↑生態学編参照

言語は人間の一番貴重な財産だ。どの言語も、他の言語と異なる音韻的、形態的、統語的、意味的構造を持っている。あらゆる言語を通してみられる多様な可能性を研究することによってのみ、我々は、言語行動に関わる、人間の脳の働きの概略をつかむことができる。ほとんど知られていない言語の中で意味がどういう体系をなしているかを調査することにより、意味構造のなんらかの普遍的な特徴が明らかになったり、現代の問題の解決の糸口となるような何か新しい思考法が発展したりすることがある。

1 なんでわざわざ記録するか

とるに足らぬ言語はあるか?

今日世界で話されている五〇〇〇かそこらの言語の中の、少なくとも四分の三は（九〇%か、あるいはもっと、と言う人もいる）、ヨーロッパ人の植民でそもそも生じた平衡期の中断の結果として、二一〇〇年までに話されなくなるだろうとの予測がある。これらの言語が消滅する前に、記録に留めることは緊急の課題だ。

この訴えに対する典型的な、にべもない反応は、なんでわざわざそんなことをする? だ。こういう言語は、とるに足らぬ奴らのとるに足らぬ言語、つまり、世界の偉大な文明国が今のままグローバルな共同体へと邁進を続けていく中であっさりと消えていくような、変てこな部族や少数グループの話すものじゃないか。とかげや草の根を探して暑い砂漠の上を日がな歩いて暮らしているような狩猟採集民や、森の一区画の食料を食い尽くしては二、三年ごとに村を移る、焼き畑農業の連中の言葉のどこが興味をひくのか。我々はすでにフランス語、ドイツ語、スペイン語、英語やロシア語と、おまけにフィンランド語、トルコ語、ヘブライ語、アラビア語、ヒンディー語、日本語、中国語、それにスワヒリ語にまで至る豊かな資源から得た知識を持っている。いったいその上、これらの言語が我々に教えてくれるものがあるだろうか? これらの未開人の不毛な言語はそっと忘却のかなたに押しやっておこうではないか。まあそのうちの少しくらいはサンプルとして記録にとっておいてもよいが、それ以上の試みは時間と資源の無駄だ。

こういう形の反応にはいくつかの思い違いが見て取れる。第一は、物質的に限られた文化を持つ人々はそれに比例して貧弱な言語を持っているに違いない、という思い込み。事実はしばしば逆だ。小さい部族集団は普通、区分けされた人間関係や共同義務のような明瞭なシステムを伴った複雑な社会構造を持つ。対照的に、都市の住民の社会ネットワークは退化しており、単純といってよいようなものだ。この社会構造と関連して、複雑な、いくつかの数の区別をもった代名詞の体系がよく見られる（例えば「あなた」、「あなたたち二人」と「あなたたちみな」、それに時には「あなたたち三、四人」に対してそれぞれ異なる代名詞形がある。単数以外の一人称には包含／除外（私たち、と言う時、聞き手がそこに含まれるかどうか）の区別もよくある——これは例えば、「私たち二人」に対して、一方は「私とあなた」、もう一方は「私と（あなた以外の）誰か」を意味する二つの異なる代名詞形があるということだ。

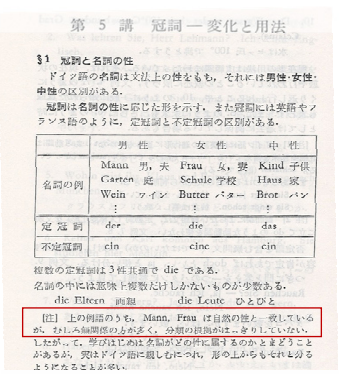
13

2-2. 言語的多様性はなぜ必要か? -言語学編

9. 定冠詞 le, la, les

le	[ル]	男性単数名詞の前につける
la	[ラ]	女性単数 〃
les	[レ]	男・女性複数 〃

男性名詞		女性名詞	
le père ル ペール	父	la mère ラ メール	母
le jardin ル ジャルダン	庭	la maison ラ メゾン	家
l'oiseau ロワゾ	鳥	la fleur ラ フルール	花
l'homme ロム	男・人	l'histoire ラストワール	歴史
les hommes レゾム	男たち	les femmes レ ファム	女たち
les arbres レザルブル	木	les étoiles レゼトワル	星



第 5 講 冠詞 — 変化と用法

§1 冠詞と名詞の性

ドイツ語の名詞は文法上の性なるも、それには男性・女性・中性の区別がある。

冠詞は名詞の性に応じた形を示す。また冠詞には英語やフランス語のように、定冠詞と不定冠詞の区別がある。

	男性	女性	中性
名詞の例	Mann 男, 夫	Frau 女, 妻	Kind 子供
	Garten 庭	Schule 学校	Haus 家
	Wein ワイン	Butter バター	Brot パン
	⋮	⋮	⋮
定冠詞	der	die	das
不定冠詞	ein	eine	ein

複数の定冠詞は3性共通で die である。

名詞の中には単数と複数だけしかないものが少数ある。

die Eltern 両親　　die Leute ひとびと

[注] 上の例語のうち、Mann, Frau は自然の性と一致しているが、もとより無関係のものが多く、分類の根拠がはっきりしていない。したがって、学びはじめは名詞がどの性に属するのかをよくたしかめることがあるが、実はドイツ語に親しむにつれ、形の上からもそれと分るようになることが多い。

► 文法類 [grammatical] gender ~ noun class
名詞に関する文法範疇 [語形変化の基準] のひとつ．印欧語では一般に名詞の「性」と呼ばれる．本来は名詞が表わす意味特徴によって分類されていたと考えられるが，それが「制度化」され，もはやカテゴリーの意味特徴が一貫しない言語も多い．
名詞の文法類を有する言語は，統語的に関係する冠詞や指示詞や形容詞なども，対応する形式に語形変化する（concord/ grammatical agreement）．

(1) Russian

a. *Žurnal ležal na stole.*
magazine lay.M on table
'The magazine lay on the table.'

b. *Kniga ležal-a na stole.*
book lay-F on table
'The book lay on the table.'

c. *Pis´mo ležal-o na stole.*
letter lay-N on table
'The letter lay on the table.'

Source：数江譲治『フランス語の入門』白水社，塩谷饒『ドイツ語文法入門』大学書林

14

2-2. 言語的多様性はなぜ必要か? -言語学編

Table 2. Russian nouns belonging to the semantic residue

masculine	feminine	neuter
žurnal 'magazine'	*gazeta* 'newspaper'	*pis´mo* 'letter'
stul 'chair'	*taburetka* 'stool'	*kreslo* 'armchair'
dom 'house'	*izba* 'hut'	*zdanie* 'building'

人称代名詞 （単数）	人称代名詞 （複数）
[I] mimi ni-[-ni-](私)	[I′] sisi tu-[-tu-](私たち)
[II] wewe u-[-ku-](あなた)	[II′] nyinyi m-[-ku-(e)ni](あなたがた)
[III] yeye a-(yu-)[-m-](彼(女))	[III′] wao wa-[-wa-](彼(女)ら)
名 詞 （単数）	名 詞 （複数）
[1] mtu wa-(yu-)[-m-](人)	[1′] watu wa-[-wa-]
[2] mti u-[-u-](木)	[2′] miti i-[-i-]
[3] kitu ki-[-ki-](物)	[3′] vitu vi-[-vi-]
[4] jiwe li-[-li-](石)	[4′] mawe ya-[-ya-]
[5] nyumba i-[-i-](家)	[5′] nyumba zi-[-zi-]
[6] uzi u-[-u-](糸)	[6′] nyuzi zi-[-zi-]
[7] kusoma ku-[-ku-](読むこと)	
[8p] mahali pa-[-pa-](場所)	
[8k] mahali ku-[-ku-](場所)	
[8m] mahali m- （場所）	

出典：守野庸夫，中島久『スワヒリ語基礎1500語』大学書林

性 gender	クラス noun class	名詞類別 noun classification
文法（義務的）的		語彙的
印欧語等	バンツー諸語等	日本語等
照応 concord/ 一致 agreement		類別詞 classifier

▶ 文法類と類別詞
名詞をカテゴライズするという点では類似の現象．
両者の相違は，義務的な文法的一致（grammatical agreement）の有無．

Since agreement is the defining characteristic, gender can be distinguished from other classification systems, such as **classifiers**. Classifiers are of various types, a common one being numeral classifiers analogous to *head* in the English expression *eighty head of cattle*. Distinguishing gender from classifiers is justified in Dixon (1982) and Corbett (1991: 136–137), and examples can be found in Aikhenvald (2000). It is possible, if unusual, for a language to have both gender and classifiers. One such language is Tariana (North Arawakan; Brazil; Aikhenvald 1994), which has a gender system and three sub-types of classifier. Coexistence of gender and classifiers is found in other languages of our sample: in Retuarã (Tucanoan; Columbia; Strom 1992: 10–11, 34–36, 45–47) and in Tidore (West Papuan; Halmahera, Indonesia; van Staden 2000: 77–81). Ngan'gityemerri (Daly; northern Australia) shows the development from generic classifiers into genders (Reid 1997).

15

2-2. 言語的多様性はなぜ必要か? -言語学編

Table 1. The semantics of gender in Bininj Gun-Wok

Masculine	Vegetable
☐ Male higher animates ☐ Overall default for animates ☐ Some lower animates ☐ Rain ☐ Compass points ☐ Some items used in painting ☐ Trade items, esp. Macassan and European ☐ Some types of honey	☐ Plants and their products, including life-form terms ☐ Sexual and excretory body parts ☐ Song, ceremony, and custom ☐ Fire (both bush and domestic) ☐ Food, vegetable and otherwise ☐ Some types of honey ☐ Boats, planes and cars ☐ [Drink, water, well] ☐ [Camp nexus] ☐ [Landscape features with water associations]
Feminine	**Neuter**
☐ Female higher animates ☐ Some lower animates ☐ Sun	☐ Most parts of animals and plants ☐ Some parts of the landscape ☐ Weather and sea ☐ Time measures ☐ Languages and speech ☐ Country, place-based social categories

▶ 文法類を有する言語には，分類 [カテゴリー] の数，分類の基準といった点で多様性が認められる．
cf. 言語の外界分節，サピア＝ウォーフの仮説

→ コーカサス（カフカス）諸語における名詞類別の例．分類の意味的基準にかなりの多様性があることが理解できるが，これら諸言語では，基本的に自然性の相違が反映されているようだ．

↑ Bininj Gun-Wok語（オーストラリア諸語）における各文法類の意味内容．「野菜」クラスにおける [] で示されている項目は，若年層の発話において「中性（neuter）」クラスから移行されてきたもの．文法類の意味的な境界が非常に明快である言語（e.g. ドラヴィダ諸語）がある一方，多くの言語では，意味分類の基準が曖昧になっている [cf. カテゴリー分類の原理を説明する local な知識を，我々が知らないだけかもしれない].

第六番目のツェス諸語では単複とも、男性、女性、動物・鳥・昆虫、不活動体の四つのクラスにわかれるのが多いが、フルバシン語では外来語が一つのクラスを作っている。傑作なのはラック語で、男性、女性の一部・怪獣、女性の大部分、その他の不活動体の四つのクラスがある。第七番目のレズギン諸語ではクラスのあり方は一層複雑で、この区別の全くない言語、人間とそれ以外しか区別しないもの、男・女・それ以外、男・女・動物・それ以外と千差万別だが、一番傑作なのはアルチン語で、複数では一つしかクラスがないのに、単数は次のように四つにわかれている。一、男性の人間と神話的存在、二、女性、三、あらゆる動物・穀類・豆類、四、動物の仔、小動物、金属で、その他は三または四に入れられる。

このように見て来ると、カフカス諸語のクラスと、有名なバントゥ諸語のクラスとは非常に似たところのあることに気がつく。スワヒリ語で十四、ウガンダのガンダ語では最大二三もあるというこれらのクラスのいくつかは活動体・不活動体の区別、人間・非人間の区別とも関連し、また、単数と複数で異った区分をされるところまで似ているのには何らかの理由があるのかもしれない。

出典：千野栄一『言語学の散歩』大修館書店

16

2-2. 言語的多様性はなぜ必要か? -言語学編（ディクソン『言語の興亡』）

人間言語の多様性

現在の言語学では、どんな言語も全体からみると、複雑さという点では同じようなものだと分かっている。どこが複雑かという点で、言語間の違いがあるのだ。単純な動詞構造だが複雑な名詞を持つものもあれば、その逆もある。我々は、あらゆる言語を個々に調べ、それらの特徴を共通の理論的枠組みに照らして比較することによってのみ、人間言語に現われるいろいろな可能性について理解することができる。例えば仮に、大きな流星が二、三百年前アフリカ南部に落ちて、住民がみな死んでしまったとしよう。彼らと共に吸着閉鎖音（舌打ち音）も失われてしまうだろうから、それが言語音になりうるなどと、のちの誰が想像できるだろう？ そして舌打ち音が語中で使えると分かっても、ブッシュマンのブン方言のように、一つの言語の中で五五もの舌打ち音が区別されうるなどと誰が信じたことだろうとスナイマン〈文献㊿〉。

言語学
＝人間言語を対象とした経験科学
↓
▶人間のみが話す言語というのは，
どういう普遍的な原理を持って
いるのか／どこまでが
言語として「ありえる」のか
↓
▶実際のデータにあたって記述，
分析するしかない＝一度失われた
ら遡って検証することはできない

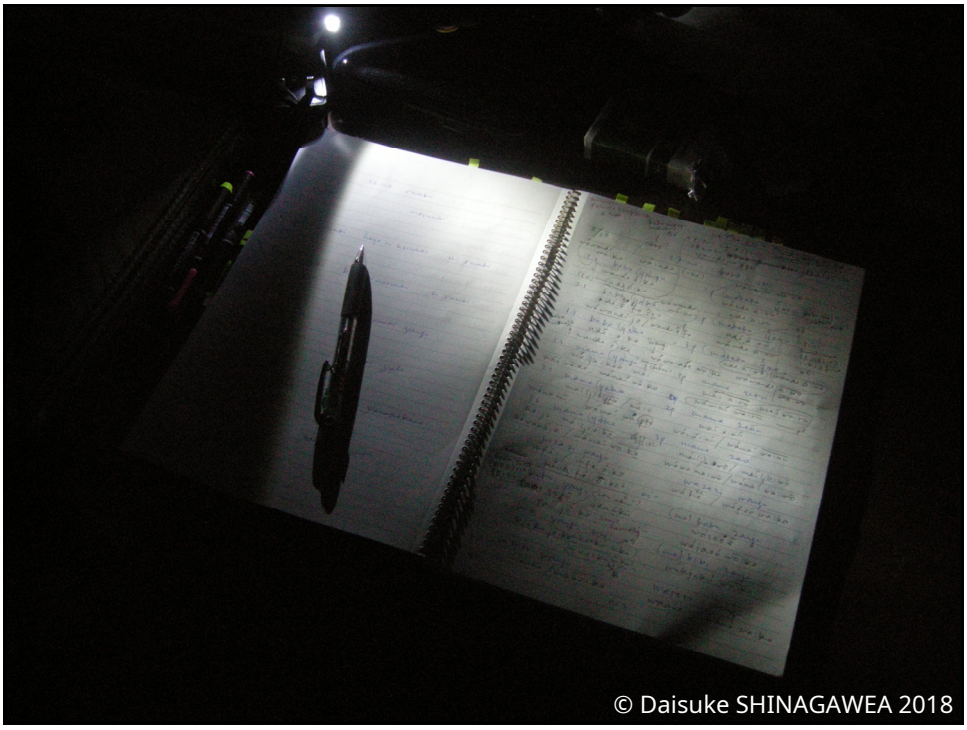
文法範疇の中にはすべての言語に見られるものもあるが、その現われ方はいろいろに異なる。例えば否定をとってみよう。ヨーロッパの言語では節の否定は、典型的には動詞の直前に来る（英語のnotのような）不変化詞で示される。これは実際世界の言語の間で一番よくある否定の表わし方だ。だがこれ以外の標示タイプもある。動詞につけられた接辞（接頭辞か接尾辞）で否定を示す言語も多い。北西カフカース語族のカバルダ語では、否定は述語の中では動詞につけられた接尾辞 *-ə'm* で、不定詞の中では動詞の接頭辞 *mə-* で示される〈クマコフとヴァムリング〈文献⑯〉〉。否定が、「［……だ］ということは当たらない」という意味の主動詞で表わされる言語もいくつかある。フィージー語ではその否定動詞は *sega* で、「私はあなたを見なかった」という文は、

e	*sega*	［*ni-u*	*mai-ci*	*i'o*］
それ	は当たらない	こと－私	見る－他動詞接辞	あなた（を）

17

18

19

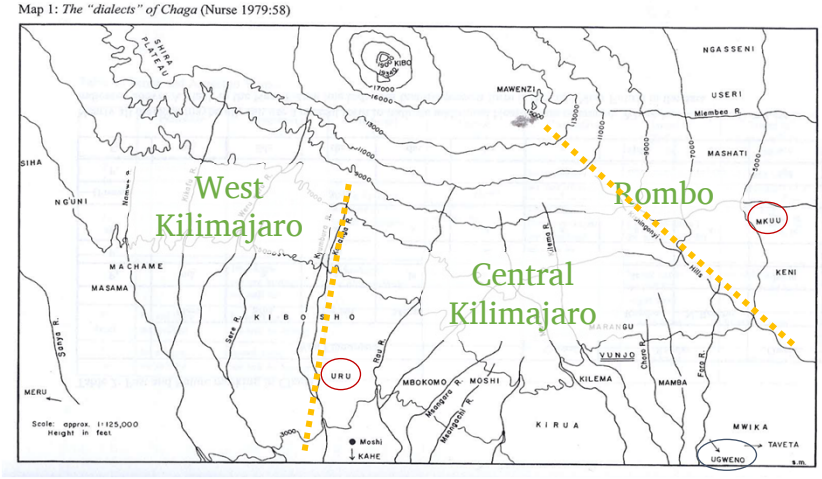


20

21

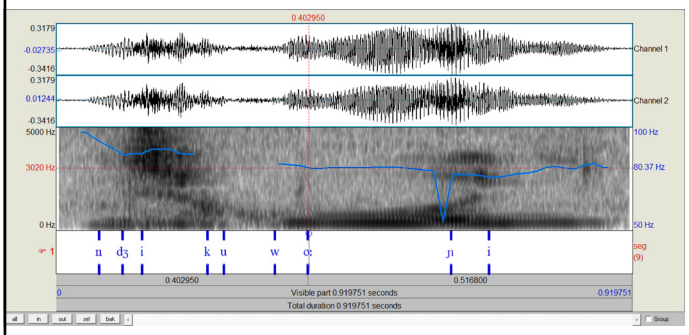
3. 言語調査の実際：キリマンジャロ調査から

Map 1: *The "dialects" of Chaga* (Nurse 1979:58)



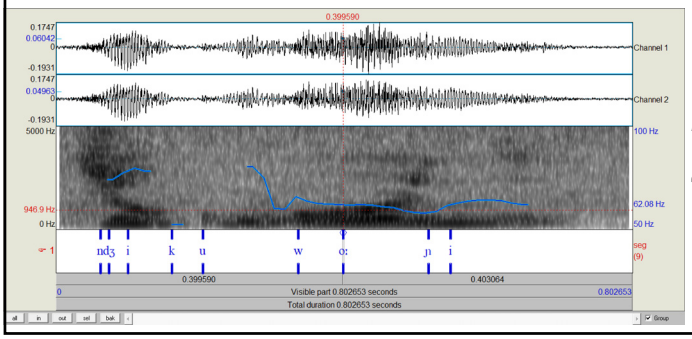
22

3. 言語調査の実際：キリマンジャロ調査から



- 文法概念を表す声調（tone）

ndʒĭ-ku≠ woːɲ-íˊ
1sgS-REF≠ see-STAT
“I see myself”



ndʒ̆ku≠ woːɲ-í
1sgS-2sgO-see-STAT
“I see you”

23

3. 言語調査の実際：キリマンジャロ調査から

- 鼻音後ふるえ音化

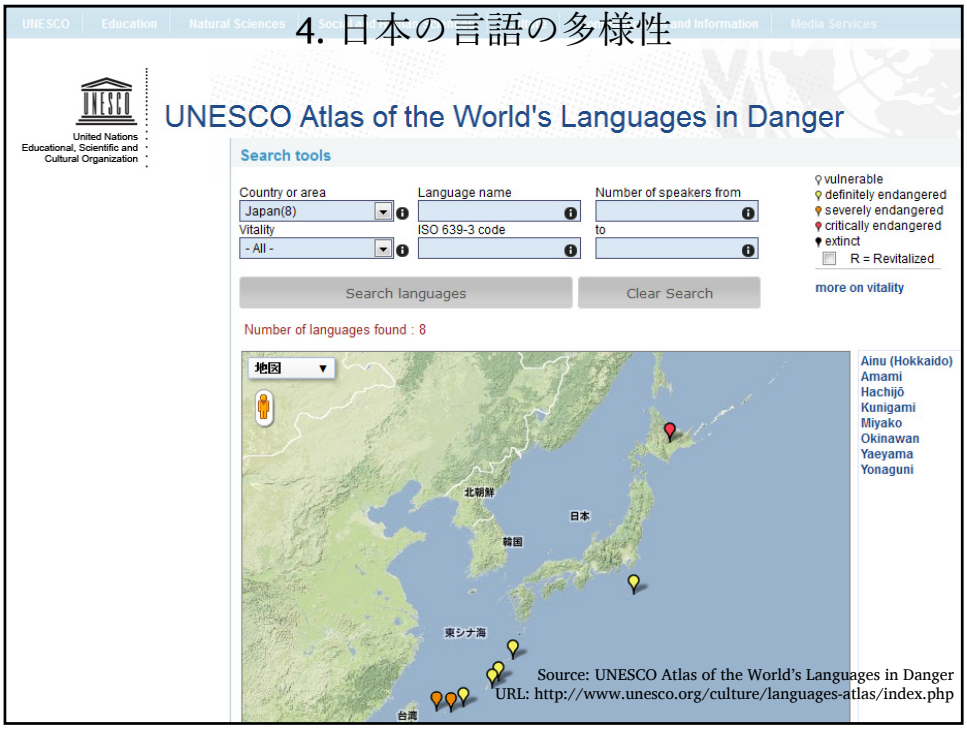
Akaisákwa vákolyá idíma aʃeléwa ákaíya sé hándu alá a kwánsá ákakolyá navó vĕandáá ivikía klaló meséni kilíwe. Akáambá “Siá ngiéńda hándu alá a kwańsa ilí ngindélolyá vámevikía klaló ilí ngile búṛú búṛú ngiúye wakatí ʃú macha yévemfumá saná na ʃaa ívemwira sana.”

Sw.) Akaona kuwa hali hii haikuwa njema kwake. Akasema moyoni nitarudi hadi ule mji wa pili huenda wakawa tayari wameshaanza kupakuwa. Alipofika alikuta maandalizi ya chakula yanaanza na akaona “ni bora arudi mji wa kwanza, ili aweze walao kula maana mate yalikuwa yakimtoka na njaa ilikuwa ikimuuma sana.”

Eng.) The hyena saw that preparation here wasn’t going well, so he decided to go back to the other place where usually food was ready to be served. When he arrived, he found preparation here also had just been started, so he thought “it’s better for me to get back again to the first place in order to eat food as soon as possible because saliva has already been coming out from my mouth and I’m so hungry”.

24

4. 日本の言語の多様性

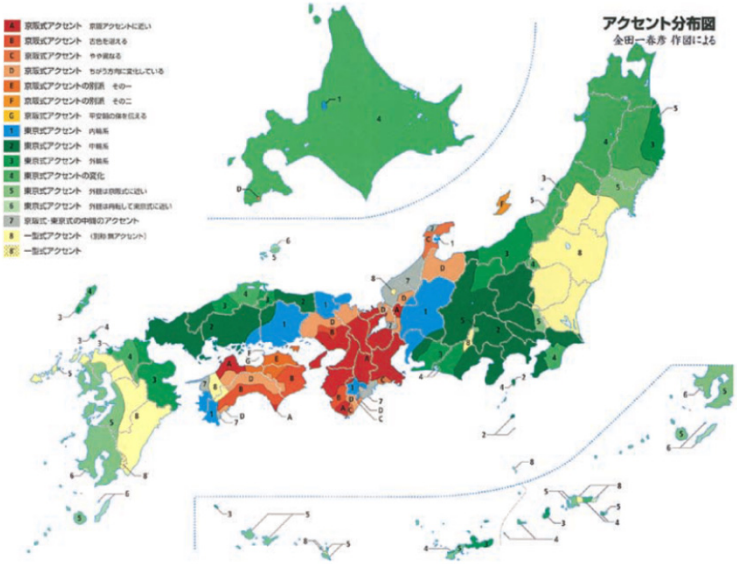


Source: UNESCO Atlas of the World's Languages in Danger
URL: http://www.unesco.org/culture/languages-atlas/index.php

25

4. 日本の言語の多様性

（1） 金田一のアクセント分布（金田一監修2001）



木部（2010）「方言アクセントの誕生」『国語研プロジェクトレビュー』No.2: 23-35

26

4. 日本の言語の多様性

- トーンをもつ
  - 核をもつ……①京阪式アクセント
  - 核をもたない……②語声調（トーン）
- トーンをもたない
  - 核をもつ……③東京式アクセント
  - 核をもたない……④無アクセント

(7)　鹿児島方言のアクセントの具体例

	〈1音節名詞〉	〈2音節名詞〉	〈3音節名詞〉	〈4音節名詞〉
A型	ハ（葉）	ハナ（鼻）	サクラ（桜）	アカトンボ（赤とんぼ）
B型	ハ（歯）	ハナ（花）	ココロ（心）	イナビカィ（稲光）

(8)　助詞接続形のアクセント

A型	ハナ（鼻）	ハナガ（鼻が）	ハナカラ（鼻から）	ハナカラガ（鼻からが）
B型	ハナ（花）	ハナガ（花が）	ハナカラ（花から）	ハナカラガ（花からが）

木部（2010）「方言アクセントの誕生」『国語研プロジェクトレビュー』No.2: 23-35

27

4. 日本の言語の多様性

(5)　東京方言のアクセントの具体例

〈1拍名詞〉	〈2拍名詞〉	〈3拍名詞〉	〈4拍名詞〉
ハ（葉）	ハナ（鼻）	サクラ（桜）	トモダチ（友達）
ハ'（歯）	ハナ'（花）	オトコ'（男）	イモート'（妹）
	アメ（雨）	ココロ（心）	ミズウミ（湖）
		カブト（兜）	イロガミ（色紙）
			カマキリ（蟷螂）

※　上線は高く発音することを，'は次の語が低く続くことをあらわす。

木部（2010）「方言アクセントの誕生」『国語研プロジェクトレビュー』No.2: 23-35

28

4. 日本の言語の多様性

(10)　京都方言のアクセントの具体例

〈1拍名詞〉	〈2拍名詞〉	〈3拍名詞〉	〈4拍名詞〉
ハー（葉）	ハナ（鼻）	サクラ（桜）	トモダチ（友達）
ヒー（日）	(○○)	(○○○)	(○○○○)
	ハナ（花）	フタリ（二人）	カミナリ（雷）
		オトコ（男）	ミズウミ（湖）
			ネーサン（姉さん）
ハー（歯）	ソラ（空）	ウサギ（兎）	ニンジン（人参）
	アメ（雨）	マッチ	(○○○○)
		カブト（兜）	イロガミ（色紙）
			ムラサキ（紫）

木部（2010）「方言アクセントの誕生」『国語研プロジェクトレビュー』No.2: 23-35

29

4. 日本の言語の多様性

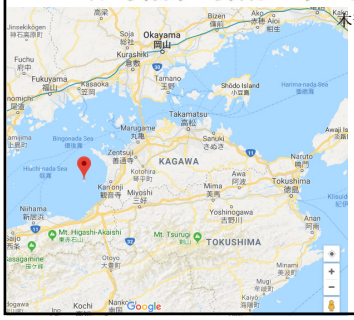
(13)　金田一による京都式アクセント，東京式アクセントの形成過程

	〈名義抄式〉	〈補忘記式〉	〈京都式〉	〈x式〉	〈東京式〉
1類（庭・鳥）	●●ガ	●●ガ	●●ガ	●●ガ	○●ガ
2類（石・川）	●○ガ	●○ガ	●○ガ	○●ガ	○●ガ
3類（山・犬）	○○ガ				
4類（松・笠）	○●ガ	○●ガ	○○ガ	●○ガ	●○ガ
5類（春・雨）	○●ガ	○●ガ	○●ガ	○○ガ	

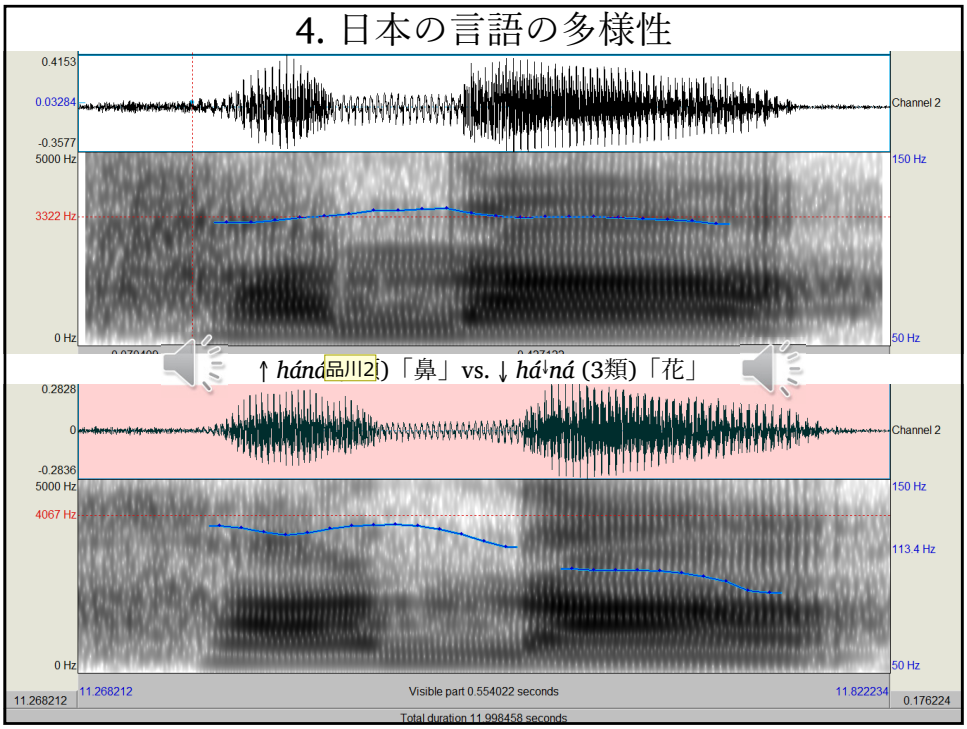
※　●，ガは高く発音することを，○，ガは低く発音することを，◟は拍内下降をあらわす。

※　名義抄（みょうぎしょう）は平安末の漢和辞書，補忘記（ぶもうき）は貞享4年（1687）刊の真言宗の資料。いずれもアクセント記号が付されている。

木部（2010）「方言アクセントの誕生」『国語研プロジェクトレビュー』No.2: 23-35



30

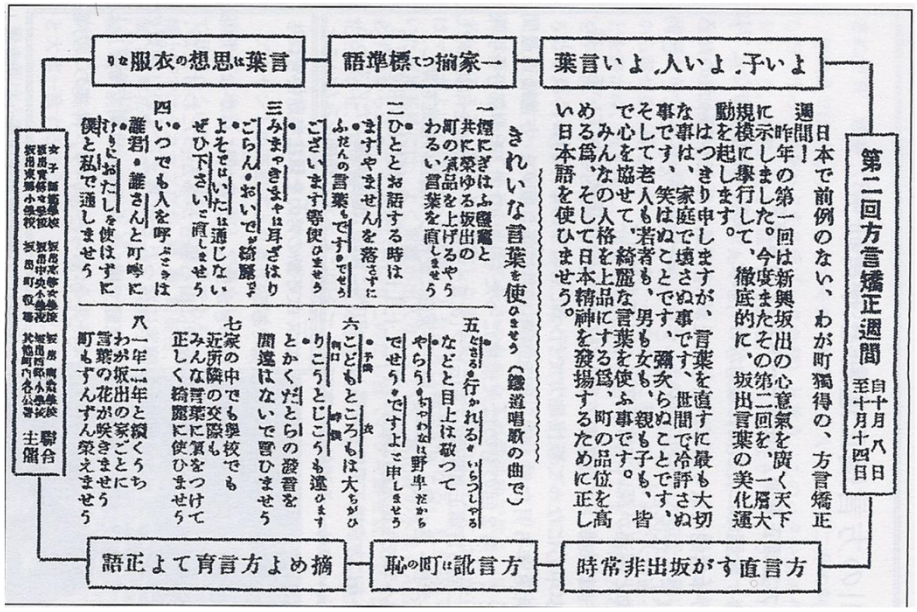

4. 日本の言語の多様性
0.4153
0.03284
-0.3577
Channel 2
5000 Hz
3322 Hz
0 Hz
150 Hz
50 Hz
↑ hánáʲ品川2ʲ)「鼻」vs. ↓ háˈnáˈ (3類)「花」
0.2828
0
-0.2836
Channel 2
5000 Hz
4067 Hz
150 Hz
113.4 Hz
0 Hz
50 Hz
11.268212
11.268212
Visible part 0.554022 seconds
11.822234
0.176224
Total duration 11.998458 seconds

31

4. 日本の言語の多様性
記
伊火島のことばのアクセントは、昭和四十年、
学生だった林尾伊子さん、和田實先生により
国語学界に報告され、昭和五十六年、全国一
春彦先生も来島され、全国でただ一ヶ所平安、
鎌倉の京都のアクセントを残している島とし
て紹介されました。いつまでも、緑豊かな、
心豊かな島であってほしいという願いを込め
歌碑を建立する。
平成十六年 秋
伊火町自治会
伊火島を愛する会

32

最後に：調査の前にちゃんと理解しておきたいこと



昭和9年10月に，香川女子師範が中心になって坂出地方で行った方言矯正運動のビラ．
出典：水野一典・中井幸比古「香川の方言矯正運動と方言研究」香川県はなしことば研究会（編）『修訂 讃岐弁あれこれ』

33

言語(音声)学的調査の方法論

青井　隼人
（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所／国立国語研究所）

本講義では、言語調査の工程を 6 つに分け、講師の調査を例にしながらそれぞれを解説した。本講義で扱った 6 つの工程は以下のとおりである。

(1) 録る：話者の音声を録音する

言語調査では必ず調査内容を録音することが求められる。調査内容を後から振り返るときに必要になるだけでなく、研究資料や文化遺産として記録・保存・共有する必要があるからである。言語調査においては、①対象とする音声の音量が充分にあり、②雑音がより少ない録音を目指すべきである。

(2) 訊く：知りたいことを聞き出す

知りたいことを話者から聞き出すためには、入念な準備が不可欠である。とくに質問すべきことを抜け漏れなく整理した質問表を調査前に準備しなければならない。話者から情報を引き出す質問方法には、①媒介言語から翻訳してもらう方法、②絵や写真などの視覚刺激を見せて答えてもらう方法、③クイズなどを利用して答えを引き出す方法がある。

(3) 書く：調査で得られた情報を記録する

たとえ録音をするとは言っても、調査の現場で記録を取ることはとても重要である。ここではどのような情報を調査票に書き留めるべきかを解説した。また、言語音を書き取る際に必要になる国際音声字母（International Phonetic Alphabet）について、その基本的な仕組みを概観した。

(4) 真似る：話者の発音を再現する

言語調査において、真似る技術は非常に重要である。それは、記述の信頼性に関わるだけでなく、話者との信頼関係の構築にも関わるからである。発音の真似が上手にできない調査者は、他の研究者から記述に信頼性を欠くと断じられてしまうだけでなく、話者から協力するに値しないという印

象を与えかねない。話者の発音を正確に真似るためには、話者の発音を注意深く観察し、1 つ 1 つの単音を的確に分析し、自らの調音器官で内省しなければならない。

(5) 見る：音を可視化する

音声は、可視化することで、より詳細で正確な観察が可能になる。また可視化された図があれば、第三者とより確かな議論することが可能になる。ここでは音声の可視化の方法として、①波形・スペクトログラム、②動画、③写真を紹介した。

(6) 探る：音韻論的な構造を浮かび上がらせる

語彙調査などで得られた資料は、できるだけ早い時期にノートで整理し、対象の言語的構造の分析をおこなう必要がある。ここでは音韻構造の分析に特に焦点を当て、3 つの記述項目、つまり①音素目録（対象の言語にはどんな音素がいくつ認められるか）、②分布制限（分布に制限のある音素はあるか、あるとすればどんな音素がどのような環境で現れえないか）、③異音規則（ある音素について、どのような条件下でどのような音声で実現されるか）について解説した。

言語音声学的調査の方法論

1. 録る：話者の音声を録音する

Q. そもそもなぜ録音するか？

1. 普段どのようなときに録音しますか？   2. 言語調査で録音をするのはなぜだと思いますか？

- 良い録音の条件
  1.
  2.
- 録音機器：①
  ②
  ③

2. 訊く：知りたいことを聞き出す

- あらかじめ質問したい項目を準備しておく　→ **調査表**（Cf. 基礎語彙調査表）
- どうやって答えを引き出すか？
  - ➢
  - ➢
  - ➢

3. 書く：調査で得られた情報を記録する

- どんなことを書くか？
  - ➢
  - ➢
  - ➢

Q. 何と発音したか？　聞こえた音を書き取ってみよう。

- 国際音声字母 **I**nternational **P**honetic **A**lphabet
  - ➢ 子音の表
  - ➢ 母音の表
  - ➢ その他の記号

4. 真似る：話者の発音を再現する

Q. なぜ真似ることが重要か？

- 真似の重要性
  1.
  2.
- 真似をするためのポイント
  1.
  2.
  3.

5. 見る：音を可視化する

Q. なぜ発音を「見る」ことが必要なのか？

- 発音を「見る」ことで生まれる利点
  1.
  2.
- 音を可視化する方法の例
  - **波形・スペクトログラム（声紋）**
  - **動画**（例：唇・舌先の動き）
  - **写真**（例：静的パラトグラフィ―）

6. 探る：音韻論的な構造を浮かび上がらせる

- **音素目録** いくつの音が区別されている（＝対立している）か？
- **分布制限** どんな場所に観察されるか？（逆に、観察されないか？）
- **異音規則** どんな音と交替するか？

危機方言の記録と地域再生ー言語学に何ができるかー

木部暢子
（国立国語研究所）

言語学の立場から、消滅の危機に瀕する言語・方言を記録することが地域コミュニティの再生にどのように貢献できるのかを、様々な活動の報告を交えながら講義した。2009 年のユネスコの報告によれば、世界の約 6,000 の言語のうち、約 2,500 が消滅の危機に瀕している。そして消滅が危惧される言語の中には、日本で話される 8 の言語、すなわちアイヌ語、八丈語、奄美語、国頭語、沖縄語、宮古語、八重山語、与那国語が含まれている。

上記に掲げた 8 の言語のうち、アイヌ語を除く 7 の言語は、これまで（言語ではなく）方言、すなわち日本語の地理的変種の 1 つと見なされてきた。言語と方言との区別は、社会的・政治的な要因も絡んでいるため、必ずしも単純ではない。2 つの言語が異なる言語であるか、あるいは同一言語の方言であるかを峻別する言語学的な基準としては、相互理解性の程度、両者をつなぐ言語の有無、古語との対応の有無などがある。

言語あるいは方言は、その地域コミュニティに属する人々のアイデンティティと密接に結びついており、彼らにとって非常に大切なものである。また、他の言語では正確に言い換えることができないような、その言語・方言でしか表現できないことが確かに存在し、言語(人類)学的な価値も非常に高いと言える。地域コミュニティの団結のために、そして言語学的知見のさらなる拡大のために、消滅の危機に瀕する言語・方言を保護し、また次世代に継承していく必要がある。

それでは消滅の危機に瀕する言語・方言の保護と継承のために、言語学は何ができるだろうか。具体的な取り組みとして、以下のような活動が挙げられる：

(1) 語彙集（方言辞典）・文法書・テキストのいわゆる「3 点セット」の作

成

(2) 映像資料など、(1) に収まらない言語学的ドキュメンテーション

(3) 次世代の話者を教育するための教科書の作成

(4) 言語・方言の保護・継承に関する啓蒙活動

本講義では、とくに (4) の活動の具体的な例として、アイヌ語をめぐる取り組み、沖縄県の取り組み、鹿児島県（奄美群島）の取り組み、与那国島での取り組み、そして国立国語研究所の取り組み（日本の危機言語・方言サミット）をそれぞれ紹介した。

危機方言の記録と地域再生
―言語学に何ができるか―

国立国語研究所・言語変異研究領域
木部　暢子

NINJAL
National Institute for Japanese Language and Linguistics

1

危機方言の記録　危機言語とは･･･

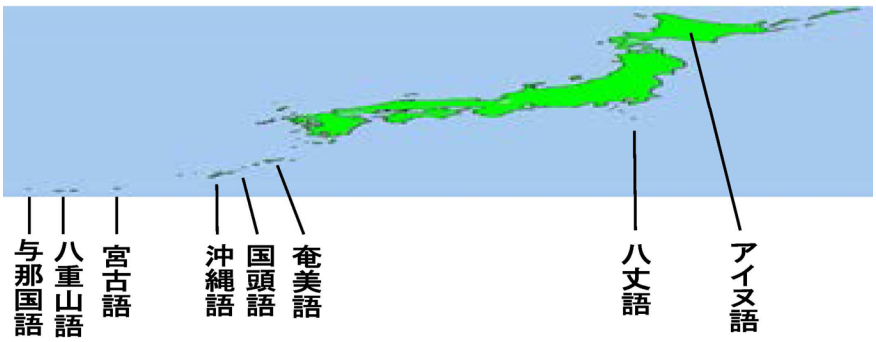
- 2009年、ユネスコは世界の言語約6,000のうち約2,500が消滅の危機に瀕していると発表した。
  http://www.unesco.org/new/en/culture/themes/endangered-languages/

NINJAL
National Institute for Japanese Language and Linguistics

2

危機方言の記録　危機言語とは・・・

- その中には日本で話されている8つの言語ーアイヌ語、八丈語、奄美語、国頭語、沖縄語、宮古語、八重山語、与那国語ーが含まれている。



NINJAL
National Institute for Japanese Language and Linguistics

3

寄せられた質問

- 「八重山語」「与那国語」などは「～語」というよりも「～方言」ではないのか。
- 危機の度合の判定はどのようにして行われたのか。
- 消滅の危機にある方言は、日本にはこれ以外ないのか。
- なぜ、言語や方言が危機になるのか。
- 言語や方言が消滅するのは時代の流れであって、仕方がないことなのではないか。

NINJAL
National Institute for Japanese Language and Linguistics

4

言語と方言

・Chambers,J.K.,and P. Trudgill(1980) *Dialectorogy*. Cambridge University Press.

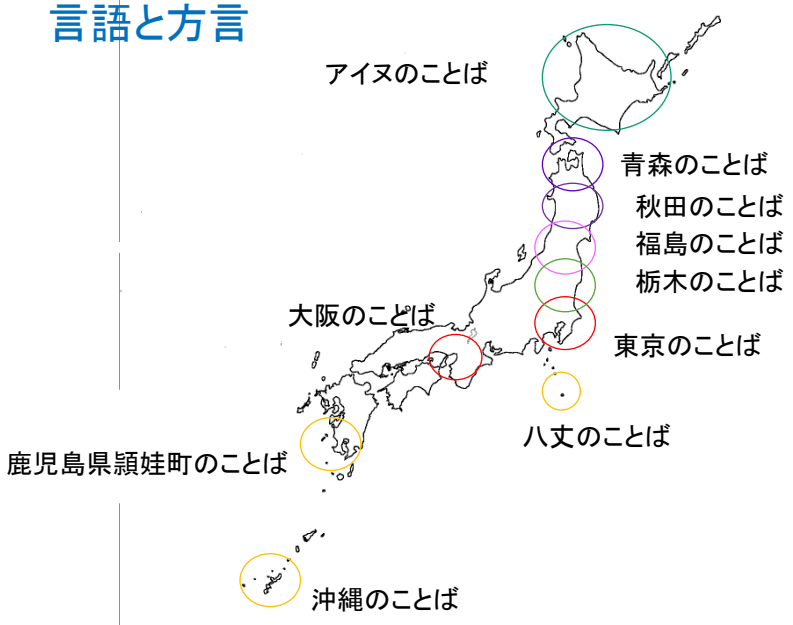
ある二つの言語がお互いに、だいたいにおいて理解可能であれば、この二つは同一言語のバリエーション、つまり「方言」と見なされ、そうでなければ「言語」とみなされる。

- Joseph K. Yamagiwa(1967) On dialect intelligibility in Japan.
- Gooskens et al. (2008) Phonetic and lexical predictores of intelligibility.
- Chaoju Tang and Vincent J. van Heuven (2007) Mutual intelligibility and similarity of Chinese dialects.

NINJAL National Institute for Japanese Language and Linguistics

5

言語と方言



NIN National Institute

Copyright(C) 2008 TSUKUBA Intercollegiate Inc. All Rights Reserved

6

言語と方言

- ではなぜ、これまで「沖縄方言」「奄美方言」「八丈方言」と言い、「アイヌ語」（「アイヌ方言」ではなく）と言ってきたか。
  - 言語の系統的な要因
  - 政治的要因

NINJAL National Institute for Japanese Language and Linguistics

7

琉球のことばの特徴

・音韻対応がある。

p ： ɸ : h	「花」	pana : ɸana : hana
	「昼」	piru : ɸiru : hiru
u : o	「沖縄」	utɕina: : okinawa
i : e	「手」	ti: : te

・古語との対応がある　ツブシ（くるぶし　粒節）
ツトゥミティ（早朝　つとめて）

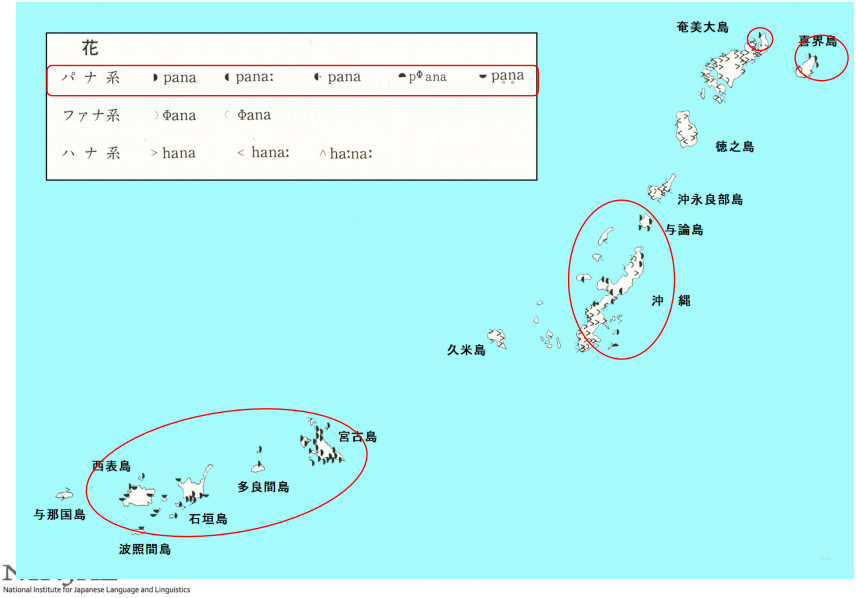
・「仮定条件」のユマー（読まば）と「確定条件」のユメー（読めば）の区別がある。

※対応形が本土方言に見当たらない語。
クーガ（卵）、ッワー（豚）

NINJAL National Institute for Japanese Language and Linguistics

8

琉球のことばの特徴



National Institute for Japanese Language and Linguistics

9

政治的要因

日本語と琉球語のあいだにみる相互理解度を欠くほどのおおきな相違にもかかわらず、少なくとも1972年の復帰の年までは、「琉球語」という名称は琉球列島を日本本土から遠ざける名称として、地元においてこのまれる名称ではなかった。したがって筆者（上村）もそれを尊重してかつてはこれを「琉球方言」と呼んでいた。

上村幸雄(2002)「第十章・第十六章へのレスポンス」『消滅の危機に瀕した世界の言語－ことばと文化の多様性を守るために』明石書店

NINJAL
National Institute for Japanese Language and Linguistics

10

言語・方言のまとめ

基準 / ことば	言語学的な基準			社会的・政治的基準
	理解可能か	つなぐ方言	古語との対応	
東京のことば				
大阪のことば	理解できる	あり	あり	日本
青森のことば	理解できない	あり	あり	日本
八丈のことば	理解できない	なし	あり	日本
沖縄・奄美のことば	理解できない	なし	あり	日本
アイヌのことば	理解できない	なし	なし	日本

NINJAL National Institute for Japanese Language and Linguistics

11

なぜ危機言語・方言を守る必要があるのか

・方言はその地域の人々の心を和ませ、人と人との距離感を縮める力を持っている、地域コミュニティの団結のために、方言は必要だ。

→ 諸刃の剣。

外に対しては人と人とを隔てる特徴になる。

・その言語・方言でしか表現できないことがたくさんある。

NINJAL National Institute for Japanese Language and Linguistics

12

言語学の社会貢献－地域再生

- 言語・方言の記録の作成
  三点セット　語彙集（方言辞典）
  文法書
  テキスト
- ドキュメンテーションの作成
- 言語・方言の教科書の作成
  保育園用、幼稚園用、小学校低学年用、高学年用、成人用

- 言語・方言の継承活動

NINJAL
National Institute for Japanese Language and Linguistics

13

アイヌ語の取り組み

地域コミュニティーによる保存活動

- 1997年「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」(通称「アイヌ文化振興法」)施行。
- 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構設立。「アイヌ語ラジオ講座」、「アイヌ語上級講座」、「語り部育成事業」、「アイヌ語弁論大会」等の事業新設。
- 「アイヌ語弁論大会」は年を追うごとに出場者が増加し、口承文芸部門と弁論部門、子供の部の新設など、漸次体制を整えつつ継続されている。
- 「アイヌ語指導者育成講座」などの取り組み。
- アイヌ民族博物館でアイヌ語を含む集中的な研修を実施（2008年8月～2011年3月）。

NINJAL
National Institute for Japanese Language and Linguistics

14

沖縄県の取り組み

しまくとぅばの日に関する条例

（沖縄県）平成18年３月31日
条例第35号

（趣旨）

第１条　県内各地域において世代を越えて受け継がれてきたしまくとぅばは、本県文化の基層であり、しまくとぅばを次世代へ継承していくことが重要であることにかんがみ、県民のしまくとぅばに対する関心と理解を深め、もってしまくとぅばの普及の促進を図るため、しまくとぅばの日を設ける。

（しまくとぅばの日）

第２条　しまくとぅばの日は、９月18日とする。

（事業）

第３条　県は、しまくとぅばの日の啓発に努めるとともに、その日を中心としてしまくとぅばの普及促進のための事業を行うものとする。

２　県は、市町村及び関係団体に対し、しまくとぅばの普及促進のための事業が行われるよう協力を求めるものとする。

附　則

この条例は、公布の日から施行する。

NINJAL
National Institute for Japanese Language and Linguistics

15

鹿児島県奄美の取り組み

喜界島
奄美大島
徳之島
沖永良部島
与論島

シマユミタの日
シマユムタの日
シマクトゥバの日
島口の日
シマグチ（島口）の日
シマユミィタの日
島ムニの日
ユンヌフトゥバの日

https://www.pref.kagoshima.jp/aq01/chiiki/oshima/kyoiku/oosimatikuhougennnohi.html

NINJAL
National Institute for Japanese Language and Linguistics

16

「日本の危機言語・方言サミットIN八丈島」

17

与那国の取り組み

- 地元の協力体制（担当室の設置、人員の配置）
- 専門員の雇用
- 予算措置
- 与那国語の教科書の作成（保育所用）

NINJAL
National Institute for Japanese Language and Linguistics

18

国語研の取り組み

八丈島

NINJAL
National Institute for Japanese Language and Linguistics

19

文献

- 菊秀史（2006-2014）『与論の言葉で話そう（1）～（4）』与論民俗村
- 木部暢子(2013)『そうだったんだ！日本語　じゃって方言なおもしとか』岩波書店
- 木部暢子、三井はるみ、下地賀代子、盛思超、北原次郎太、山田真寛（2011）『危機的な状況にある言語・方言の実態に関する調査研究事業報告書』文化庁委託事業報告書
- デイヴィッド・クリスタル（2004）『消滅する言語――人類の知的遺産をいかに守るか』（斎藤兆史、三谷裕美訳）中公新書、中央公論新社
- 東北大学方言研究センター（2012）『方言を救う、方言で救う』ひつじ書房
- 宮岡伯人、崎山理編、渡辺己、笹間史子監訳（2002）『消滅の危機に瀕した世界の言語――ことばと文化の多様性を守るために』明石書店
- 山浦玄嗣（1985）『ケセン語入門』共和印刷企画センター（1989に改訂版発行）
- 山浦玄嗣編著（2000）『ケセン語大辞典 上下』無明舎出版
- 山浦玄嗣（2007）『ケセン語の世界』明治書院

NINJAL
National Institute for Japanese Language and Linguistics

20

文献

- Chambers, J. K. and P. Trudgill (1980) *Dialectorogy*. Cambridge University Press.
- Chaoju Tang and Vincent J. van Heuven (2007) Mutual intelligibility and similarity of Chinese dialects, Chongqing Jiaotong University / University of Leiden/LUCL
- Grimes, B. F. ed. (2000) *Ethnologue: Languages of the world*, 14th ed. SIL International.
- Gooskens et al. (2008)　Phonetic and lexical predictoresI of intelligibilety .
- IUCN (1966) Red list
- Joseph K.　Yamagiwa(1967) On Dialect Intelligibility in Japan,　Anthropological Linguistics, Vol. 9, No. 1 (Jan., 1967), pp. 1-17
- UNESCO Ad Hoc Expert Group on Endangered Languages (2003) *Language Vitality and Endangerment*. Document submitted to the International Expert Meeting on UNESCO Programme Safeguarding of Endangered Languages, Paris, March 10-12, 2003. [http://www.unesco.org/culture/ich/doc/src/00120-EN.pdf last accessed Feb. 2, 2011]

NINJAL
National Institute for Japanese Language and Linguistics

21

下北の方言について／
東北方言の音韻・音声の特徴とその書き起こし方法について

木部暢子

（国立国語研究所）

下北地方の方言について、とくに音韻論的な特徴に焦点を当てながら、解説した。具体的に取り上げた項目は、以下の通りである。

(1) 子音

破裂音系列において、無声音 /p, t, c, k/ ・有声音 /b, d, z, g/ に加えて、鼻音化音 /˜b, ˜d, ˜z, ŋ/ が認められる（ただし、鼻音化音は、有声音の語中での異音であるとする解釈もありうる）。

(2) 母音

6 母音 /a, o, u, i, e, ɛ/ を立てることができる。/ɛ/ は、東京方言における /ai/ に対応している。

(3) 音素連続

特定の子音と母音との組み合わせが認められない。具体例を次に列挙する：*tu, *ti, *du, *di, *˜du, *˜di, *cu, *zu, *˜zu, *su, *hu, *tja, *tjo, *tju, *dja, *djo, *dju, *˜dja, *˜djo, *˜dju, *hja, *hjo, *hju。また軟口蓋破裂音において /w/ との結合（いわゆる合拗音；具体的には kwa, kwe, gwa, ŋwe）が認められる。

(4) アクセント

文節単位で区別される。文節の音節数に対して、「音節数＋1」のアクセントの区別が認められる。

上記の内容について講義した後、青森市の自然談話資料を使いながら、

方言の書き起こしの練習をおこなった。なお、使用した談話資料は『国立国語研究所資料集 10 方言談話資料 (7) —老年層と若年層の会話— 青森・岩手・新潟・千葉・静岡・長野・愛知・福井』に採録されている「田打ちの頃」である。

1．調査の概要

（※pp.199–200 を参照）

2．下北の方言

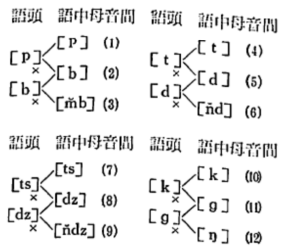
『下北―自然・文化・社会―』（学会連合下北調査委員会[編]、1967、平凡社）第３章 下北の方言　第１節 下北方言の音韻・アクセント（池上二良）より

1．子音（p.152）

子音音素：／p b b̆ m t d d̆ c z z̆ n k g ŋ f s h
r w j Q N／
母音音素：／a o u i e ɛ／

／p, b, b̆, m, t, d, d̆, c, z, z̆, n, k, g, ŋ／は概略的に言ってそれぞれ［p, b, m̆b, m, t, d, n̆d, ts, dz, n̆dz, n, k, g, ŋ］に該当する。／b̆, d̆, z̆／に対する子音のまえの母音は鼻音化する。例. ／ed̆a／［ẽn̆dã］（枝）。なお／k／は特に／i／のまえで［kɕ］に該当する。／g／も／i／のまえでは［gʑ］のことがある。例. ／a⌝gi／［ãgi］～［ãgʑi］（秋）。

この方言に現われる［g］と［ŋ］の音は，音声的単位である呼気段落のかしらまたはなかというそれぞれの位置によってそのどちらかが現われるというものではなく，語頭か，語中か，語中ならその語によってどちらが現われるかが定まっている。おなじくこの方言に現われる［b］と［m̆b］，［d］と［n̆d］，［dz］と［n̆dz］についてもそのようである。たとえば／kono dɛ⌝／［konõ dè･］（この台）はひといきに発音しても［d］のかわりに［n̆d］のようになることはない。



上向きの線で結んだものがおなじ音素に該当するとみて，それぞれに対して上述の音素(1)／p／，(2)／b／，(3)／b̆／，(4)／t／，(5)／d／，(6)／d̆／，(7)／c／，(8)／z／，(9)／z̆／，(10)／k／，(11)／g／，(12)／ŋ／が該当すると考える。

【解説】
/p, b, ˜b/ /t, d, ˜d/ /c, z, ˜z/ /k, g, ŋ/
の３子音対立を立てている。

２つの考え方がある。

(A)池上(1967)

	語頭	語中
/k/	k	k
/g/	g	g
/ŋ/	ŋ	ŋ
/t/	t	t
/d/	d	d
/˜d/	˜d	˜d

(B)

	語頭	語中
/k/	k	g
/g/	g	ŋ
－	－	－
/t/	t	d
/d/	d	˜d
－	－	－

2．母音（p.153）

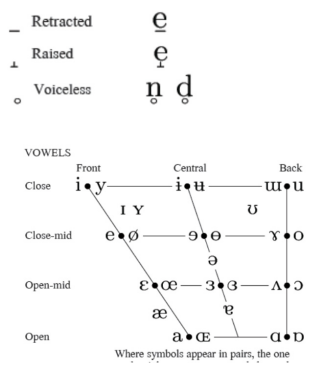
／a, o, u, i, e, ɛ／はそれぞれ通常［a̰, o, ʉ̰, i, ḛ, ɛ̰］に該当する。（［a̰, ʉ̰, ḛ, ɛ̰］は以下簡略的に［a, ʉ, e, ɛ］と表記する。）その［ʉ］は唇が上下からせばまるが左右からはほとんどせばまらない。例. ／aga˥／［agà］〈赤〉, ／odo／［odō］〈おと〉, ／usa˥ŋi／［usāŋi］〈うさぎ〉, ／inu˥／［inù］〈いぬ〉, ／e˥ne／［ēne］〈いね〉, ／tɛ˥／［tɛ̀˞］〈鯛〉。ただし／h／のあとの／i／が該当する母音は［i］に近い。また／juwa／［jy̰wā］〈岩〉では／u／は［y̰］となる。なお脇野沢の山田さんの発音では／u／は［ʉ̰］である。

母音音素／u, i／は無声化することがある。無声子音のまえか，呼気段落の末尾かにおいて発音される，アクセントの高さの峰に立たない／ku, ki, fu, fi, si, ci／は，それぞれ無声子音（／k, f, s, c／に対する音）＋無声母音（／u, i／に該当する上記母音の無声音）に該当するか，または母音を伴わない無声子音だけに該当する。二音節文節では他の有声母音のうちに高低の差異がある。例. ／kusi˥／［kˣu̥si̥］〈くし〉, ／fukɛ˥／［Φkɛ̀］〈深い〉, ／fisasi／［Φɕsasī］〈ひさし〉, ／sisi／［si̥sí］〈すし〉, ／si˥si／［sì̥s］〈すす〉, ／micikɛ˥／［mì̥tskɛ̀］〈みじかい〉。さらに２つの母音音素が無声化する例がある，／ucike˥ru／［Φtskēru］〈［いきを］ふきつける〉。また，無声子音＋せまくない母音からなる音節が，高く発音されて（すなわちアクセントの高さの峰にあって）つぎにあると，そのまえにおける／b̄u, b̄i, z̄i／の発音は，しばしばその／u, i／に対して無声母音が現われるか，または母音がなく発音されるかし，／b̄, z̄／が該当する子音は後半が無声である。例. ／neb̄uta／［nem̆b̥Φtā］〈ねぶた〉, ／ob̄iko／［om̆b̥i̥kō］〈おび〉,

【解説】

６母音

ε は 東京の ai に対応



3．音素連続（p. 154）

	a	o	u	i	e	ɛ
ʔ	+	+	+	+	+	
p	+	+	+	+	+	+
b	+	+	+	+	+	+
b̃	+	+	+	+	+	+
m	+	+	+	+	+	+
t	+	+	−	−	+	+
d	+	+	−	−	+	+
d̃	+	+	−	−	+	+
c			−	+		
z			−	+	+	
ž			−	+	+	
n	+	+	+	+	+	+
k	+	+	+	+	+	+
g	+	+	+	+	+	+
ŋ	+	+	+	+	+	+
f	+		+	+	+	+
s	+	+	−	+	+	+
h	+	+	−	+	+	+
r	+	+	+	+	+	+

	ja	jo	ju	je	jɛ	wa	wi	we	wɛ
ʔ	+	+	+	−	+	+	+	+	+
p	+	+		−	−	−	−	−	−
b	+	+		−	−	−	−	−	−
b̃				−	−	−	−	−	−
m		+		−	−	−	−	−	−
t	−	−	−	−	−	−	−	−	−
d	−	−	−	−	−	−	−	−	−
d̃	−	−	−	−	−	−	−	−	−
c	+	+	+			−	−	−	−
z	+	+	+			−	−	−	−
ž	+				+	−	−	−	−
n	+	+	+	−	−	−	−	−	−
k	+	+	+	−	−	+	−	+	
g	+	+	+	−	−	+	−		
ŋ		+		−	−	+	−		
f	+	+	+	−	−	−	−	−	−
s	+	+	+	−	−	−	−	−	−
h	−	−	−	−	−	−	−	−	−
r	+	+	+	−	−	−	−	−	−

【解説】

*tu　*ti

*du　*di

*˜du　*˜di

*cu　ci

*zu　zi

*˜zu　˜zi

fa　　fu　fi　fe　fɛ

*su　si

ha　ho　*hu　hi　he　hɛ

4．アクセント（p.156）

この方言の音韻論において扱うアクセントに関して上位単位を文節の形とし，下位単位を音韻音節とすることができよう(2)。アクセントはそれぞれの文節によって一定している。文節のアクセントにはつぎの種類の形が区別される。以下○でひとつの音韻音節を示す。なお◌̄は前後の音韻音節にくらべて最も高い音に該当する。◌̀は単独ではしり下がりの発音に該当し，先行する音韻音節があればそれより高いがこの部分でしり下がりになる発音に該当する。

一音節文節には2つの形がある。

1. ○　2. ◌̀

2. に対して1. はたいらな発音に該当する。

二音節文節には3つの形がある。

1. ○◌̄　2. ○◌̀　3. ◌̄○

三音節文節には4つの形がある。

1. ○○◌̄　2. ○○◌̀　3. ◌̄○○　4. ○◌̄○

一音節名詞

第1類　e〈柄〉，ka〈蚊〉，ci〈血〉，to〈戸〉，ho〈帆〉，mi〈実，身〉，ke〈毛〉。……○

第2類　na〈名〉，ha〈葉〉，fi〈日〉，ja〈矢〉。……○

第3類　eˀ〈絵〉，oˀ〈尾〉，kiˀ〈木〉，koˀ〈粉〉，siˀ〈酢〉，taˀ〈田〉，teˀ〈手〉，naˀ〈菜〉，niˀ〈荷〉，neˀ〈根〉，noˀ〈野〉，fiˀ〈火〉，hoˀ〈穂〉，juˀ〈湯〉。……○ˀ

二音節名詞（および／ɛ,VV／をふくむ一音節名詞）

第1類　ame〈飴〉，ɴme〈梅〉，eda̰〈枝〉，kažḭe〈風〉，kane〈金〉，kaba̰〈壁〉，kama〈釜〉，kore〈此〉，sage〈酒〉，tage〈竹〉，hago〈箱〉，hana〈鼻〉，niwa〈土間〉，momo〈桃〉。kagi〈柿〉，gani〈蟹〉，kiži〈雉〉，kiri〈桐〉，kuzi〈口〉，kuba̰i〈首〉，kosi〈腰〉，tori〈鳥〉，haži〈端〉，hazi〈蜂〉。……○○

第2類　uda〈歌〉，odo〈音〉，kada〈型〉，kawa〈川〉，kura〈鞍〉，simo〈下〉，tera〈寺〉，hada〈旗〉，futo〈人〉，mune〈胸〉，mura〈村〉。esi〈石〉，kagi〈垣〉，kami〈紙〉，hemi〈蛹〉，tabḭ〈旅〉，ciru〈弦〉，nazi〈夏〉，hasi〈橋〉，fuju〈冬〉，mazi〈町〉，jugi〈雪〉。……○○

第3類　awa「〈泡〉，egeˀ〈池〉，iroˀ〈色〉，uda̰eˀ〈腕〉，ɴmaˀ〈馬〉，kawaˀ〈皮〉，kusaˀ〈草〉，kumoˀ〈雲〉，kuraˀ〈倉〉，kodoˀ〈事〉，simaˀ〈島〉，tamaˀ〈玉〉，hanaˀ〈花〉，haraˀ〈腹〉，jamaˀ〈山〉。asiˀ〈足〉，inuˀ〈犬〉，oniˀ〈鬼〉，kamiˀ〈髪〉，kuriˀ〈栗〉，simiˀ〈炭〉，tosiˀ〈年〉，namiˀ〈波〉，nomiˀ〈蚤〉，mimiˀ〈耳〉。tɛˀ〈鯛〉。……○○ˀ，○ˀ

第4類　aˀwa〈粟〉，eˀne〈稲〉，kaˀsa〈笠〉，kaˀda〈肩〉，kaˀma〈鎌〉，keˀsa〈今朝〉，geˀda〈下駄〉，soˀra〈空〉，taˀne〈種〉，naˀga〈中〉，fuˀne〈舟〉。eˀgi〈息〉，uˀsi〈臼〉，uˀmi〈海〉，oˀbḭ〈帯〉，kaˀmi〈上〉，kiˀri〈錐〉，suˀmi〈隅〉，noˀmi〈盥〉，haˀsi〈箸〉，haˀri〈針〉，maˀzi〈松〉，muˀŋi〈麦〉。kjooˀ〈今日〉。……○ˀ○，○ˀ

ただし idoˀ〈糸〉。……○○ˀ

nuga〈糠〉。……○○

第5類　aˀme〈雨〉，iˀdo〈井戸〉，oˀge〈桶〉，kaˀŋe〈蔭〉，kuˀbo̰〈蜘蛛〉，koˀe〈声〉，fuˀna〈鮒〉，maˀdo〈そらまど〈鮎〉，kiˀmi〈とうもろこし＜黍〉，koˀe〈鯉〉，saˀru〈猿〉，ciˀru〈鶴〉，haˀru〈春〉，heˀbḭ〈蛇〉。……○ˀ○

ただし kodoˀ〈琴〉，cijuˀ〈露〉。……○○ˀ

３．東北方言の音韻・音声の特徴とその書き起こし方法について

使用テキスト

「国立国語研究所資料集 10 方言談話資料（7）－老年層と若年層との会話－ 青森・岩手・新潟・千葉・静岡・長野・愛知・福井」1983 年 9 月

次の音声は、青森市の自然談話です。音声を聞いて方言を書き起こしてみましょう。また、共通語訳を付けてみましょう。

１．田打ちの頃

1	A	ムガスダバナー （B ソエゴソ） サンカ゛ヅデバハー （B ウン） タウヅ ウヅ スタオナー。	昔ならなあ それこそ 三月といえばはあ （B うん） 田〔を〕打ち 打ちしたものなあ。（B うん）
2	A	エマダバ 【ゴカ゛ヅダノー】 （B ウンウン） ゴカ゛ヅサ ハネ ウヅタ ウダネバタテ ヤッパリ ムガスホラ （B ウン） テデバリ ヤルドゴデ （B ウン）	今なら （B うんうん） 五月に はいらない うち 田〔を〕 打たないけれど やっぱり 昔 ほら （B うん） 手でばかり やるので （B うん）
3	A	ハヤグネバ マエネハン＾デハー サンカ゛ツ［1］ ユギ ケデハー （B ウン） ワンツカ カワゲバハー ノー［2］ ミンナ ハー （C ホンダネナー） サンボクゥデ ハー （C ウンウン） ウッテ。	早くないと だめだからはあ 三月 雪〔が〕 消えてはあ （B うん） わずか 乾くとはあ のう みんな はあ（C そうだなあ） 三本鍬で はあ（C うんうん） 打って。
4	B	アエ サンツコロネ エグンデ ネガー、アサノ。	あれ 三時頃に 行くんで ないか、朝の。
5	A	ウー サンヅ。ハエ ヘトダキャヨー（B ウン） ハー ジュニヅ スキ゛レバ （B ウンウン） ホー オギデエグヤデー ウン。	うん 三時。早い 人はよう （B うん） はあ 十二時 過ぎると （B うんうん） ほう 起きて 行くのだうん。
6	B	メス カネデー。	うん 飯〔を〕 食わないで。

7	A	メス　カネデ。	飯〔を〕　食わないで。
8	B	ウン　ホスモヅ　モッテナ　《笑》。	うん　干し餅〔を〕　持ってな　《笑》。
9	A	ウーン　ホスモヅ　モッテ　ホラー　ウン　ステハー　【ス】　ツヅ　スミデラハンデ　【クヅ】　ナンダ　ワラクヾヅトカ。	うーん　干し餅〔を〕　持って　ほらあうん　そしてはあ　土〔が〕　凍ってるので　履　なんだ　藁履とか。
10	B	ワラクヾヅ　ハエデッタ　モンダエナー。	藁履〔を〕　はいていった　もんだよなあ。
11	A	ウー　ツマコ゜[3]　ハグトカ　ステヨー	うん　爪籠　履くとか　してよう。
12	A	ステハー　クレドゴデ　オドゴダバヨー（B　ウン）　カッツカッツカツヅ　オド　スバタテ　フト　メァネヤダエナー。（B　ウン）	そしてはあ　暗いので　男ならよう（B　うん）　かっちかっちかっちという　音〔が〕　するけれど　人〔は〕　見えないのだよなあ。（B　うん）
13	A	ンー。コンダ　アガルグ　ナレバヨーハンˆヅメデ　コンダ　エヨー[4]　アッコノ　フトダネラー[5]。ヅンブハイァナーナンテ　（B　ウンウン）　ホラ　ウー。	うん。今度　明るく　なるとよう　初めて　今度　やあ　あそこの　人だよあらあ。ずいぶん　早いなあなんて　（B　うんうん）　ほら　うん。
14	C	エグ　ヅギハー　ミンナハー　オナコ゜ンˆド[6]ダバ　キナガヤグ[7]（B　ウン）　オドゴンˆドダバー　フトリエグタ[8]　ヅギハー　（A　B　ウン）　ハンブガラ　ウテマッテノー　《笑》　（A　ウン）。	行ぐ　時はあ　みんなはあ　女達なら半人役　（B　うん）　男達なら　一人役といった　時はあ　（A　B　うん）〔その早い人は〕半分から　打ってしまってのう　《笑》　（A　うん）。
15	B	チョンˆド　スヅンˆヅコ゜ロニ　メスクーエンタナー。コヅガラ　メス　モテエッテヨー。	ちょうど　七時頃に　飯〔を〕　食うようだなあ。こちらから　飯〔を〕　持って　行ってよう。
16	A	エヤ　アノ　マンˆダ　ムガスア　マンˆダ　タ　ウヅ　ヅギダンˆバ　ニスアカ゜テナー。	やあ　あの　また　昔は　また　田〔を〕　打つ　時なら　鰊〔が〕　あがってなあ。
17	B	ニス　アカ゜テナー。	鰊〔が〕　あがってなあ。
18	A	オモニ　アラー　ニスンバリハー。ニスヤエデー　〈ウーン〉。	主に　あらあ　鰊ばかりはあ。鰊〔を〕焼いて　うーん。
19	B	〈ニスンˆダバ〉　アギデマルダゲ　クタエンタナー。ジェンコ　アレバヨー。	鰊なら　飽きてしまうだけ　食ったようだなあ。銭こ〔が〕　あればよう。
20	A	ニスダバ　クタモンダナー。【ニー】　ニス　アカ゜テ　ニス　アカ゜テ。	鰊なら　食ったもんだなあ。鰊〔が〕あがって　鰊〔が〕　あがって。

21	C	ナー　クツコロテ　ヘレバ　ウッテマッテ　デ　エサ　モン＾ドテ　キテー　ノー　ア　ミンナステ　コンダ　ハー　（A　ウーン）　ワゲモンド　ワゲモンドドア[11]　アスブネ　アルエテ　（A　ウンダ）　《笑》	なあ　九時頃と　いうと　打ってしまって　で　家に　『戻』って　来て　のうああ　みんなで　今度　はあ　（A　うーん）　若い者達〔は〕　若い者達と遊びに　歩いて　（A　そうだ）　《笑》
22	A	チュハン＾メァニハー　ノー　〈ウッテマッテー〉。	昼飯前にはあ　のう　打ってしまって。
23	B	〈タエデ〉ハー　ジュンヅ　ジューエツヅコロニ　（A　ウン）　ナレバ　ウッテマルンデ　ネガナー。	たいていはあ　十時　十一時頃に　（A　うん）　なると　打ってしまうんで　ないかあ。
24	A	ハイァ　ヘトダバハー　チュハメァニジュン＾ツコロニ　（B　ウン）　ハースマテマルジャー。	早い　人ならはあ　昼飯前に　十時頃に　（B　うん）　はあ　しまってしまうよ。
25	B	コエダハンデ　アサマニ　ハエグ　エグンダオナー　ウン。	これだから　朝に　早く　行くんだものなあ　うん。
26	A	ソエデ　コンダ　ホラー　チュハンニナッテカラ　ヤスムヤヅ　（B　ウン）　ソレ　マン＾ダ　モースレァ　ワゲセァ。	それで　今度　ほらあ　昼飯に　なってから　休むの〔が〕　（B　うん）　それ　また　おもしろい　わけよ。
27	B	アレア　アサマカラ　バゲマン＾デダラトテモ　トサエル　モンデネベオン。	あれは　朝から　晩までなら　とても　通される　もんでないだろう。
28	A	アー　トテモ　（B　ウン）　カラダアー　カステマルジャ　（B　ウン）　ウン。	ああ　とても　（B　うん）　からだ〔を〕　ああ　壊してしまうよ　（B　うん）　うん。
29	C	エマ　ヘバノ。	今　そうするとねえ。
30	B	スタハデ　バケ゜　ネデデ　ヤネノ　ホゲァ[12]　カンジョスィ[13]ク゜レァノホラー　（A　C　《笑》）　アガリニ　（A　ウン）　デ[14]　ネルンダッテナー　（A　ウー。C　ンダ）　ハヤグヨー。	そうだから　晩　寝ていて　屋根の　垂木〔を〕　勘定するぐらいの　ほらあ　（A　C　《笑》）　明るいうちに　寝るんだと言ってなあ　（A　うん。C　そうだ）　早くよう。
31	C	ネネン＾デ　ホゲ　カンジョエベステネルア〈ダモノー　《笑》〉。	寝ないで　垂木〔を〕　数えようと言って　寝るのだもの　《笑》。
32	B	〈ヘバ〉　ハルノ　ホゲァ　カンジョステバ　マー　ナンダガテナー　アガリネネデマテハー　ロー　ヨアゲ　オギデエグアダオン。	そうすると　春の　垂木〔を〕　勘定するといえば　まあ　なんだかと言ってなあ　明るいうちに　寝てしまってはあほらあ　夜明け　起きて　行くのだもの。

33	A	スタテ　ロー　アサマニ　ハヤグ　オギネバ　マエネハン＾デヨー　（B　ウンウン）　スタハン＾デ　ハー　アガリネハ　ネル　ワゲセァ。	そうはいっても　ほらあ　朝に　早く起きないと　だめだからよう　（B　うんうん）　そうだから　はあ　明るいうちに　は　寝る　わけよ。

青森県青森市方言
１．田打ちの頃

話し手
A　桜田　鉄彌　　男　明治36生れ
B　八木沢千代三郎　男　明治43生れ
C　棟方　トミ　　女　大正2生れ

302101	1	A	ムガスダバナー　（B　ソエゴソ）　サンカ゜ヅデバハー　（B　ウン）　タウヅ　ウヅ　スタオナー。	昔ならなあ　それこそ　三月といえばはあ　（B　うん）　田〔を〕打ち　打ち　したものなあ。（B　うん）
302101	2	A	エマダバ　【ゴカ゜ヅダノー】　（B　ウンウン）　ゴカ゜ヅサ　ハネ　ウヅ　タ　ウダネバタテ　ヤッパリ　ムガス　ホラ　（B　ウン）　テデバリ　ヤルドゴデ　（B　ウン）	今なら　（B　うんうん）　五月に　はいらない　うち　田〔を〕打たないけれど　やっぱり　昔　ほら　（B　うん）　手でばかりやるので　（B　うん）
302101	3	A	ハヤグネバ　マエネハン＾デハー　サンカ゜ツ［1］　ユギ　ケデハー　（B　ウン）　ワンツカ　カワゲバハー　ノー［2］　ミンナハー　（C　ホンダネナー）　サンボクゥデ　ハー　（C　ウンウン）　ウッテ。	早くないと　だめだからはあ　三月　雪〔が〕　消えてはあ　（B　うん）　わずか　乾くとはあ　のう　みんな　はあ　（C　そうだなあ）　三本鍬で　はあ　（C　うんうん）　打って。
302201		B	アエ　サンツコロネ　エグンデ　ネガー、アサノ。	あれ　三時頃に　行くんで　ないか、朝の。
302202		A	ウー　サンヅ。ハエ　ヘトダキャヨー　（B　ウン）　ハー　ジュニヅ　スキ゜レバ　（B　ウンウン）　ホー　オギデ　エグヤデー　ウン。	うん　三時。早い　人はよう　（B　うん）　はあ　十二時　過ぎると　（B　うんうん）　ほう　起きて　行くのだ　うん。
302205		B	メス　カネデー。	うん　飯〔を〕　食わないで。
302206		A	メス　カネデ。	飯〔を〕　食わないで。
302207		B	ウン　ホスモヅ　モッテナ　《笑》。	うん　干し餅〔を〕　持ってな　《笑》。
302208		A	ウーン　ホスモヅ　モッテ　ホラー　ウン　ステハー　【ス】　ツヅスミデラハンデ　【クヅ】　ナンダ　ワラク゜ヅトカ。	うーん　干し餅〔を〕　持って　ほらあ　うん　そしてはあ　土〔が〕　凍ってるので　履　なんだ　藁履とか。
302210		B	ワラク゜ヅ　ハエデッタ　モンダエナー。	藁履〔を〕　はいていった　もんだよなあ。
302211	1	A	ウー　ツマゴ゜［3］　ハグトカ　ステヨー	うん　爪籠　履くとか　してよう。
302211	2	A	ステハー　クレドゴデ　オドゴダバヨー　（B　ウン）　カッツカッツカツヅ　オド　スバタテ　フト　メァネヤダエナー。（B　ウン）	そしてはあ　暗いので　男ならよう　（B　うん）　かっちかっちかっちという　音〔が〕　するけれど　人〔は〕　見えないのだよなあ。（B　うん）
302211	3	A	ンー。コンダ　アガルグ　ナレバヨー　ハン＾ヅメデ　コンダ　エヨー［4］　アッコノ　フトダネラー［5］。ヅンブ　ハイァナーナンテ　（B　ウンウン）　ホラ　ウー。	うん。今度　明るく　なるとよう　初めて　今度　やあ　あそこの人だよあらあ。ずいぶん　早いなあなんて　（B　うんうん）　ほらうん。
302304		C	エグ　ヅギハー　ミンナハー　オナゴ゜ン＾ド［6］ダバ　キナガヤグ［7］（B ウン）　オドゴン＾ドダバー　フトリエグタ［8］　ヅギハー　（A　B　ウン）　ハンブガラ　ウテマッテノー　《笑》　（A　ウン）。	行ぐ　時はあ　みんなはあ　女達なら　半人役　（B　うん）　男達なら　一人役といった　時はあ　（A　B　うん）　〔その早い人は〕半分から　打ってしまってのう　《笑》　（A　うん）。
302307		B	チョン＾ド　スヅン＾ヅコ゜ロニ　メス　クーエンタナー。コヅガラメス　モテ　エッテヨー。	ちょうど　七時頃に　飯〔を〕　食うようだなあ。こちらから　飯〔を〕　持って　行ってよう。
302309		A	ウー　コンダ　【エ】　エガラ　ベント　ウウ［9］　〈モッテ　エッテナー　ウー〉。	うん　今度　家から　弁当〔を〕　持って　行ってなあ　うん。
302311		B	〈ベント　モッテ　エッテナ〉。アノー　スノリヅル　スノリー　ドロドロテ　スノリナー。（A　C　ウーン）　アエ　ニデ　オツユニステヨー　ウン　（A　C　ウン）　《笑》　マー　ススルンダナマヅナー　《笑》。ステ　コンダ　ビンサ　ツメデ　ウン　テ［10］スノリヅル　カゲデ　ホラ　ウン　（A　ウンウウン　ホンダ　ホンダ。C　ウン）　ウン　カボエデナ　ウン。【オキー　オ】　トン＾ヅノ　オキ　タサ　ハッテヨー　ウン。	弁当〔を〕　持って　行ってな。あのう　布海苔汁　布海苔　どろどろして　布海苔なあ。（A　C　うーん）　あれ〔を〕　煮て　おつゆにしてよう　うん　（A　C　うん）　《笑》　まあ　するんだな　まずなあ　《笑》。そして　今度　瓶に　詰めて　うん　そして布海苔汁〔を〕　かけて　ほら　うん　（A　うんうんう　そうだそうだ　C　うん）　うん　急いで食ってな　うん。当時の　大きい田に　入ってよう　うん。
302405		A	エヤ　アノ　マン＾ダ　ムガスア　マン＾ダ　タ　ウヅ　ヅギダン＾バ　ニス　アカ゜テナー。	やあ　あの　また　昔は　また　田〔を〕　打つ　時なら　鍊〔が〕あがってなあ。
302407		B	ニス　アカ゜テナー。	鍊〔が〕　あがってなあ。
302408		A	オモニ　アラー　ニスンバリハー。ニス　ヤエデー　〈ウーン〉。	主に　あらあ　鍊ばかりはあ。鍊〔を〕　焼いて　うーん。
302409		B	〈ニスン＾ダバ〉　アギデマルダゲ　クタエンタナー。ジェンコ　アレバヨー。	鍊なら　飽きてしまうだけ　食ったようだなあ。銭こ〔が〕　あればよう。
302411		A	ニスダバ　クタモンダナー。【ニー】　ニス　アカ゜テ　ニス　アカ゜テ。	鍊なら　食ったもんだなあ。鍊〔が〕　あがって　鍊〔が〕　あがって。
302412		C	ナー　クツコロテ　ヘレバ　ウッテマッテ　デ　エサ　モン＾ドテキテー　ノー　ア　ミンナステ　コンダ　ハー　（A　ウーン）　ワゲモンド　ワゲモンドドア［11］　アスブネ　アルエテ　（A　ウンダ）　《笑》	なあ　九時頃と　いうと　打ってしまって　で　家に　『戻』って来て　のう　ああ　みんなで　今度　はあ　（A　うーん）　若い者達〔は〕　若い者達と　遊びに　歩いて　（A　そうだ）　《笑》
302503		A	チュハン＾メァニハー　ノー　〈ウッテマッテー〉。	昼飯前にはあ　のう　打ってしまって。
302504		B	〈タエデ〉ハー　ジュンヅ　ジューエツヅコロニ　（A　ウン）　ナレバ　ウッテマルンデ　ネガナー。	たいていはあ　十時　十一時頃に　（A　うん）　なると　打ってしまうんで　ないかあ。
302506		A	ハイァ　ヘトダバハー　チュハメァニ　ジュン＾ツコロニ　（B　ウン）　ハー　スマデマルジャー。	早い　人ならはあ　昼飯前に　十時頃に　（B　うん）　はあ　しまってしまうよ。
302508		B	コエダハンデ　アサマニ　ハエグ　エグンダオナー　ウン。	これだから　朝に　早く　行くんだものなあ　うん。

302509		A	ソエデ　コンダ　ホラー　チュハンニ　ナッテカラ　ヤスムヤヅ　（B　ウン）　ソレ　マン＾ダ　モースレァ　ワゲセァ。	それで　今度　ほらあ　昼飯に　なってから　休むの〔が〕　（B　うん）　それ　また　おもしろい　わけよ。
302511		B	アレア　アサマカラ　バゲマン＾デダラ　トテモ　トサエル　モンデネベオン。	あれは　朝から　晩までなら　とても　通される　もんでないだろう。
302513		A	アー　トテモ　（B　ウン）　カラダ　アー　カステマルジャ　（B　ウン）　ウン。	ああ　とても　（B　うん）　からだ〔を〕　ああ　壊してしまうよ　（B　うん）　うん。
302602		C	エマ　ヘバノ。	今　そうするとねえ。
302603		B	スタハデ　バケ°　ネデデ　ヤネノ　ホゲァ[12]　カンジョスィ[13]　ク°レァノ　ホラー　（A　C　《笑》）　アガリニ　（A　ウン）　デ[14]　ネルンダッテナー　（A　ウー。C　ンダ）　ハヤグヨー。	そうだから　晩　寝ていて　屋根の　垂木〔を〕　勘定するぐらいのほらあ　（A　C　《笑》）　明るいうちに　寝るんだと言ってなあ　（A　うん。C　そうだ）　早くよう。
302606		C	ネネン＾デ　ホゲ　カンジョエベステ　ネルア〈ダモノー　《笑》〉。	寝ないで　垂木〔を〕　数えようと言って　寝るのだもの　《笑》。
302607		B	〈ヘバ〉　ハルノ　ホゲァ　カンジョステバ　マー　ナンダガテナー　アガリネ　ネデマテハー　ロー　ヨアゲ　オギデ　エグアダオン。	そうすると　春の　垂木〔を〕　勘定するといえば　まあ　なんだかと言ってなあ　明るいうちに　寝てしまってはあ　ほらあ　夜明け　起きて　行くのだもの。
302609		A	スタテ　ロー　アサマニ　ハヤグ　オギネバ　マエネハン＾デヨー　（B　ウンウン）　スタハン＾デ　ハー　アガリネ　ハ　ネル　ワゲセァ。	そうはいっても　ほらあ　朝に　早く　起きないと　だめだからよう　（B　うんうん）　そうだから　はあ　明るいうちに　は　寝る　わけよ。

注記

［1］「サンカ° ツ」の「ツ」はこの場合はほとんど発音されていない。

［2］数少ない、敬意を含む間投助詞で、相手にあいづちを求める意がある。

［3］藁製の雪ぐつ。

［4］感動詞。少しびっくりした時に使う。

［5］「フトダネラー」の「ネ」は多く使用される文末助詞の一つだが、適切な標準語が見当らない。今仮りに「よ」を当てておくが、勿論、婉曲な調子や敬意はない。

［6］「オナコ° ン＾ドダバ」の「ン＾ド」は複数を表わす。語源は「ども」。他に「ダヅ（達）」もあるが、少し改った言い方である。なお、「ン＾ド」の「ン＾」がとれて「ド」を使うことも多い。

［7］日常会話では「キナギャグ」と言う。録音を意識して「キナガヤグ」と発音したらしい。「キナガ」は「半分」の意であり、「日本国語大辞典　小学館」は「寸半」の字を当てている。「キナガヤグ」は、注記［8］の「フトリエグ」の半人分の作業量をいう。

［8］「フトリャグ　フトリヤグ　ヘトリャグ　ヘトリヤグ」とも言う。一反歩（３００坪、１０アール）の水田を耕やす、男の一日分の作業量をいう。また、「タ」は「～といった」の「といっ」を省略した表現。

［9］無意味の発音。

［10］接続詞「そして」をよく「ステ」と「ソ」を脱落していうが、更に「ス」までも発音しないことがある。発音しても軽いため録音できないこともある。

［11］「ドア」の「ア」は無意味の発音。ここの文意は「若い者達は若い者達同志で」である。

［12］昔、茅葺き屋根に使った丸太の垂木。天井板を張っていなかったのでまる見えであった。別に「ホゲ」と発音する。

［13］「する（連体形）」は時には［・・］になることもあり、ここはその例。普通は「ス［・→］」である。

［14］無意味の発音。

青森県八戸市フィールドワーク　事前研修

概要

開催日時　2019 年 8 月 19 日（月）

開催場所　国立国語研究所

参 加 者　8 名（いずれも公募の大学院生・社会人）

プログラム

1 限目（9:00～10:30）

1. 青井 隼人（東京外国語大学 AA 研／国立国語研究所）「言語（音声）学的調査の方法論」

2 限目（10:40～12:10）

2. 山越 康裕（東京外国語大学 AA 研）「話者から得られるデータの「正しさ」：悩ましい現地調査」

3 限目（13:30～15:00）

3. 木部 暢子（国立国語研究所）「調査の概要」
4. 木部 暢子（国立国語研究所）「下北の方言について」
5. 木部 暢子（国立国語研究所）「東北方言の音韻・音声の特徴とその書き起こし方法について」

※1 限目および 3 限目の講義資料は、むつ市フィールドワーク事前研修と同じであるため割愛。

話者から得られるデータの「正しさ」—悩ましい現地調査

山越　康裕
（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）

この講義ではフィールドワークで得られた言語データをもとに文法記述をおこなう際にしばしば忘れられがちになる二つのポイント、収集したデータの「正しさ」の検証と、データ分析時に付すグロスの妥当性について、自身の経験を通じて紹介した。

フィールド言語学では、「話者が実際に発話した内容」を分析対象とする。そのため、その得られたデータは「正しく」、問題なく使えるデータであると錯覚することがある。しかし、果たしてそれは本当に正しいデータだと言えるのだろうか。

文法調査票のような調査項目に基づいたエリシテーションは、効率的に偏りなくデータを集めることができる、必要不可欠な調査法である。ただし、媒介言語を通じたエリシテーションでは、しばしば媒介言語の影響を受けて話者が日常用いているような自然な発話とは異なるデータを提供することがありうる。容認度をはかるタイプの調査では、言語使用に対する個々人の規範意識や洞察力に左右されることがあるほか、調査者側の態度（何度も同じような質問を繰り返す・長時間拘束をする）が判断に影響を及ぼすこともある。

一方で自然談話の録音はより自然な発話であり、エリシテーションに比べて問題は少ないように見える。しかし、見慣れない機材を手にした「外」の人間を前に、話者は本当に自然な発話ができているのか、よそいきの発話になっていないか、十分に注意する必要がある。しかも自然談話の録音は文法記述に足る十分なデータを偏りなく収集しがたいという欠点も抱えている。

こういった調査方法におけるさまざまな弱点に加え、話者は得てして「自らの心の中の理想の母語」を記録してほしいと考えがちである。短期間の調

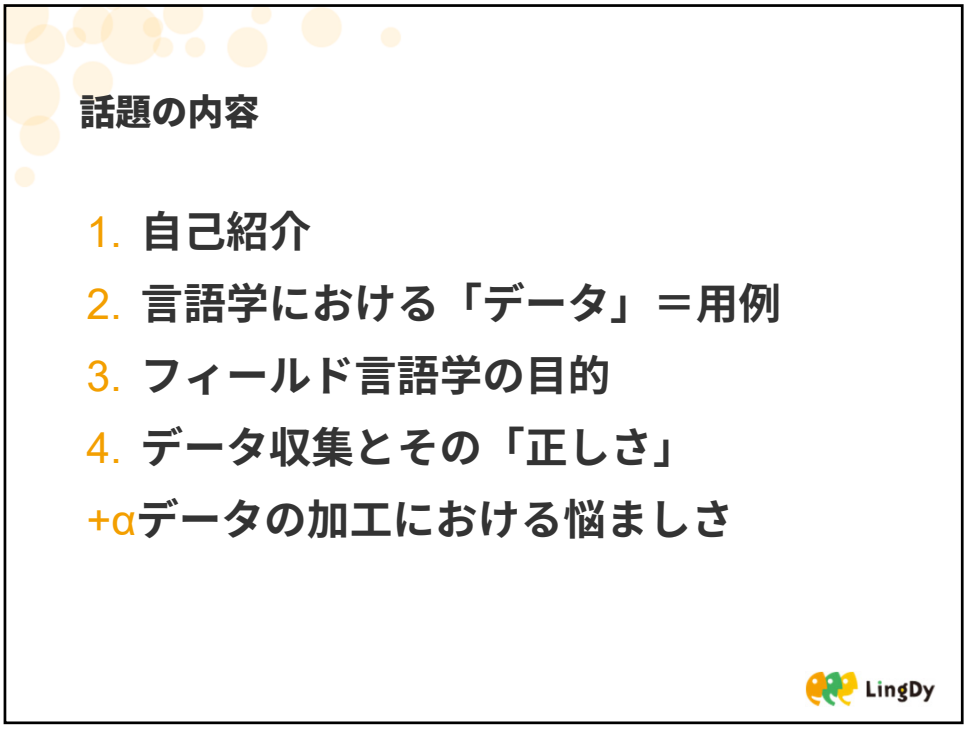
査ではそういった気持ちに気づくことは難しい。絶対的に正しくうまくいく調査方法というのはおそらく存在しない。さまざまな調査方法をバランスよく用いた長期的な調査が必要であること、話者から得られるデータが常に正しいわけではないということを、調査者は理解する必要がある。

そして、得られたデータを分析する際には、グロスの付与（文法情報の付与）がなされる。グロス付与は一見簡単なように見えるが、これも非常に悩ましい問題がある。グロス付与はいわばレッテル貼りであり、そのデータを見る第三者に対してバイアスをかけてしまうおそれがある。その機能を適切に表しているのかどうか、他者が見て把握しやすいグロスを付しているのか、矛盾はないかといった点に注意する必要がある。

データの収集方法、データの分析（グロス付与）それぞれがこういった危うさをかかえている。これに対するベストな解決方法はおそらく無い。まずは調査者としてその危うさを意識すること、意識してデータを集め、公開することが後にそのデータを使う研究者コミュニティ・話者コミュニティのためにも必要である。

LingDy
話者から得られるデータの
「正しさ」
―悩ましい現地調査
山越 康裕
（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所）
yamakoshi@aa.tufs.ac.jp

1


話題の内容
1. 自己紹介
2. 言語学における「データ」＝用例
3. フィールド言語学の目的
4. データ収集とその「正しさ」
+αデータの加工における悩ましさ
LingDy

2

1. 自己紹介

- シネヘン・ブリヤート語の調査・研究
  - モンゴル語のなかま
  - 中国・内モンゴル自治区北部、いわゆる「旧満洲」に暮らす「ブリヤート」および一部の「ハムニガン」と自称する人々約6,000人が母語として日常的に使用
  - もともとはロシア・バイカル湖東側に居住。ロシア革命後に亡命、現居住地に定住

LingDy

3

シネヘン・ブリヤート語の分布

山越 (2014: 30) より。一部加筆

4

5

6

7

8

'98 CALENDAR
© Yasuhiro YAMAKOSHI 2019

9

© Yasuhiro YAMAKOSHI 2019

10

11

12

何を研究しているのか

- 音韻・文法の記述とドキュメンテーション。
- 亡命から1世紀が経過し、亡命前にはなかった中国語からの影響が散見。
- 他のモンゴル語諸方言話者とも恒常的に接触。
- 他の言語の影響の把握もテーマ。
- あわせて周辺諸方言の調査も実施。

LingDy

13

話題の内容

1. 自己紹介
2. 言語学における「データ」＝用例
3. フィールド言語学の目的
4. データ収集とその「正しさ」

+αデータの加工における悩ましさ

LingDy

14

2. 言語学における「データ」＝用例

- 「言語学」のイメージ
- さまざまな分野に細分化されている（とはいえ明確に住み分けされているわけではない）言語学
- 「実例」はどの分野にも共通して重要な・必須のデータ

LingDy

15

wo ai ni.	I love you.
ni ai wo.	You love me.
ta ai ta	He loves her.
women ai ni.	We love you.
tamen ai wo.	They love me.
nimen ai wo.	You(PL) love me.

- ai = love（V）
- 動詞の変化（love ⇔ loves）もなし。
- 英語のような格変化（I ⇔ me）なし。
- 複数には -menを付す。
- 3人称に性の区別（he ⇔ she）がない。

LingDy

16

2. 言語学における「データ」＝用例

- 「言語学」のイメージ
- さまざまな分野に細分化されている現在の言語学
- 「**実例**」はどの分野にも共通して重要な・必須のデータ
- それは話者が認めた／しゃべったんだから**正しい／使える**

と思われるのだが……

LingDy

17

下の例はどう？

- 以下は実際に「**適格な用例**」として提示されたことのある例
- 「娘さんは医学部にいらっしゃるとか。お父さんの後を継いで将来はお医者さんですね」

「いえ、本当は　息子を／が　医者にしたいんですよ」

- ？僕は　プレゼントが　花子に　あげたい

LingDy

18

話題の内容

1. 自己紹介
2. 言語学における「データ」＝用例
3. フィールド言語学の目的
4. データ収集とその「正しさ」

+αデータの加工における悩ましさ

LingDy

19

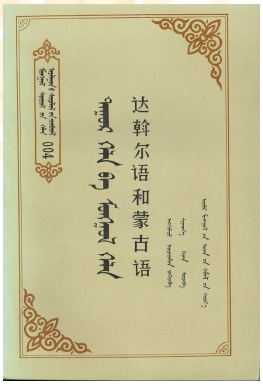
3. フィールド言語学の目的

- いわゆる「ボアズ的３点セット」の公刊
- 「３点セット」とは？
  - 文法書　…その言語の「しくみ」
  - テキスト
  - 辞書

…「しくみ」の論拠となるデータ（とはいえ分析も含む）

LingDy

20



文法書

恩和巴図 (1988)

koʃʤa:bəi→koʃʃa:bəi （狗）在叫
ʃaddʒa:bəi→ʃadʃa:bəi 会，正在会

3．过去时

达斡尔语陈述式动词过去时附加成分也有两种，即第一式-sən和第二式-la:（-li:），它们分别对应于蒙古书面语的ᠰᠤᠨ/ᠰᠦᠨ（-ɣsan/-gsen）和ᠯᠠ（-la/-le）。达斡尔语没有与蒙古书面语的ᠪᠠ（-ba/-be）、ᠵᠠᠢ（-jai/-jei）、ᠴᠠᠢ（-čai/-čei）对应的形式。

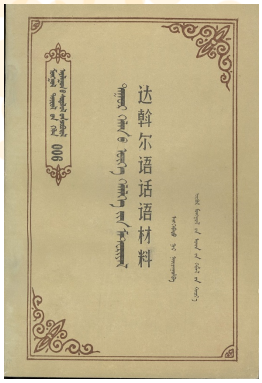
1）-sən：是既表示陈述式动词过去时，又表示过去时形动词的使用得最普遍的一个附加成分。它对应于蒙古书面语形动词附加成分ᠰᠤᠨ·ᠰᠦᠨ（-ɣsan/-gsen）。-sən可以不拘元音和谐律地接缀于动词词干上。但接缀于以n、l、l̥、d、t等辅音结尾的词干时，往往被同化成为-nən、-lən、-tən等形式。例如：

uʤ-sən 看了
id-sən → idtən 吃了
jau-sən 走了

305

LingDy

21



テキスト

恩和巴図 (1985)

ba: iʃe: ʧ talwa:, ʧi: tallə təŋgəri· arbuna:rəl bolbəi.

3．如果明天我有时间，我想去理发。
buŋ ʃolʧi: a:ɣa:sa: bi: xəke: xanna:ʧwəi.

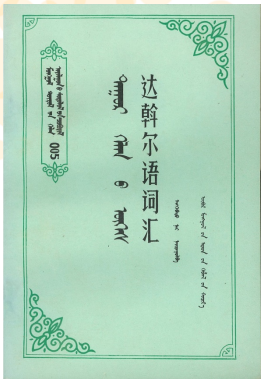
4．我儿子长大了想当解放军。
kəkʷmiŋ xiɣ bolo:so: ʧʷaɣəd warbəi ələn.

5．如果我按时完成了我的任务，我将星期一回北京。
xərwul bi: alba: ərində: bara: tale:sa: bi: utkai. ʃiŋʃi:ji:d ① bə:ʤind xaɣbəi.

6．假如我对你说我不能跟你去，你会有什么意见？
xərwul bi: ʃamʧi: nəkənd iʃliʤ ul ʃadən ələ:smiŋ ʃi: jo: ələbʃe:?

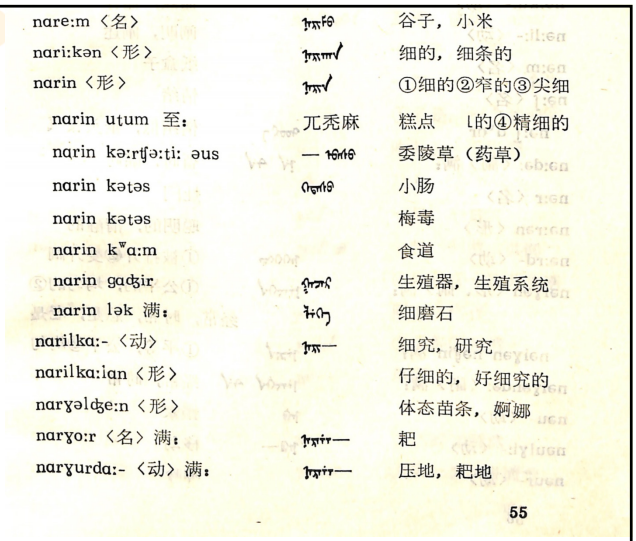
LingDy

22



辞書（語彙集）

恩和巴図 (1984)



nare:m〈名〉		谷子，小米
nari:kən〈形〉		细的，细条的
narin〈形〉		①细的②窄的③尖细
narin utum 至：	兀秃麻	糕点　l的④精细的
narin kə:rʧə:ti: əus		委陵草（药草）
narin kətəs		小肠
narin kətəs		梅毒
narin kʷa:m		食道
narin gaʤir		生殖器，生殖系统
narin lək 满：		细磨石
narilka:-〈动〉		细究，研究
narilka:lan〈形〉		仔细的，好细究的
narɣəlʤe:n〈形〉		体态苗条，婀娜
narɣo:r〈名〉满：		耙
narɣurda:-〈动〉满：		压地，耙地

55

LingDy

23

3. フィールド言語学の目的

- いわゆる「ボアズ的３点セット」の公刊
- 「３点セット」とは？
  - 文法書　　…その言語の「しくみ」
  - テキスト
  - 辞書
  - …「しくみ」の論拠となるデータ
- 当該の言語のしくみが把握可能に
- 利用
  - 現地コミュニティでの言語保存活動
  - さまざまな理論的研究のデータソース

LingDy

24

テキストデータの収集と加工

- 母語話者からの**聞き取り調査**（録音・録画機材を用いて記録）
- 試行錯誤を経た後に**発音記号によって文字化**する
- 文字化の際に、**形態素分析**をおこなう
  - *tabe-sase-rare-ta*.
- 分析した形態素一つ一つに**グロス（文法情報・逐語訳）**を付し、文訳も添える
  - eat-使役-受身-完了　　「食べさせられた」
- +α（音声・映像と上記情報とのリンク付けなど）

LingDy

25

例：モンゴル語ホルチン方言「俺と将棋を指さないか？」

[20140924-1205khormon_chog]

čii namæætee čʊg šatar naadax dʊrteejʊʊ.

čii	**namææ-tee**	**čʊg**	**šatar**
2SG:NOM	*1SG-COM*	*together*	*chess*
お前は	俺-と	一緒に	将棋を

naada-x	**dʊr-tee**	**=jʊʊ?**
play-VN.NPST	*favor-PROP*	*=Q*
遊-ぶ	好み-持ち	=か

LingDy

26

話題の内容

1. 自己紹介
2. 言語学における「データ」＝用例
3. フィールド言語学の目的
4. データ収集とその「正しさ」

+αデータの加工における悩ましさ

LingDy

27

母語話者からの聞き取り調査

- エリシテーション
  - 例文調査票を使っての用例収集
  - 作例による容認度調査
- 自然談話
  - 言い伝え
  - 自分の半生
  - ことば遊びや歌
  - 料理や民具の作り方
  - イラストや映像を媒介にした語り, etc.

- 対話（その言語を日常的に使う話者がある程度いないと困難）

LingDy

28

エリシテーション

絶対必要！

- 効率よく例を収集する手段：エリシテーション（elicitation）
  - 調査票を使う
  - 調査者の作例の容認度調査をおこなう

LingDy

29

エリシテーション：問題点

- 調査票を使っての用例収集

→語彙調査票のほかに、文法事項別にまとめられた文法調査票といったものもある。

→**媒介言語**（中国領内の言語調査であれば中国語、ロシア領内であればロシア語、など）**を使って一つ一つ何と表現するのかを尋ねる。**

e.g. Comrie, Bernard and Norval Smith (1977) Linguistic descriptive studies: questionnaire. *Lingua.* 42: 1-72.

LingDy

30

山越 (2015: 309)

山越康裕／モンゴル語ホルチン方言テキスト

（十七）过去某种条件下可能从事的活动／仮定法過去の表現

1. 假如不下雨的话、我本来要去钓鱼的。／もし雨が降らなかったら、私は釣りに行くはずだったんですが。

xərbəə	bərɔɔ	ɔr-xue	bɔl	bii	unən-d-əən	ǰagas	gɔxd-x-ɔɔr	jab-na.
if	rain	enter-NEG.NPST	COND	1SG:NOM	true-DAT-REFL	fish	fish-VN.NPST-INS	go-PRS

2. 假如你起的早一点、你本来有功夫吃饭的。／早く起きていれば、君はご飯を食べる余裕があったのに。

čii	xərbəə	ɔdɔɔ	nəgə	baga	ərtə	bɔd-sən	bɔl	badaa	id-x
2SG:NOM	if	now	one	little	early	get.up-VN.PFV	COND	grain	eat-VN.NPST
ǰab	bææ-sən	jim	=čin'.						
gap	be-VN.PFV	thing	=2SG:POSS						

3. 假如我有时间、我本来是要去看你的。／もし時間があったら、私は君のところに行くはずだったんですが。

bii	xərbəə	čag-tee	bɔl-sən	bɔl	bii	čamææ-g-ii	ɔčə-ǰ	uǰ-nə.
1SG:NOM	if	hour-PROP	become-VN.PFV	COND	1SG:NOM	2SG-E-ACC	arrive-CVB.IPFV	see-PRS

4. 如果你没有向他招手的话、他会看见你吗？／もし君が彼に手を振らなかったら、彼は君に気付いたろうか？

čii	xərbəə	gar-aan	dalla-sə-gue	bɔl	tərə	čamææ-j-ii	ɔl-ǰ
2SG:NOM	if	hand-REFL	wave-VN.PFV-NEG	COND	that	2SG-E-ACC	find-CVB.IPFV
uǰ-x	=ii						

31

エリシテーション：問題点

- **調査票を使っての用例収集**

→文法事項別にまとめられた文法調査票といったものがある。

→媒介言語（中国領内の言語調査であれば中国語、ロシア領内であればロシア語、など）**を使って一つ一つ何と表現するのかを尋ねる。**

→これを用いると文法事項について偏りなく、効率よく例文を集められそう！

→「自然な発話」とは言いがたい

→媒介言語にひきずられるおそれ（後述）

LingDy

32

作例による「容認度」の問題

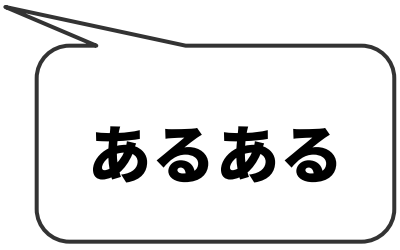
- こちらで作った文が「言える」かどうか、母語話者に判断をあおぐという調査方法もある。
- ＜山越の実体験＞
  - 【再帰所有形式の照応先を調べたい！】
  - 「ジャブはドンドクに自分の奥さんを殴らせた」
  - 質問：こういうとき、「奥さん」はジャブの奥さん？ドンドクの奥さん？

LingDy

33

作例による「容認度」の問題

- 「殴っちゃダメだ」（怒）



LingDy

34

作例による「容認度」の問題

- 話者からの「忖度」
  - （このひと母語話者じゃないし、まあ不自然な感じもしなくもないけど…）「ああ、わかるわかる。言えるよ」

（調査者が気づかないだけで）
あるある

LingDy

35

作例による「容認度」の問題

- 個人差
  - 言語使用に対する規範意識の異なり
  - 言語使用に対する観察力の異なり

LingDy

36

作例による「容認度」の問題

- 「相互態」（～しあう）という形式の調査
  1. AとBは殴りあった。
  2. AとBは教えあった。
  3. AとBは学びあった。
  4. AとBは勉強しあった。
  5. AとBはくっつきあった。
  6. AとBは結婚しあった。
  7. ……

調査者は被調査者を経験してみるとよい

※文法調査ではこういうことがよく行われる。

※落ち着いて内省すると**4や6はかなりきわどい**。しかし同様の質問が何十回も繰り返しされると、判断が麻痺してしまう。**言えそうな気がしてくる**。

LingDy

37

作例による「容認度」の問題

- エリシテーションは必要不可欠な調査方法

だが…

- 「調査者の想定」する例を大きく超えた例を集めることはなかなか困難
- 当該言語の「ありのまま」かどうかは非常に疑わしい

LingDy

38

自然談話資料：問題点

- 言い伝え・自分の半生・言葉遊びや歌

→文法構造を網羅的に把握することは困難

・言い伝えや歌、ことば遊びは「**定型**」。

・ライフ・ヒストリーは基本的には「**過去**」のこと。過去形の表現だったら多く集まる。ただし**直接経験**の例文に偏りやすい。

LingDy

39

自然談話資料：問題点

- 料理や民具の作り方など
- イラストや映像を媒介にした語り

→「それをこうして…」といった**指示詞ばかりのデータ**になりかねない（映像で記録すれば、それはダイクシス等に関わる重要なデータになりうる）。

→やはり網羅的ではない。

LingDy

40

話しことばは「書きことばの文法」から逸脱した例の宝庫…だが

- 「自然な発話は、文字で表現すると、多くの**不規則性**を含んでおり、**首尾が一貫しなかったり**、**言い間違い**や、**言い直し**、あるいは**明らかな文法的な誤り**さえも含むものです」（佐藤 2008: 9）

LingDy

41

話しことばは「書きことばの文法」から逸脱した例の宝庫…だが

- 「『きれいな文法』を書こうとすればするほど、**きれいなパターンからはずれるもの**がはっきり出てくる。→潜在的にはずっと（無意識に）非常に気にしていたのかもしれない」（渡辺 2009）

LingDy

42

母語話者からの聞き取り調査：その他の影響

- 見慣れない機材・ソトの人間を前にして、話者は普段通りにふるまえる？

LingDy

43

母語話者からの聞き取り調査：実際の経験

- 調査を始めたばかりの頃のテキスト収集
- 「歴史や伝承などさまざまなことに詳しい」人がいるから、とJ氏を紹介していただき、歴史と族祖伝承を録音。

- この語りには**モンゴル語の要素**が多分に混じっていることに後で気づく。

LingDy

44

母語話者からの聞き取り調査：実際の経験

borʲaadood =bɔl ene ɔrɔdɔi seregee irʲexede =bɔl ordaxan tolaaxa dain xee. (山越2002: 115)

「ブリヤート人たちはこのロシアの軍が来たときには抵抗して戦った」

- **ブリヤート語の（話者同士の）日常会話では、ここには =haa という形式が出る**
- **歴史をモンゴル語で書きためていたJ氏は、語りの際にも書きことば通りにモンゴル語で語ってしまった？／モンゴル語で会話した私に配慮した？**

LingDy

45

母語話者からの聞き取り調査：実際の経験

- **なぜ後で気づいたのか？**
  - 他の方の協力による文字起こし
  - 調査対象地域はさまざまな少数民族（おもにモンゴル系、ツングース系）が入り混じった地域
  - ポリグロットが多く、他者の言語使用に寛容

→**J氏の言語使用についても、ここがブリヤート語要素、ここがモンゴル語的要素、という指摘はもらえなかった。**

LingDy

46

母語話者からの聞き取り調査：実際の経験

- モンゴル語ホルチン方言の調査（山越2015）
- C氏を調査者に、**中国語の例文調査票**を使って例文収集。

- 中国語を介した結果、先ほどの **=bɔl** が中国語の「是」が用いられる箇所すべてに出てきた。
- 再確認すると、「言われてみるとそんなに使わないですね（笑）」との答え。

LingDy

47

母語話者からの聞き取り調査：実際の経験

- 这**是**一本书吗？／これは本ですか？
- **ənə　=bɔl　nɔm　=ʊʊ.**
- これ　=は　本　=か

- 本来、前提条件がない状況では **=bɔl** は出てこない。
  - ⇒その言語の文法に関する直感が「ある程度」はたらかないと、話者の発話をそのままOKと信用してしまうおそれがある
  - ⇒そうでなくとも「確認」は重要な作業
  - ⇒ただし**「確認」がうまくいかないことも（後述）**

LingDy

48

母語話者からの聞き取り調査：実際の経験

- データに大きな影響を与える要素
  - どのような方法で調査をするか
  - 何語を用いるか
- さまざまな方法で得られたデータは
  - 「正しい」？
  - 「使える」？
  - 「間違い」だと判断していい？

LingDy

49

母語話者からの聞き取り調査：実際の経験

- 「間違い」の原因をさぐる必要性
- 「間違い」ではない可能性
- 不都合な例を「見たくない」心理が調査者側・被調査者側双方にはたらくことも

LingDy

50

調査者が叱られたケース
：実際の経験

- 中国語の影響
- 中国語からの大量の借用語彙
- 借用自体は日本語の事情を考えてもありふれた現象

- 日本語ではまず「名詞」として借用され、そこから動詞が作られる。

  copy → kopii

  kopii → kopir-u

LingDy

51

（モンゴル国の）モンゴル語の場合も同様

- 借用語を動詞化する際には、出名動詞派生接辞（-d- や -l- など）が付加される

- コピー → kanon（＜“canon”）

- コピる → kanon-d-

  kanond-no 「コピーする」

  kanond-oǰ 「コピーして」

  kanond-ooroi 「コピーしてください」

  kanond-son 「コピーした」

LingDy

52

シネヘン・ブリヤート語の借用語彙

- sʲii *gammoo*-g-oo =g =sʲa?
  2SG.NOM *Chi.* 感冒-E-VN.IPFV =Q 2SG
  お前は 風邪-た =か =お前は
  「お前は風邪を引いたのか？」

- sʲii *gammoo*-tee =g =sʲa?
  2SG.NOM *Chi.* 感冒-PROP =Q 2SG
  お前は 風邪-持ち =か =お前は
  「お前は風邪を引いているのか？」

※動詞語幹がとる活用接辞も、名詞語幹につく接辞もOK。

「形態上で名詞と動詞の区別がない中国語の影響」

学会発表！

LingDy

53

「そんなことは言わない！」 激怒！

- その土地出身の（別言語の母語話者である）研究者**「私が調査してもそんなことを言う人は一人もいない！(#ﾟДﾟ)ｺﾞﾙｧ」**
- 対面調査ではこれらの例は得られない。
- 「確認」しても認めない話者もいる。

⇔彼らのコミュニティで日常生活を送っていれば、先ほどのような例は山のように出てくる

LingDy

54

55

被調査者は何を提供したいか

- コンサルタント（中学校教員）に、授業の様子を見せてほしいと依頼。
- 日程を調整するからちょっと待て、と回答。
- 明日ならOK！と言われて一緒に行ったところ…

LingDy

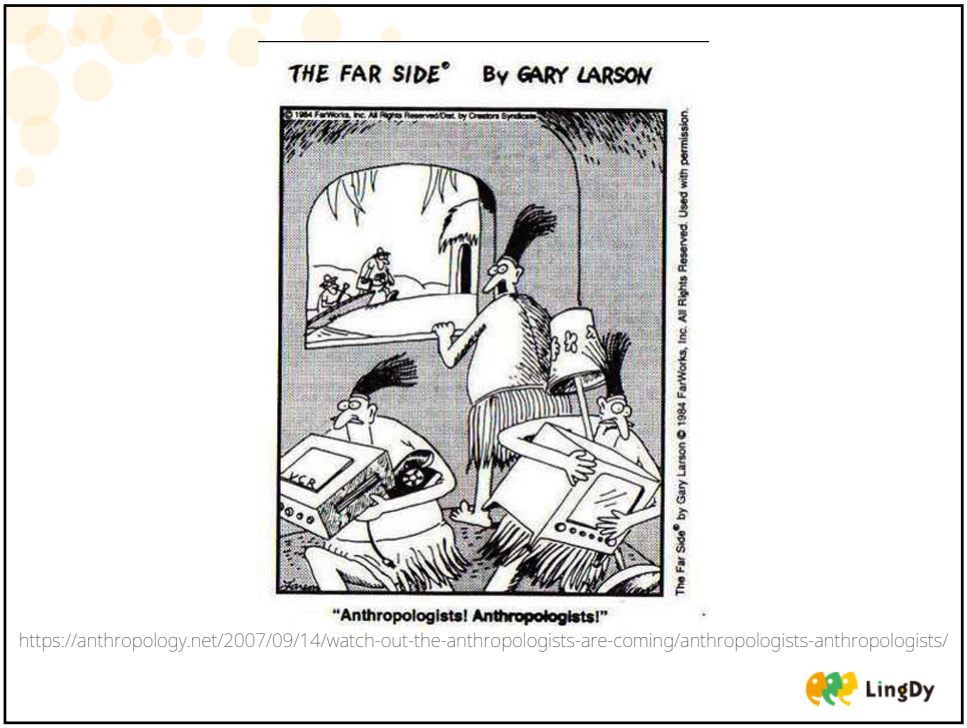
56

57

58

あるべき姿
（イメージ）
© Yasuhiro YAMAKOSHI 2019

59


THE FAR SIDE® By GARY LARSON
"Anthropologists! Anthropologists!"
https://anthropology.net/2007/09/14/watch-out-the-anthropologists-are-coming/anthropologists-anthropologists/
LingDy

60

61

62

話者の規範意識

- 調査に協力してくださる方は積極的に調査に協力・貢献しようとつとめる。
- 「あなたたちの言語・方言を調査に来た」といわれたらどう反応する？

LingDy

63

話者の規範意識

- 調査協力者は**なるべく古い形・あるべき形・正しいと本人が感じている形で表現したくなるし、それを記録してほしい**と心で願う。
- とくにエリシテーションではそういった「**話者の心の中の理想の母語**」が再現されるおそれがある。
- 短期間の調査ではつかめない真の姿

LingDy

64

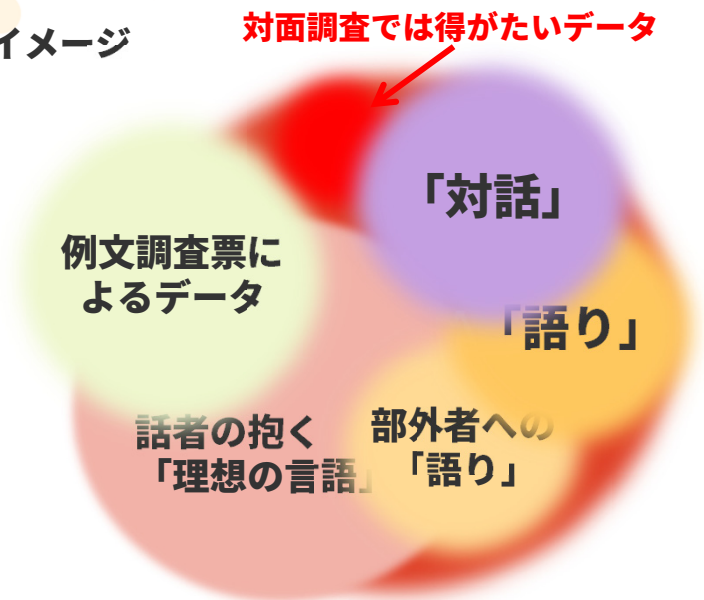
気をつけたい「プロ話者」

- コミュニティから紹介される調査協力者
- そういう方は規範意識が強いことがままある。
- **話者が複数いるような言語であれば、最初はさまざまな人から調査するのがよい。**

LingDy

65

イメージ



一言語の姿を把握するのは非常に時間もかかるし工夫も必要

LingDy

66

ここまでのまとめ

- データ収集にはさまざまな方法がある
- 万能な方法はない
- その環境にも十分配慮する必要がある

…フィールド言語学でも、それ以外の言語学の各分野でも（そして他分野でも）、その**データの性格・収集方法にあまり気を配っていないように見受けられるケース**は残念ながらしばしば見られる。

…場合によっては**「使えないデータ」の量産にもつながりかねない**。

LingDy

67

話題の内容

1. 自己紹介
2. 言語学における「データ」＝用例
3. フィールド言語学の目的
4. データ収集とその「正しさ」

+α**データの加工における悩ましさ**

LingDy

68

例：モンゴル語ホルチン方言
「俺と将棋を指さないか？」

[20140924-1205khormon_chog]

čii namææætee čʊg šatar naadax dʊrteejʊʊ.

čii	namææ-tee	čʊg	šatar
2SG:NOM	*1SG-COM*	*together*	*chess*
お前は	俺-と	一緒に	将棋を

naada-x	dʊr-tee	=jʊʊ?
play-VN.NPST	*favor-PROP*	*=Q*
遊-ぶ	好み-持ち	=か

LingDy

69

文法情報の付与（グロス付け）の悩ましさ

- 第三者の利用を想定した場合、**グロス付け**は不可欠。
- 情報が付与されていないとどうなるか？

- その言語のことをよく知っている人にしか使えない。
- 話し手がもうほとんどおらず、研究者もほとんどいない言語の場合、**誰も利用できない（けれども貴重な）資料だけが残る**。

LingDy

70

文法情報の付与（グロス付け）の悩ましさ

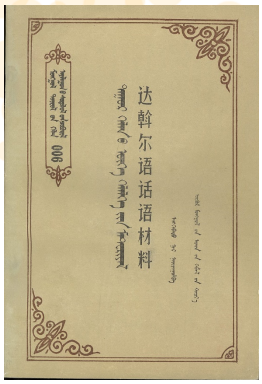
- 第三者の利用を想定した場合、**グロス付け**は不可欠。
- 情報が付与されていないとどうなるか？

- あまりその言語のことをよく知らない第三者が利用する際に、**誤った分析を行ってしまうこともある**（とくに通言語的研究に利用される場合に起こりがち）。
- その**誤分析が、その第三者の論文の信頼性を欠くことにもつながる**。

LingDy

71

第三者が使いにくいテキストの例



恩和巴図 (1985)

5. 如果我按时完成了我的任务，我将星期一回北京。

xərwul bi: alba: ərində: bara: tale:sa: bi: utkai.

72

文法情報の付与（グロス付け）の悩ましさ

- その一方、グロス付け＝ラベル貼り、「レッテル」を貼ることになる。
- 「この用語」は「あんな機能」を持つというイメージが共有されているため。
- たとえば PL＝Plural「複数」。

LingDy

73

複数性の標示

- 日本語「-たち」は（基本的には人間に対して用いられる）「複数」をあらわす、といわれる。
- そこに-PLというラベルを貼ってもよいか。

haha-taci	=ga	syabet-te	i-ru.
haha-taci	=ga	syaber-te	i-ru
mother-PL	=GA	talk-TE	be-RU

- 「しゃべっている」のはmothersではなく (my) mother and othersかもしれない。英語の「複数」とは等価ではない。

LingDy

74

文法情報の付与（グロス付け）の悩ましさ

- その一方、グロス付け＝ラベル貼り、「レッテル」を貼ることになる。
- 「この用語」は「あんな機能」を持つというイメージが共有されているため。
- 逆に、独自のグロスを付けてしまうと理解されにくくなる。e.g. =GA

- どのように文法情報を付与すべきか？
  - 簡単なようで非常に悩ましい。

LingDy

75

- Department of Linguistics, Max Planck Institute for Evolutionary Anthropology

“Leipzig Glossing Rules”

- 下地理則の研究室 > 記述文法作成支援 > グロス付けとは何か

https://www.mshimoji.com/blank-12

LingDy

76

ボウナン語（モンゴル語族）の例

- モンゴル語では、目的語につける接尾辞（～を）と、所有者につける接尾辞（～の）がそれぞれ別の形。古い時代のモンゴル語でも区別されていたと推測される。
- *-ii （を）「対格」accusative (ACC)
- *-iin/-ii/-nii （の）「属格」genitive (GEN)

- 現在のボウナン語ではこの二つの機能が -nəという形態素であらわされる。

LingDy

77

例：ボウナン語の -nə

činə kolnə elə gogoləm.

či-nə	**kol-nə**	**elə**	**gogol-əm.**
2SG-??	*foot-??*	*NEG*	*break-NPST*
お前の	**足を**	**～ない**	**折る**

「お前は足を折らないだろう」

陳 (1987: 47)

LingDy

78

例：ボウナン語の -nə

činə　kolnə　お前の足を

či-nə	**kol-nə**
a. 2SG-CONN	*foot-CONN*
b. 2SG-GEN/ACC	*foot-GEN/ACC*
c. 2SG-GEN	*foot-ACC*

どれかが正解というものではない
ただしそう記述する根拠を説明すべき

LingDy

79

文法情報の付与（グロス付け）の悩ましさ

- **調査対象言語・方言に近い言語の先行記述があれば、それに準拠するのもよい。**
- **しかし、無批判な追従は避けたい。それがその時点でのベストな答えかどうかを常に自問することも忘れてはいけない。**

※「我が道を行け」ということではない

LingDy

80

まとめ

- 人文科学の中では「自然科学寄り」だといわれる言語学。一見、データは客観的であるように思える。
- しかしながら、調査で得られるデータは絶対的に信頼がおけるものとは言い切れない。
- 対面調査では得られない「自然なデータ」もある。
- そして加工の際には第三者に対してバイアスをかけてしまうおそれがある／しかし加工は不可欠。
- 簡単に結果が出るものではないし、ベストで普遍的な正解もない。

LingDy

81

まとめ

- ベストな、絶対的な答えは無いが、このような**データの危うさを「意識」すること**は重要。
- 「意識」してデータを集め、加工して公開することは、のちの世代にそのデータを使う**研究者コミュニティのため**でもあり、**話者コミュニティのため**でもある。
- 「自分ひとりのため」のデータであれば公開する必要は無いはず。

LingDy

82

参照文献

陳乃雄 (1987) **『保安語話語材料』呼和浩特: 内蒙古人民出版社**.

恩和巴図 (1984) **『達斡爾語詞彙』呼和浩特: 内蒙古人民出版社**.

——— (1985) **『達斡爾語話語材料』呼和浩特: 内蒙古人民出版社**.

——— (1988) **『達斡爾語和蒙古語』呼和浩特: 内蒙古人民出版社**.

Janhunen, Juha. (2003) *The Mongolic Languages.* London and New York: Routledge.

佐藤知己 (2008) **「アイヌ語の文法書を作る」(非公刊). 北海道大学アイヌ・先住民研究センター講演会**. 2008**年**7**月**18**日**.

山越康裕 (2014) **「さまざまな食文化の混在：シネヘン・ブリヤートの食」**『FIELDPLUS』12: 30-31.

——— (2015) **「モンゴル語ホルチン方言テキスト：日常会話を題材にした基本文例集」『北方言語研究』**5: 281-317.

渡辺己 (2009) Notes on “insubordination” in Sliammon Salish. **(非公刊) 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所重点共同研究プロジェクト「言語の構造的多様性と言語理論」**2009**年度第**1**回研究会**.2009**年**6**月**13**日**.

LingDy

83

付　　録

調査の概要

木部　暢子
（国立国語研究所）

調査全体の流れをつかむために、(1) 調査前に行うこと、(2) 調査時に行うこと、(3) 調査後に行うこと、の３つのパートに分けて、それぞれのパートで行うべきこと、および注意点について説明した。

(1) 調査前に行うこと

・フィールドワークを行う場合は、事前に所属大学や所属機関の「倫理委員会」に調査内容を申請し、審査を受けておくこと。

・初めて調査を行う地域では、教育委員会生涯学習課に話者の紹介等を依頼することが多い。その場合、教育委員会に「調査依頼文書」を送って、調査協力を依頼する。

・「依頼文書」と同時に、「○○方言調査のしおり」「○○方言調査 内容見本」「調査参加者の方への説明文書（インフォームドコンセント・同意書）」を送付しておく。

(2) 調査時に行うこと

・調査を始める前に、録音機材のセッティング、録音レベルの調整等を行なっておく。

・調査では、まず最初に「事前説明文章（インフォームドコンセント・同意書）」により、調査の説明を行い、話者の同意を得てから調査を始める。

・「同意書」は２部作成し、１部は話者が、１部は調査者が保管する。

・次に、フェイスシートに個人情報を書き込む。その際、個人情報の管理を厳重に行うことを再度、説明する。

・調査を開始する。適宜、休憩をとる。

・休憩後、調査を再開したときに、録音がきちんととれているかを必ず確

認する。

・２時間くらいで調査を終了する。

・粗品を進呈する。

・写真を撮る。

・録音データにファイル名を付けて、保存メディアに保存する。

(3) 調査後に行うこと

・教育委員会等へお礼状を郵送する。

・話者へお礼状を郵送する。写真などがあれば、写真を同封する。

・話者の個人情報をきちんと管理する。

資料1　　**見本**

平成 30 年 6 月 4 日

青森県むつ市企画政策部 市民連携課　御中

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立国語研究所　教授・副所長　木部　暢子

むつ市方言調査に関するご協力のお願い

拝啓　ご健勝のことと存じます。

近年、地域文化の基盤である各地の方言が急速に衰退しつつあります。このような状況に対し、国立国語研究所では平成 22 年度より各地の方言を記録し、保存する事業を行っております。これまで、鹿児島県喜界島、与論島、沖永良部島、沖縄県宮古島、東京都八丈島、島根県出雲市、隠岐の島町、石川県白山市白峰村などの方言の収録を行いました。

これまでは西日本の方言が中心でしたが、東北の方言も貴重であることから、今年度より東北の方言の記録・保存を行うことといたしました。つきましては、ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。調査の詳細は以下のとおりです。

記

(1) 日時：2018 年 8 月 30 日（木）～31 日（金）
(2) メンバー：国立国語研究所教授・副所長 木部暢子　他 20 名
(3) ご協力いただきたい内容：
- 調査に協力してくださるむつ市出身の 60 歳以上の方をご紹介ください。できれば、出身地域を離れて暮らした経験が少ない方で、普段、方言をよく使っておられる方。男性・女性は問いませんが、女性の場合は、結婚以前もむつ市にお住まいだった方。
- 人数は、①8 月 30 日の午前、②午後、③8 月 31 日の午前、④午後、それぞれ５人程度ご紹介ください。毎回、別の方でも結構ですし、お一人の方が複数回、お越しくださっても結構です。
- なお、調査にご協力くださった方には、国立国語研究所オリジナル風呂敷と粗品をお礼として差し上げます。
- また、調査の時に部屋をいくつかお貸しください。雑音の少ない録音をとりたいと思いますので、できれば、個別の部屋をいくつか貸していただけると助かります。使用料はお支払いいたします。

では、お忙しいこととは存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。

【別添資料】 1. むつ市方言調査のしおり
2. むつ市方言調査 内容見本
3. むつ市方言調査へのご協力のお願い
4. 調査参加者の方への説明文書
5. 方言調査フェイスシート

資料2　　**見本**

2019 年　月　日

様

国立国語研究所　教授（副所長）木部　暢子

方言調査へのご協力のお願い

拝啓　ご健勝のことと存じます。

さて、国立国語研究所では、平成 22 年度より各地の方言を記録し、保存する事業を行っています。これまで、鹿児島県喜界島、与論島、沖永良部島、沖縄県宮古島、東京都八丈島、島根県出雲市、隠岐の島町、石川県白山市白峰村、青森県むつ市などの方言の収録を行いました。今年度は八戸市の方言を収録したいと思います。

つきましては、ご多忙のところまことにおそれいりますが、どうぞよろしく、八戸市方言の調査にご協力賜りますよう、お願いいたします。

(1) お伺いする日：2019 年 8 月　日（　）、　日（　）
（場所は●●です）

(2) お願いしたい内容：

・調査員が共通語で単語や文を質問しますので、それを方言になおしてください。
例えば、
「あたま」のことを方言で何と言いますか？
「あたまが痛い」を方言でどのように言いますか？
のような質問を調査員がしますので、それを方言になおしてください。
（質問項目の見本を別に添付しておきます）

・収録・調査の時間は 2 時間～2 時間 30 分程度です。時間帯は、
午前（10：00～12：00）　　午後（13：30～15：30）
です。午前のみ、午後のみのご協力でも、午前・午後両方のご協力でも結構です。

なお、調査にご協力くださった方には、研究所オリジナルの風呂敷と粗品をお礼として差し上げます。

では、どうぞよろしくお願いいたします。

以上

資料3 **見本**

方言調査　内容見本

たとえば、以下のような質問をいたします。

1. 「あたま」のことをむつ市方言でなんと言いますか？
2. 「今日はあたまが痛い」をむつ市方言でどう言いますか？
3. 「髪の毛」のことをむつ市方言でなんと言いますか？
4. 「髪の毛が伸びてきたね」をむつ市方言でどう言いますか？
5. 「つむじ」のことをむつ市方言でなんと言いますか？
6. 「弟はつむじが二つある」をむつ市方言でどう言いますか？
7. 「暑いから窓を開けるぞ」をむつ市方言でどう言いますか？
8. 「南側の窓はもう開けた」をむつ市方言でどう言いますか？
9. 「北側の窓は花子が開けるだろう」をむつ市方言でどう言いますか？

資料4 **見本**

調査参加者の方への説明文書

この調査について

1. 研究課題名： **日本の消滅危機言語・方言の記録・保存・継承に関する調査研究**

2. 調査の目的・意義

方言は、地域の生活や文化の基礎をなす重要なものですが、現在、日本各地の方言が衰退の一途をたどっています。この調査研究は、日本各地の方言（手話を含む）を記録し、保存するとともに、地域における方言の継承活動を支援することを目的として行なうものです。

3. 調査の方法

(1) 調査は、調査員が共通語（文字で書かれたものを含む）で単語や文を質問し、それを方言に訳すという方法で行います。例えば、

「あたま」のことを方言で何と言いますか？

「今日は俺は忙しい」を方言でどのように言いますか？

のような質問を調査員がしますので、それを方言に訳して答えてください。

(2) 自然談話の調査では、一人、あるいは二人以上の方の自然談話を録音、録画します。談話の内容を文字化して、後日、確認をお願いすることがあります。

(3) いずれの調査も、調査時間は１回２時間～2 時間 30 分程度です。

(4) 調査の際に年齢やお仕事、これまでに住んだことのある地域などについてお尋ねいたします。方言の特徴をまとめるときに、これらの情報を考慮する必要があるためですが、これらの個人情報に関しては、十分な注意を払い、責任をもって管理いたします。

4. 調査の場所と期間

調査は、公民館、教育委員会会議室、話者宅などで行います。

調査は、１回２時間～2 時間 30 分程度です。１日１回、または休憩をはさんで午前と午後の２回お願いすることもあります。２日以上協力してもよいという方がいらっしゃいましたら、２～３日、お願いすることがあります。

5. 調査を実施する者

調査責任者：木部暢子（国立国語研究所）

その他の調査従事者：国立国語研究所研究員、大学教員、大学院生、日本学術振興会研究員等

6. 調査に関する資料の開示について

ご希望があれば、他の参加者の個人情報保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画および研究方法についての資料をさしあげます。

7. 調査への参加が任意であること

この調査への参加は自由です。この調査に興味のある方が、自由な意思で参加してください。

調査の途中でも、調査への参加をやめることができます。また、調査が終わったあとに、調査への参加の同意を取り消すことができます。その場合、この説明書の最後に添付してある「同意の取り消し」の文書に署名して、下記までお申し出下さい。

同意を撤回する場合の連絡先

木部暢子　住　所：〒190-8561 東京都立川市緑町 10-2　国立国語研究所

電　話：042-540-4538　　ファックス：042-540-4335

電子メール：nkibe@ninjal.ac.jp

8. この調査への参加をお願いする理由

この地域の伝統的な方言をできるだけたくさん記録するための調査です。ふだん話しているような調子で方言を話してください。

9. この調査への参加に伴う身体への負担について

この調査により、健康被害や痛みなどの不快な状態、その他、あなたにとって不利益となることが生じる可能性はありません。

調査は、休憩をはさみながら行います。休憩前でも、疲れた場合はおっしゃってください。そこで休憩を入れるようにします。

10. 個人情報の取り扱い

あなたの個人情報やデータが記された資料は、鍵をかけて厳重に保管します。また、あなたの個人情報をコンピュータに入力する場合は、情報が漏れることのないよう、対策を十分に施したコンピュータを使用し、厳重に情報を保管し、紛失、盗難などのないようにします。

11. 調査終了後の対応と研究成果の公表

この調査が終わった後、この調査で得られた成果を調査報告書や専門の学会誌、学術雑誌などに発表することがあります。その際は、あなたのプライバシーに十分配慮します。

録音音声や録画した映像を公開する場合は、別途、ご承諾を得るようにいたします。

12. 調査に伴う参加者の方への謝金等

調査にご協力くださった方には、お礼として粗品を進呈いたします。

13. 問い合わせ先・苦情などの連絡先

調査実施代表者：木部暢子
住　所：〒190-8561 東京都立川市緑町 10-2　国立国語研究所
電　話：042-540-4538　　ファックス：042-540-4335
電子メール：nkibe@ninjal.ac.jp

代表者に訴えにくい場合は、以下にご連絡ください

研究推進課：電話：042-540-4489　　ファックス：
電子メール：kenkyu-shien@ninjal.ac.jp

以上の内容をよくご理解いただいたうえで、この調査に参加することに同意していただける場合は、別紙の「調査研究参加への同意書」に署名し、日付を記入して担当者にお渡し下さい。

調査研究への参加の同意書

国立国語研究所・教授
　木部暢子　殿

　私は「日本の消滅危機言語・方言の記録・保存・継承に関する調査研究」に関する説明を受け、この調査研究に参加することに同意します。

　また、調査の内容が方言の研究を目的として使用されることに同意します。その際、個人情報については、以下のようにお願いします。

⑴ 調査報告書、研究発表、研究論文等での発表について
　◆ 次の中で公表してもよい内容があれば ☑ をしてください。
　　□個人名　　□ペンネーム　　□生年（年齢）　　□性別
　　□出身校（小学校・中学校・高校）　　□居住歴　　□職業

⑵ 録音したあなたの声をホームページ等で公開することについて
　◆ 公開することを　□承諾する　　□承諾しない

　　・承諾する場合、次の中で公表してもよい内容があれば ☑ をしてください。
　　□個人名　　□ペンネーム　　□生年（年齢）　　□性別
　　□出身校（小学校・中学校・高校）　　□居住歴　　□職業

⑶ 録画した映像をホームページ等で公開することについて
　◆ 公開することを　□承諾する　　□承諾しない

　　・承諾する場合、次の中で公表してもよい内容があれば ☑ をしてください。
　　□個人名　　□ペンネーム　　□生年（年齢）　　□性別
　　□出身校（小学校・中学校・高校）　　□居住歴　　□職業

その他（特にご希望があれば、以下にご記入ください）

　　年　　月　　日

参加者署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

調査員署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

調査研究への参加の同意を取り消す場合には、以下の書類の □ にチェックを入れ、署名した上で調査者にお渡し下さい。

同意の取り消し

国立国語研究所・教授
木部暢子　殿

私は、「日本の消滅危機言語・方言の記録・保存・継承に関する調査研究」に参加することに同意し、同意書に署名しましたが、その同意を取り消します。

同意の取り消し前のデータについては　□　利用しても構いません。
□　利用せずに破棄してください。

年　　月　　日

署名.....

資料5 **見本**

方言調査フェイスシート　研究協力同意書とともに提出

地点名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

調査者（全員）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

調査内容：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

調査日	年　月　日（　曜日）
時間	午前 ・ 午後　：　～　：
フリガナ **お名前**	（ 男 ・ 女 ）
生年月日	大正・昭和　（19　）年　月　日
住所・ **電話番号**	〒　－ Tel.　－　－

あなたが卒業した小学校と中学校の名前を教えてください。

小学校

中学校

あなたが住んだことのある土地を教えてください。

歳～　歳　（　県　）

歳～　歳　（　県　）

歳～　歳　（　県　）

あなたのお仕事（以前のお仕事）を教えてください。

（　　）

ご家族の出身地を教えてください。

お父さん（　　）

お母さん（　　）

配偶者　（　　）

その他・備考

資料6-1 **見本**

地点名（ 愛知県 一宮市 木曽川町 ）

話者氏名（ ）

調査者(全員の名前を書いて下さい)

調査日時 2017 年 8 月 日 午前 ・ 午後

ID	翻訳用例文	文脈
1	その仕事は私がするよ。	
2	それは私のお菓子だよ。	
3	それは私が書いた字だよ。	
4	それは私の書いた字だよ。	
5	アキラが私を連れて行ってくれるよ。	
6	そのお菓子を私にください。	
7	私とアキラが行くよ。	
8	それは私だよ。	写真に写っている人を指して言う。
9	その仕事は私たち二人がするよ。	
10	それは私たち二人のお菓子だよ。	

資料6-2 **見本**

ご記入ください！→地点名					調査者名		提出日	
通し番号	分類	標準語形	かな	accent	方言形（音声表記）	方言形（音素表記）	備考（公開）	備考（非公開）
0001	人体	頭(あたま)	あたま	4				
0002	人体	髪の毛(かみのけ)	かみのけ	3				
0003	人体	旋毛(つむじ)	つむじ					
0004	人体	雲脂(ふけ)	ふけ					
0005	人体	白髪(しらが)	しらが	4				
0006	人体	目(め)	め	3				
0007	人体	眉(まゆ)	まゆ	5				
0008	人体	額(ひたい)	ひたい	1				
0009	人体	鼻(はな)	はな	1				
0010	人体	鼻血(はなぢ)	はなじ	1				
0011	人体	耳(みみ)	みみ	3				
0012	人体	口(くち)	くち	1				
0013	人体	唇(くちびる)	くちびる					
0014	人体	舌(した)	した	3				
0015	人体	歯(は)	は					
0016	人体	歯茎(はぐき)	はぐき					
0017	人体	顎(あご)	あご					
0018	人体	髭(ひげ)	ひげ	1				
0019	人体	毛(け)	け					
0020	人体	面(かお)	かお	1				
0021	人体	首(くび)	くび	1				
0022	人体	肩(かた)	かた	4				
0023	人体	胸(むね)	むね	2				
0024	人体	肋骨(あばらぼね)	あばらぼね					
0025	人体	乳(ち・ちち)	ちち	4				
0026	人体	腹(はら)	はら	3				
0027	人体	背中(せなか)	せなか	6				
0028	人体	脇の下(わきのした)	わきのした					
0029	人体	肝(きも)	きも	3				
0030	人体	臍(へそ)	へそ	1				
0031	人体	腰(こし)	こし	1				
0032	人体	尻(しり)	しり	3				
0033	人体	肛門(こうもん)	こうもん					
0034	人体	手(て)	て	3				
0035	人体	腕(うで・どこをさすか)	うで	3				

資料7 **見本**

【2018 年8 月 22 日版】

国立国語研究所「危機方言」プロジェクト

むつ市方言調査のしおり

日時：2017 年 8 月 30 日（木）～8 月 31 日（金）
場所：青森県むつ市海老川町 25-29 曙町集会所

目次

１．全体スケジュール 1
２．調査について 1
３．関係者連絡先 1
４．宿泊について 1
５．調査参加者（27 名） 2
６．調査班 2
７．調査結果の提出 3
８．音声ファイル名 3
９．携行品リスト 3
１０．部屋割り 4
１１．録音の際の注意点 5

【別配布資料】

１．調査参加者の方への説明文書・調査研究への参加の同意書
２．フェイスシート
３．調査票
・文法概説関連
セット 1：格、情報構造
セット 2：疑問詞、文タイプ
セット 2：アスペクト・テンス、待遇
セット 3：ヴォイス 1、ヴォイス 2
セット 5：形容表現、名詞述語
・基礎語彙（必要に応じて）
・活用（必要に応じて）
４．地図

1． 全体スケジュール

	9:00	10:00～12:00		13:30～15:30	15:30～17:00		18:00～
8/29 (水)					ホテル集合		ミーティング 夕食（19:00~）
8/30 (木)	出発	方言調査 場所： 曙町集会所	昼食	方言調査 場所： 曙町集会所	データ整理	移動	ミーティング 夕食（19:00~）
8/31 (金)	出発	方言調査 場所： 曙町集会所	昼食	方言調査 場所： 曙町集会所	データ整理	移動	ミーティング 夕食（19:00~）
9/1 (土)	解散	オプション 恐山見学（希望者のみ）					

注意：**8 月29 日（水） はミーティングに間に合うように**ホテルのロビーに集合してください。

2． 調査について

(1) 8 月 30日（木）と 31 日（金）の2 日間、調査をおこないます。

(2) 両日、午前・午後、合計4 セッション調査をおこないます。

(3) 調査内容は、以下の項目です。

①格、情報構造　②疑問詞、文タイプ　③アスペクト・テンス、待遇

④ヴォイス１、ヴォイス２　⑤形容表現、名詞述語

その他、基礎語彙、活用の項目があります。これらは、話者の様子や進捗状況を見ながら適宜おこなってください。

(4) 調査は、4~5 つの班に分かれておこないます（班分けについては2 ページ「6. 調査班」を参照してください）。話者１ 名に対して調査班１つがあたります。

(5) 両日ともホテルを9 時に出発する予定です。

(6) 8 月 30、31 のお昼は、お弁当を準備します。

(7) 9 月 1 日は午前 9 時に解散します。むつ市見学を希望なさる方は、恐山をお勧めします。恐山は、むつ市からバスで 35 分、車で 22 分です。

3． 関係者連絡先

[redacted]

4． 宿泊について

[redacted]

※ 全員分を一括して予約しますので、各自での予約は不要です。

5． 調査参加者（27 名）

・国立国語研究所スタッフ　22 名

[redacted]

・弘前大学　5 名

[redacted]

6． 調査班

	文法項目	基礎語彙 / 活用	メンバー（敬称略）30 日	31 日
①	格、情報構造	基礎語彙（ID001~85）	[redacted]	
②	疑問詞、文タイプ	基礎語彙（ID86~343）	[redacted]	
③	アスペクト・テンス、待遇	基礎語彙（ID344~471）	[redacted]	
④	ヴォイス 1、ヴォイス 2	基礎語彙（ID472~617）	[redacted]	
⑤	形容表現、名詞述語	活 用（ID001~68）、民俗語彙（ID001～72）	[redacted]	

文法項目の調査と並行して、基礎語彙・活用の聞き取りを適宜おこなってください。

7． 調査結果の提出

- 毎回の調査後： 以下の3 点を**調査場所にて【**担当者**】**まで提出してください。
  - ① 【[redacted]】録音ファイル※ファイル名は「8．音声ファイル名」を参照
  - ② 【[redacted]】フェイスシート
  - ③ 【[redacted]】同意書
- 調査終了後： 各班の調査内容を**11 月 30 日**までに 【[redacted]】へ
  （班内での分担などは各班にお任せします）

8． 音声ファイル名

	西暦年月日_地点名_調査項目名_調査文開始 ID-終了 ID
30 日（木）	20180830_mutsu_voice1_1-10 20180830_mutsu_voice1_11-24 20180830_mutsu_ katuyoo_001-025（活用 ID001～025 の録音の場合）
31 日（金）	20180831_mutsu_whs_1-8 20180831_mutsu_whs_9-26 20180831_mutsu_vocab_365-501（基礎語彙 ID365-501 の録音の場合）

※ 休憩をとるときには、どの ID で録音をとめたか、メモしておくといいと思います。

9． 携行品リスト

◆全体で準備するもの [個数]

- レコーダー（ZOOM [8]）
- ヘッドセットマイク [8]
- ポータブルスピーカー [1]
- カメラ [1]
- ゴリラポッド [5]
- スプリッター [8]
- SD カード（8GB [22]）
- USB メモリ（32GB [1]）
- 電池 （単3 ）
- ポータブルHDD [1]
- 三脚 [1]
- 延長コード [3]
- プリンター [1]
- 印刷用の紙 [1 束]
- 予備インク（黒 [1]、カラー [1]）
- 調査票（文法項目、基礎語彙、活用）・フェイスシート・説明文書・同意書
- お礼の品物（お茶 [20]・研究所オリジナル手ぬぐい [10]）
- 調査時の茶菓
- 紙コップ
- ペーパータオル [1 パック]
- 札カード [25]

◆個人で準備するもの　※宿にタオル、歯ブラシ、ドライヤー、浴衣はあります。

- 印鑑（旅費の処理のために必要）
- 担当教官の同意書（学生のみ）
- 筆記用具、録音機器、イヤホン・ヘッドホン
- 方言調査グッズ（バインダー・機材持ち運び用バッグ等）
- パソコン
- 保険証（またはそのコピー）
- 常備薬
- 着替え、洗面具、雨具、帽子
- 現金　3,000 円
  - 弁当代　800 円×２日＝1,600 円
  - お茶菓子代　700 円
  - その他　700 円

１０．部屋割り

全員シングル個室のお部屋です。当日フロントで鍵を受け取ってください。

１１．録音の際の注意点

(1) 話者の方にヘッドセットをしてもらってください。 調査者はなにもなし（内蔵マイクで録音）。

(2) zoom をお貸ししますので、それを使ってください。

(3) zoom の注意点①： 電池を入れるところにある「スタミナモード」は使用しないでください。これを使用すると、4 チャンネルでの録音ができなくなります。

(4) zoom の注意点②：電池の減りが普段よりはやいものと思います。注意して、毎回変えるようにしてください。

(5) zoom の注意点③：話者はヘッドセット、その他は 内臓マイクで録音します。そのため、4 チャンネル 録音モードにする必要があります。これは右側面の　menu > mode から4ch を選択することで設定できます。

（本体表面左側のMIC と1 と2 のボタンの左側が点灯しているか確認。上の図参照）

(6) zoom の注意点④：録音レベルの調節の仕方：まず本体表面左側にあるMIC、1、2 のいずれか、調節 したいマイクのボタンをまず押します。（上の図の矢印のところです。MIC は内蔵マイクです。1、2 は下部の差込口に対応。その後、本体右側のrec level のプラスかマイナスで調節。

資料8　　**見本**

年　月　日

○○教育委員会　教育長　　○○　様

国立国語研究所・副所長　木部暢子

○○方言の調査と録音のご協力に関するお礼

拝啓　ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、　月　　日から　日までの○○方言の調査・録音の折りには、さまざまなご支援を賜り、ありがとうございました。みなさん、○○方言を愛する、すばらしい方ばかりで､私どもも楽しく調査と録音を終えることができました。心から感謝申し上げます。また、今回の調査の結果は、来年度に報告書としてまとめる予定でございます。印刷ができ上がりましたら、貴教育庁、および調査に協力してくださった方々にお送りしたいと思っております。

では、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

参加者　木部　暢子（国立国語研究所・教授）

○○　○○（　　）

○○　○○（　　）

○○　○○（　　）

○○　○○（　　）

○○　○○（　　）

○○　○○（　　）

○○　○○（　　）

○○　○○（　　）

○○　○○（　　）

資料9　　**見本**

年　月　日

○○　○○　様

○○方言の調査と録音のご協力に関するお礼

国立国語研究所・副所長　木部暢子

拝啓　ご健勝のことと存じます。

さて、　月　日から　　日までの○○方言の調査・録音に際しましては、お忙しいなか、お時間をとってくださり、誠にありがとうございました。おかげで、楽しく実りの多い２日間となりました。みなさまの暖かいお心づかいに深く感謝申し上げます。

今回、お伺いしました○○方言は、来年度に報告書としてまとめる予定です。印刷ができ上がりましたら、お送りいたします。

私どもはこれからも、○○方言の記録・保存に何らかの形でお役に立ちたいと思っております。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

では、どうぞお体大切にお過ごしください。

敬具

追伸：先日の写真を同封いたします。どうぞお納めください。

参加者　木部　暢子（国立国語研究所・教授）
○○　○○（　　）
○○　○○（　　）
○○　○○（　　）
○○　○○（　　）
○○　○○（　　）

フィールドワーク事前研修報告書

2020 年 3 月 31 日　第 1 版発行

共　編　者　青井隼人・児倉徳和・木部暢子

発　　行　東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 基幹研究

「多言語・多文化共生に向けた循環型の言語研究体制の構築（LingDy3）」

https://lingdy.aa-ken.jp/

© 2020 Hayato Aoi ＆ Norikazu Kogura ＆ Nobuko Kibe

& Individual Contributors

ISBN 978-4-86337-329-7

この作品は PDF フォーマットによる電子出版物として刊行されました。

この作品は クリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 改変禁止 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。

https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/